

令和3年度

「大学等修学支援施策推進事業」

# 高等教育の教育費負担等に関する 世論調査（モニター調査）業務

株式会社サーベイリサーチセンター

# 目次

I 調査の概要	1
II 回答者属性	2
III 調査結果の詳細	3
1. 「日本学生支援機構（JASSO）」の奨学金制度について	3
(1) 貸与型奨学金について	3
①. 貸与型奨学金の認知状況	3
②. 貸与型奨学金の利用有無	5
③. 貸与型奨学金の返済状況（返済中かどうか）	7
④. 返還支援制度の認知	9
(2) 給付型奨学金（または「大学の無償化」）について	11
①. 給付型奨学金（返済不要の奨学金制度）の認知状況	11
②. 給付型奨学金の認知経路	13
2. 大学・短大・高専・専門学校などの教育費用の負担及び財政支援のあり方に関する認識について	15
(1) 大学などの教育費用の負担感について	15
①. 大学などの教育費は、家計にとっては大きな負担であるかについて	15
②. 大学などの教育費の経済的な負担が少子化の一因になっているかについて	17
③. 学費の高さが少子化の一因になっているかについて	19
(2) 大学などの教育費用の負担のあり方について	21
①. すべての人に対し、無償化の制度の対象とすべきに対する考え方について	21
②. 大学無償化のための消費税1%増税に対する考え方について	23
③. 大学無償化における対象者（家庭負担）の限定について	25
④. 学費は家庭が負担することを原則とした制度とすべきという考え方について	27
⑤. 大学の学費は原則本人負担とする考え方について	29
⑥. 大学などの学費負担について「出世払い」とする仕組みについて	31
⑦. 大学院の学費は原則本人負担とする考え方について	33
(3) 大学などの教育費用の財政支援のあり方について	35
①. 教育費用の負担軽減のために推し進めるべき教育施策について	35
②. 大学の無償化について中間所得層を対象とすべきとの考え方について	37
③. 子どもが多くいる家庭に対する大学無償化の考え方について	39
④. 大学無償化による子育てに対する安心感について	41
⑤. 奨学金負担軽減を考慮した支援強化についての考え方について	43
IV 調査票	45
V 集計表	60

# I 調査の概要

- 1 調査目的 大学をはじめとする高等教育機関への進学に当たって、現在就業や子育て等を行っている現役世代の国民に対し、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度の認知度や、社会における高等教育の費用負担、財政支援の在り方等について意識調査を行い、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目
  - (1) 「日本学生支援機構（JASSO）」奨学金制度利用状況
  - (2) 大学・短大・高専・専門学校などの教育費用の負担及び財政支援のあり方に関する認識
  - (3) 対象者プロフィール
- 3 調査要領
  - (1) 調査地域：全国
  - (2) 調査対象：25～64歳の男女
  - (3) 対象パネル：「楽天インサイト」パネル 約220万人
  - (4) 調査方法：上記パネルの登録モニターを対象としたWEBアンケート調査（※1）
  - (5) 回収数：有効回収数 計10,000件
  - (6) 回収割付：調査対象の人口構成比（※2）に準拠した割付
  - (7) 調査実施期間：2022年1月21日（金）～2022年2月8日（火）
  - (8) 調査実施機関：株式会社サーベイリサーチセンター

※1…無作為抽出した対象者にメールで協力依頼を行い、目標回収数に達するまで回答をWEBで受け付ける手法。

※2…令和2年度住民基本台帳を基に設定。詳細は以下のとおり。

地域区分	対象詳細地域	男性				女性			
		25-39歳	40代	50-64歳	計	25-39歳	40代	50-64歳	計
北海道	北海道	63	59	80	202	63	60	86	209
東北計	青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島	107	96	139	342	100	92	140	332
北関東	茨城、栃木、群馬	88	82	105	275	78	75	101	254
首都圏	東京、神奈川、埼玉、千葉	534	476	566	1,576	505	446	529	1,480
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県	63	60	78	201	58	56	79	193
東山	山梨県、長野県、岐阜県	58	56	74	188	54	53	74	181
東海	静岡県、愛知県、三重県	176	159	195	530	158	147	187	492
近畿二府一県	京都府、大阪府、兵庫県	213	200	245	658	215	203	253	671
その他近畿圏	滋賀県、奈良県、和歌山県	45	42	54	141	44	42	58	144
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	89	82	104	275	85	80	107	272
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	44	42	56	142	42	41	58	141
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	178	154	210	542	181	156	222	559
	計	1,658	1,508	1,906	5,072	1,583	1,451	1,894	4,928

## Ⅱ 回答者属性

回答者の基本属性は以下のとおり。

		件数	%			件数	%
全体		10,000	100.0	全体		10,000	100.0
性別	男性	5,072	50.7	子供の人数	0人	4,248	42.5
	女性	4,928	49.3		1人	1,835	18.4
年代	25-39歳	3,241	32.4		2人	2,878	28.8
	40代	2,959	29.6		3人以上	1,039	10.4
	50-64歳	3,800	38.0	子供の学歴 (1人目)	学校を卒業済み	1,844	18.4
性年代	男性 25-39歳	1,658	16.6		大学院	69	0.7
	男性 40代	1,508	15.1		大学学部	630	6.3
	男性 50-64歳	1,906	19.1		短大・高等専門学校(4~5年)・専門学校	166	1.7
	女性 25-39歳	1,583	15.8		高校	555	5.6
	女性 40代	1,451	14.5		義務教育段階(小・中学校)	1,308	13.1
	女性 50-64歳	1,894	18.9	小学校就学前(0歳~幼稚園・保育園)	1,180	11.8	
居住地域	北海道	411	4.1	子供はいない	4,248	42.5	
	東北	674	6.7	子供の学歴 (2人目)	学校を卒業済み	1,084	10.8
	北関東	529	5.3		大学院	40	0.4
	首都圏	3,056	30.6		大学学部	466	4.7
	北陸	394	3.9		短大・高等専門学校(4~5年)・専門学校	173	1.7
	東山	369	3.7		高校	416	4.2
	東海	1,022	10.2		義務教育段階(小・中学校)	947	9.5
	近畿二府一県	1,329	13.3	小学校就学前(0歳~幼稚園・保育園)	791	7.9	
	その他近畿圏	285	2.9	2人目の子供はいない	1,835	18.4	
	中国	547	5.5	子供はいない	4,248	42.5	
	四国	283	2.8	子供の学歴 (3人目)	学校を卒業済み	240	2.4
	九州・沖縄	1,101	11.0		大学院	7	0.1
	ご本人の最終学歴	大学院卒	613		6.1	大学学部	106
大学学部卒		4,157	41.6		短大・高等専門学校(4~5年)・専門学校	41	0.4
短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒		2,467	24.7		高校	134	1.3
高校卒		2,546	25.5		義務教育段階(小・中学校)	280	2.8
中学校卒		217	2.2	小学校就学前(0歳~幼稚園・保育園)	231	2.3	
ご本人の職業	経営者・役員	248	2.5	3人目の子供はいない	4,713	47.1	
	会社員(正社員)	4,178	41.8	子供はいない	4,248	42.5	
	会社員(契約社員)	379	3.8	個人年収	200万円未満	3,336	33.4
	会社員(派遣社員)	234	2.3		200万~300万円未満	1,223	12.2
	パート・アルバイト	1,384	13.8		300万~400万円未満	1,268	12.7
	公務員(教職員除く)	479	4.8		400万~500万円未満	1,150	11.5
	教職員	255	2.6		500万~600万円未満	918	9.2
	医療関係者	369	3.7		600万~700万円未満	634	6.3
	自営業・自由業	602	6.0		700万~800万円未満	463	4.6
	士業(公認会計士・弁護士・税理士・司法書士など)	41	0.4		800万~900万円未満	304	3.0
	その他(職種)	55	0.6		900万~1,000万円未満	221	2.2
	仕事はしていない・その他	1,776	17.8		1,000万~1,100万円未満	148	1.5
未既婚	既婚	6,387	63.9		1,100~1,200万円未満	86	0.9
	未婚	2,749	27.5	1,200万~1,300万円未満	69	0.7	
	離別・死別	864	8.6	1,300万~1,400万円未満	25	0.3	
配偶者の最終学歴	大学院卒	328	3.3	1,400万~1,500万円未満	24	0.2	
	大学学部卒	2,457	24.6	1,500万円以上	131	1.3	
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1,700	17.0	世帯年収	200万円未満	816	8.2
	高校卒	1,746	17.5		200万~300万円未満	838	8.4
	中学校卒	145	1.5		300万~400万円未満	1,133	11.3
	その他	11	0.1		400万~500万円未満	1,198	12.0
配偶者はいない	3,613	36.1	500万~600万円未満		1,203	12.0	
配偶者の就業状況	仕事をしている	5,213	52.1		600万~700万円未満	1,035	10.4
	仕事はしていないが、現在探している	173	1.7		700万~800万円未満	938	9.4
	仕事はしておらず、現在は探していない	963	9.6		800万~900万円未満	683	6.8
	その他	38	0.4		900万~1,000万円未満	676	6.8
	配偶者はいない	3,613	36.1		1,000万~1,100万円未満	374	3.7
					1,100~1,200万円未満	282	2.8
				1,200万~1,300万円未満	198	2.0	
				1,300万~1,400万円未満	117	1.2	
				1,400万~1,500万円未満	127	1.3	
				1,500万円以上	382	3.8	

### Ⅲ 調査結果の詳細

#### 1. 「日本学生支援機構（JASSO）」の奨学金制度について

##### (1) 貸与型奨学金について

###### ① 貸与型奨学金の認知状況

日本学生支援機構が行っている「貸与型奨学金」の認知状況について聞いたところ、「知っている」とする割合が 37.1%（「よく知っている」13.2%＋「ある程度知っている」23.9%）、「知らない」とする割合が 62.9%（「聞いたことはあるがあまり知らない」33.1%＋「まったく知らない」29.8%）となっている。

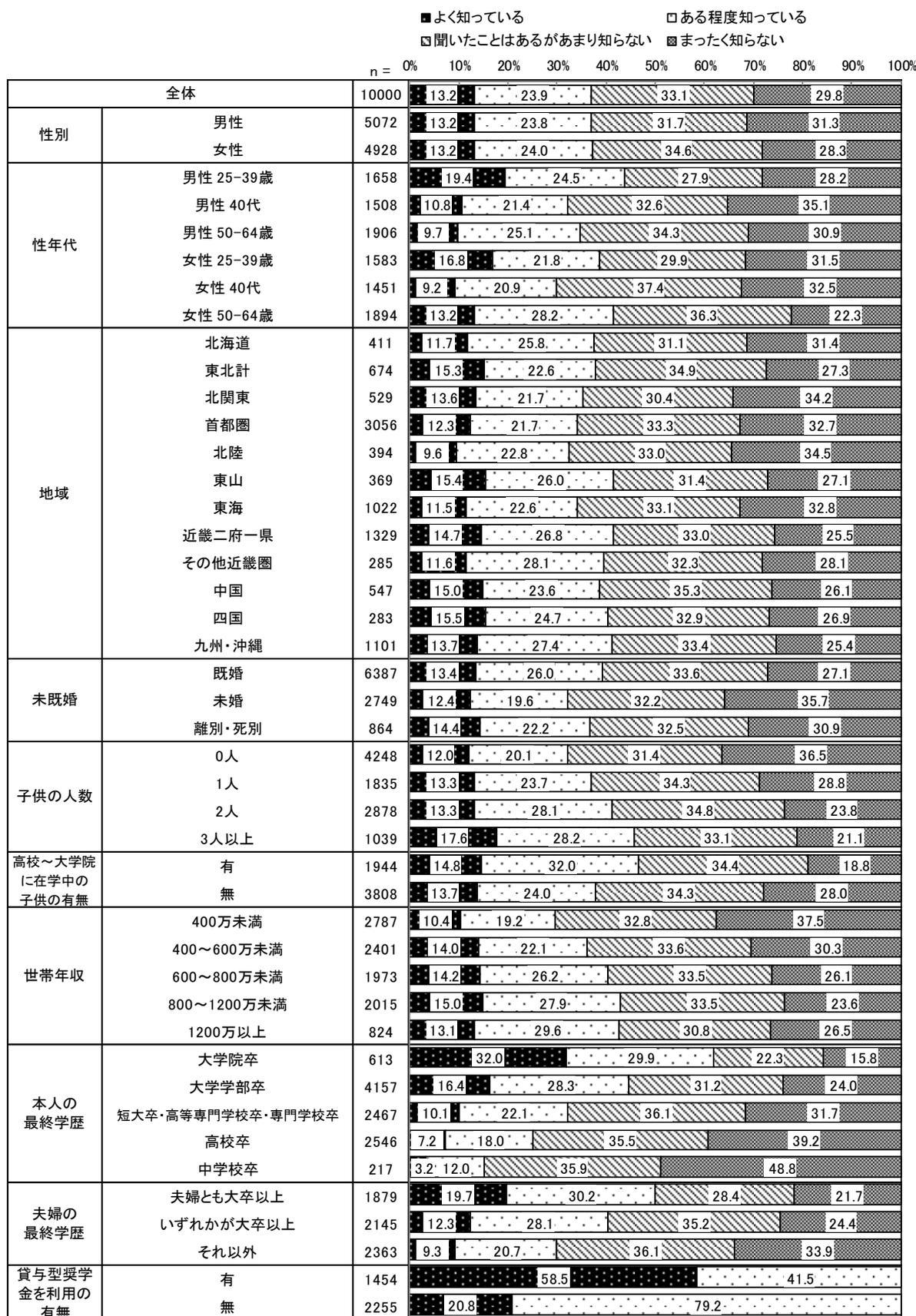
性別に見ると大きな差異は見られないが、性年代別に見ると、「知っている」とする割合は男性では 25～39 歳（43.9%）、女性は 50～64 歳（41.4%）で高くなっている。

世帯年収別に見ると、年収が高いほど「知っている」とする割合が高い傾向がある。

(図 1-1)

図 1-1 貸与型奨学金の認知状況 (Q1-1)

[基数：回答者全員]



## ② 貸与型奨学金の利用有無

日本学生支援機構が行っている「貸与型奨学金」を知っている方に利用有無を聞いたところ、「はい（利用あり）」とする割合が39.2%となっている。

性別に見ると、男性（43.1%）の方が女性（35.2%）よりも「はい（利用あり）」とする割合が高い。

子供の人数別に見ると、貸与型奨学金を利用している者ほど、子どもの人数は少ない。

本人の最終学歴別に見ると、大学院卒の「はい（利用あり）」が62.0%と最も高く、大学卒（45.5%）が続いている。

（図 1-2）

図 1-2 貸与型奨学金の利用有無 (Q1-2)

[基数：貸与型奨学金を知っている方]



### ③ 貸与型奨学金の返済状況（返済中かどうか）

日本学生支援機構が行っている「貸与型奨学金」を利用している方に返済中かどうかを聞いたところ、「はい（返済中）」とする割合が41.5%となっている。

性別に見ると大きな差異は見られない。

地域別に見ると、北海道は「はい（返済中）」とする割合が27.8%で他地域を大きく下回っている。子どもの数が少ないほど、未婚である者ほど返済中であると回答する者の割合は高くなっている。

また、世帯年収別に見ると、年収が低くなるほど返済中であると回答する者の割合は高くなっている。これらから、返済中の負担と結婚・子育ての状況には相関関係があることがうかがえる。

なお、年収が800万円以上の場合、全体よりは返済中の割合が下がるものの、これらの年収層においても、一定の割合の者が奨学金の返済を続けていることが分かる。

(図 1-3)

図 1-3 貸与型奨学金の返済状況 (X3)

[基数：貸与型奨学金を利用している方]



#### ④ 返還支援制度の認知

貸与型奨学金を利用していると回答した者に対し、返還支援制度の認知状況について聞いたところ、「知っている」者と「知らない」者の割合は概ね半々であった。(内訳：「知っている」とする割合が51.4%（「よく知っている」18.2%+「ある程度知っている」33.2%）、「知らない」とする割合が48.7%（「聞いたことはあるがあまり知らない」32.3%+「まったく知らない」16.4%）)

性別に見ると大きな差異は見られないが、年代別に見ると、男女ともに「知っている」とする割合は25～39歳（男性（57.1%）、女性（55.2%））で高くなっている。

地域別に見ると、「知っている」とする割合は東北地方で最も高く（64.0%）、中国地方で最も低く（38.9%）となっている。

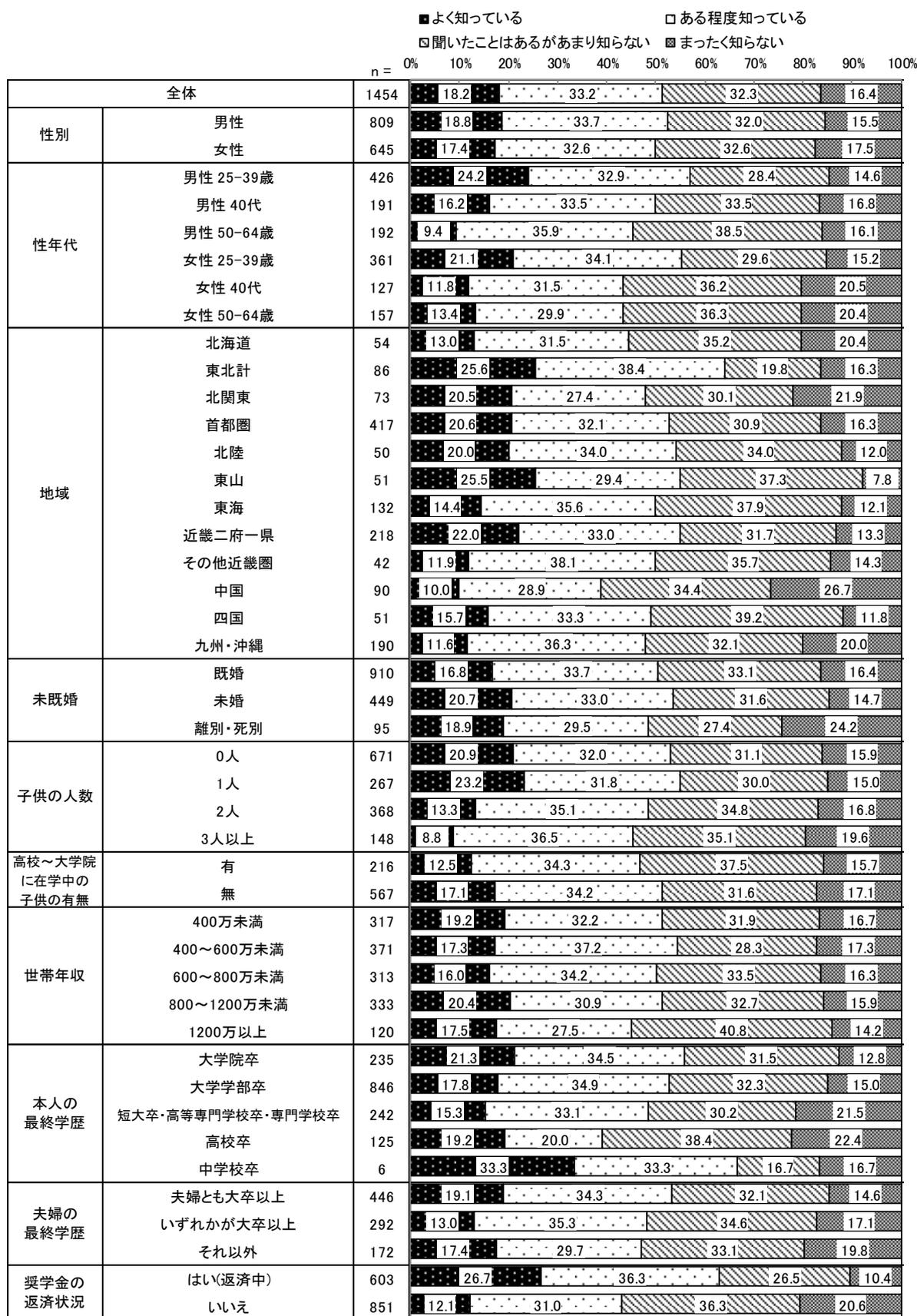
世帯年収別に見ると、返還支援制度の認知度には大きな差異は見られない。つまり、年収の低い層においても他の年収層と同程度には認知度されていることがうかがえる。

奨学金返済状況別に見ると、奨学金を返済中の者で返還支援制度を「知っている」とする割合（63.0%）は、返済中ではない者で「知っている」とする割合（43.1%）よりも高い。

(図 1-4)

図 1-4 返還支援制度の認知 (X4)

[基数：貸与型奨学金を利用している方]



(2) 給付型奨学金（または「大学の無償化」）について

① 給付型奨学金（返済不要の奨学金制度）の認知状況

日本学生支援機構が行っている「給付型奨学金」の認知状況について聞いたところ、「知っている」とする割合が 27.1%（「よく知っている」6.0%+「ある程度知っている」21.1%）、「知らない」とする割合が 72.9%（「聞いたことはあるがあまり知らない」37.9%+「まったく知らない」35.0%）となっている。

性別に見ると大きな差異は見られないが、性年代別に見ると「知っている」とする割合は男性 25～39 歳（33.7%）で最も高くなっている。

地域別に見ると、「知っている」とする割合は東山地方（34.1%）で他地域を大きく上回っている。

子供の状況別に見ると、子供の人数が多いほど、またその子が高校～大学等に在学中であるほど、認知度は高くなっている。

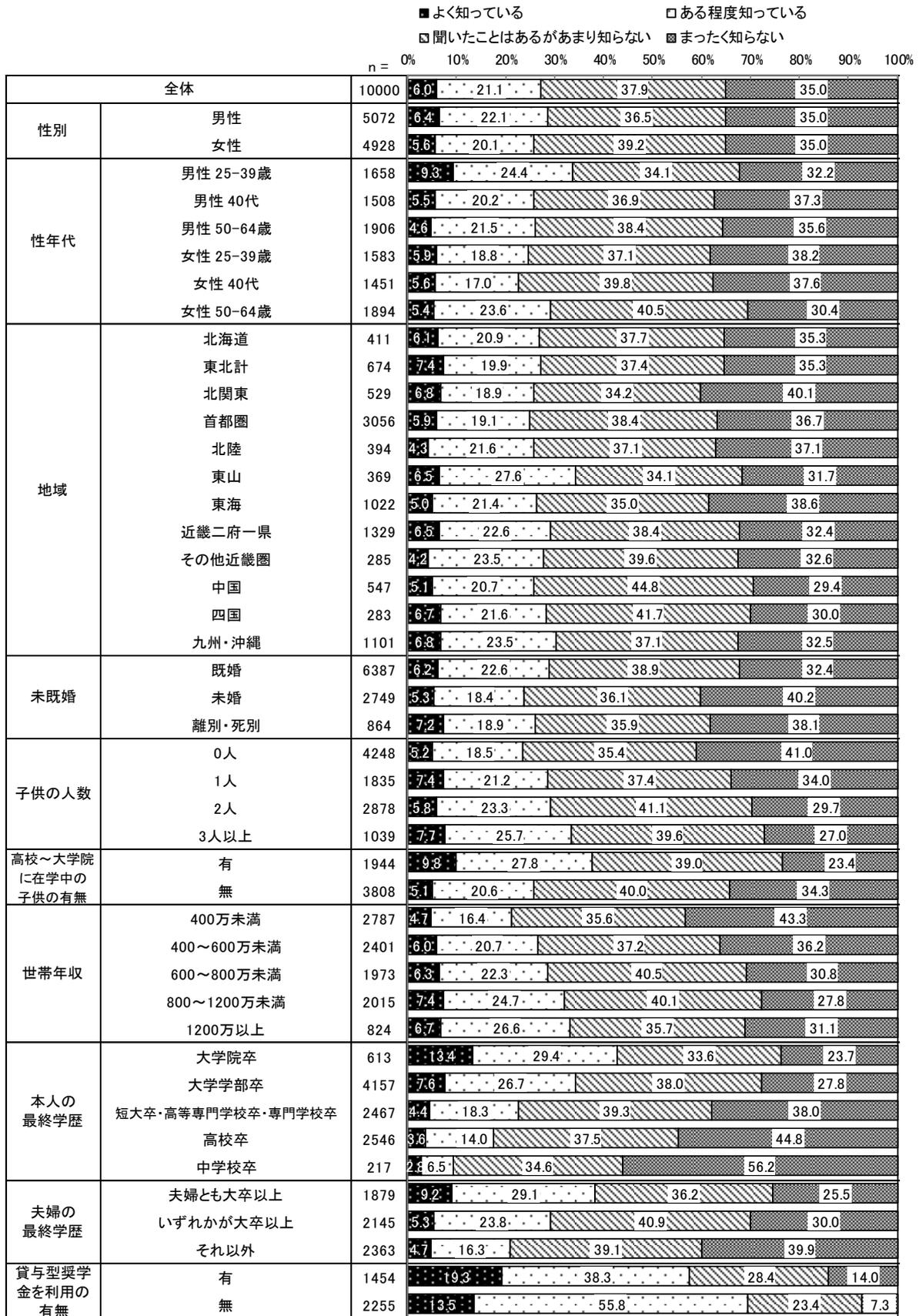
世帯年収別に見ると、年収が高くなるにつれ「知っている」とする割合が高くなる傾向にある。

親の学歴別に見ると、本人や夫婦の学歴が高いほど、認知度は高くなっている。

(図 1-5)

図 1-5 給付型奨学金の認知 (Q1-3)

[基数：回答者全員]



## ② 給付型奨学金の認知経路

「給付型奨学金」を認知している方に認知経路について聞いたところ、「学校（高校・大学など）」が最も高く 47.1%、「新聞やテレビCM」（34.7%）、「文部科学省のホームページや政府広報オンラインのホームページ」（22.0%）と続いている。

性別に見ると「学校（高校・大学など）」（女性 54.1%/男性 41.1%）は女性が高く、「新聞やテレビCM」（男性 40.2%/女性 28.4%）では男性が高くなっている。

地域別に見ると、四国地方は「文部科学省のホームページや政府広報オンラインのホームページ」が 30.0%で他地域を大きく上回っている。

子供の人数別に見ると、人数が多くなるほど「学校（高校・大学など）」の割合が高くなる傾向にある。

高校～大学院に在学中の子供の有無別に見ると、「学校（高校・大学など）」は子供有が高く（子供有 55.8%/子供無 43.8%）、「新聞やテレビCM」では子供無が高くなっている（子供有 28.7%/子供無 38.3%）。

(図 1-6/表 1-6)

図 1-6 給付型奨学金の認知経路 (Q1-4) (全体)

[基数：給付型奨学金を知っている方]

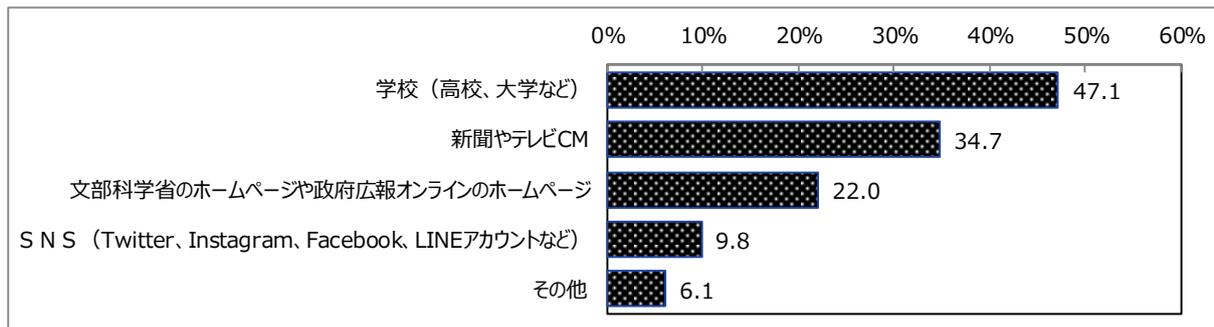


表 1-6 給付型奨学金の認知経路 (Q1-4) (内訳)

[基数：給付型奨学金を知っている方]

		n =	学校 (高校、 大学など)	新聞 やテレビ CM	文部科学省の ホームページ のホームページ のホームページ	ど (L I N E ア カ ウ ン ト な )	FI NC E E T A B O R K 、 S W I T S E R 、 N E T S E R 、 S W I T S E R 、 S W I T S E R	その他
全体		2713	47.1	34.7	22.0	9.8	6.1	
性別	男性	1444	41.1	40.2	24.5	10.9	5.8	
	女性	1269	54.1	28.4	19.1	8.7	6.5	
性年代	男性 25-39歳	559	46.2	31.3	27.5	16.8	5.2	
	男性 40代	388	39.2	43.3	22.9	8.2	8.0	
	男性 50-64歳	497	36.8	47.7	22.3	6.2	4.8	
	女性 25-39歳	391	57.5	22.5	18.2	14.3	5.6	
	女性 40代	328	55.8	22.9	21.6	7.0	8.5	
	女性 50-64歳	550	50.5	36.0	18.4	5.6	5.8	
地域	北海道	111	56.8	35.1	15.3	4.5	4.5	
	東北計	184	40.8	38.6	24.5	9.8	9.8	
	北関東	136	48.5	37.5	25.7	5.1	3.7	
	首都圏	762	42.9	35.8	22.2	12.9	6.0	
	北陸	102	46.1	34.3	20.6	14.7	6.9	
	東山	126	50.0	33.3	20.6	5.6	7.1	
	東海	270	45.9	38.1	20.7	11.9	4.4	
	近畿二府一県	388	49.0	32.7	19.3	9.3	7.0	
	その他近畿圏	79	50.6	29.1	17.7	7.6	11.4	
	中国	141	49.6	33.3	24.1	9.2	2.8	
	四国	80	53.8	23.8	30.0	8.8	3.8	
	九州・沖縄	334	51.2	33.2	24.3	6.9	6.3	
未既婚	既婚	1837	47.1	34.9	22.3	8.7	5.8	
	未婚	651	46.5	34.4	21.4	14.0	7.1	
	離別・死別	225	48.9	33.8	21.3	7.1	5.8	
子供の人数	0人	1003	44.1	35.5	21.5	12.9	7.0	
	1人	525	45.7	35.0	23.6	11.8	5.9	
	2人	838	49.3	35.0	21.8	7.5	4.8	
	3人以上	347	53.0	31.1	21.3	3.7	7.2	
高校～大学院 に在学中の子 供の有無	有	731	55.8	28.7	23.8	5.7	4.9	
	無	979	43.8	38.3	21.1	9.8	6.1	
世帯年収	400万未満	588	46.4	35.0	20.9	8.7	7.1	
	400～600万未満	639	47.7	31.3	21.8	11.3	5.9	
	600～800万未満	565	46.5	34.2	20.9	9.4	8.1	
	800～1200万未満	647	49.6	35.1	24.4	11.3	3.9	
	1200万以上	274	42.7	42.0	21.5	6.6	5.5	
本人の最終学 歴	大学院卒	262	60.3	29.8	19.8	9.2	2.7	
	大学学部卒	1423	44.3	36.5	23.6	10.8	5.8	
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	559	51.0	33.3	19.0	6.8	6.3	
	高校卒	449	43.7	33.9	21.6	10.9	9.1	
	中学校卒	20	45.0	30.0	30.0	15.0	5.0	
夫婦の最終学 歴	夫婦とも大卒以上	718	46.5	36.4	23.7	9.7	3.6	
	いずれかが大卒以上	624	45.7	36.7	21.2	8.3	6.7	
	それ以外	495	49.9	30.5	21.8	7.7	7.9	
貸与型奨学金 を利用の有無	有	838	49.5	29.7	28.3	12.1	3.2	
	無	1563	47.7	35.6	20.6	8.3	7.5	

## 2. 大学・短大・高専・専門学校などの教育費用の負担及び財政支援のあり方に関する認識について

### (1) 大学などの教育費用の負担感について

#### ① 大学などの教育費は、家計にとっては大きな負担である

「大学などの教育費は、家計にとっては大きな負担である」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が89.5%（「とてもそう思う」54.7%＋「そう思う」34.8%）となっており、全体の大多数を占めている。

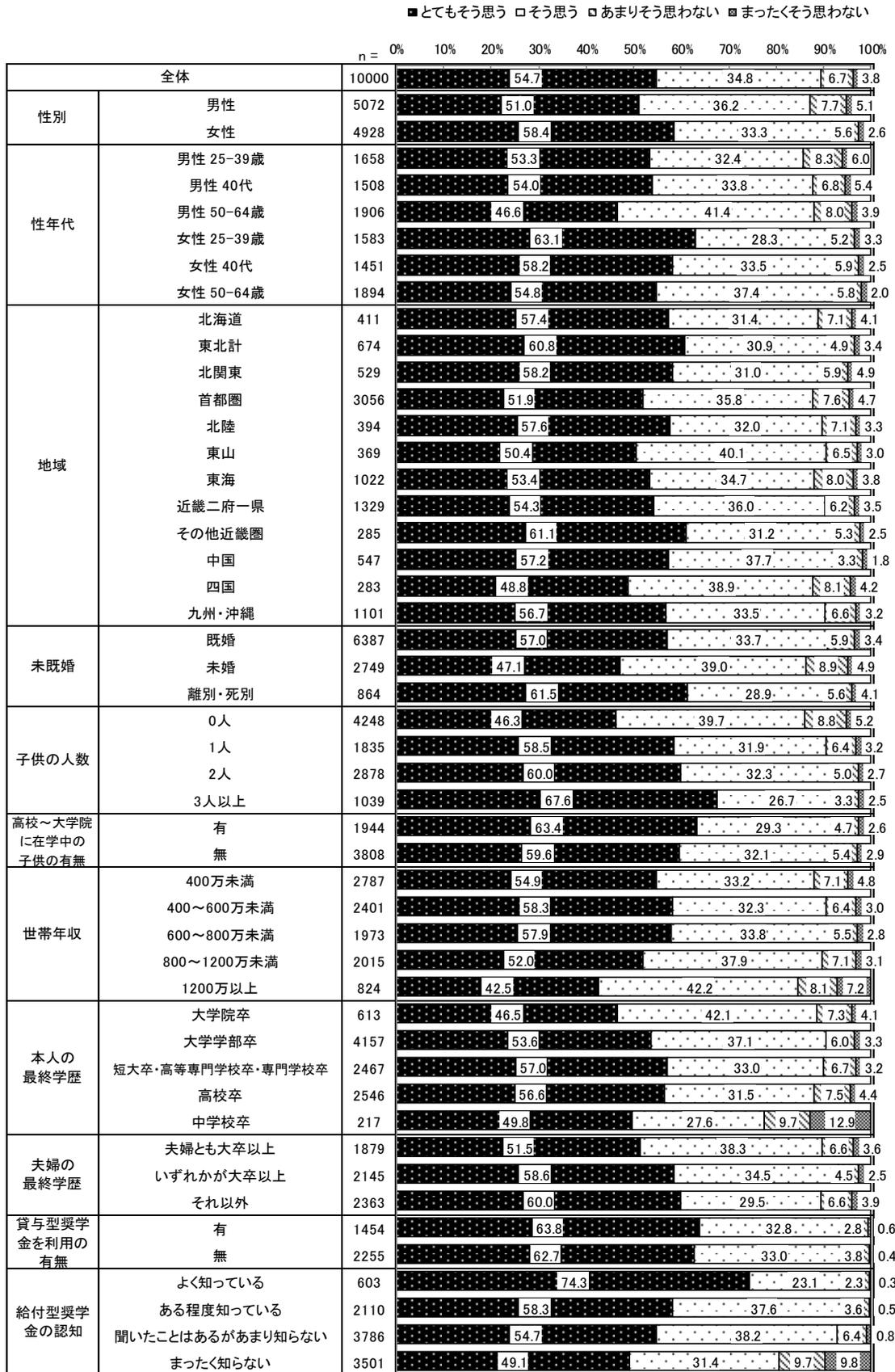
性別に見ると、女性（91.7%）の方が男性（87.2%）よりも「そう思う」とする割合がやや高い。子供の状況別に見ると、子供の人数が多いほど、またその子が高校～大学院に在学中であるほど、負担に感じる割合は高くなっている。

世帯年収別・貸与型奨学金の利用の有無別で見ても、いずれの層においても負担に感じる割合は高くなっており、ほとんどの世帯が大学進学にかかる費用は大きいと感じていることがうかがえる。なお、世帯年収別においては、400万円未満の世帯（概ね、大学等の無償化の対象）よりも400万～800万円未満（大学等の無償化の対象とはなっていない場合あり）の世帯の方が負担に感じる者の割合が高いことには、一定程度留意する必要がある。

(図 2-1)

図 2-1 大学などの教育費は家計にとっては大きな負担である (Q2-1-1)

[基数：回答者全員]



② 一般論として、大学などの教育費の経済的な負担（奨学金の返済を含む）が、卒業後の結婚や子育ての壁となっており、結果として少子化の一因になっている

「一般論として、大学などの教育費の経済的な負担（奨学金の返済を含む）が、卒業後の結婚や子育ての壁となっており、結果として少子化の一因になっている」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が 75.1%（「とてもそう思う」30.8%+「そう思う」44.3%）、「そう思わない」とする割合が 24.9%（「あまりそう思わない」20.0%+「まったくそう思わない」4.9%）となっている。

性別に見ると、女性（77.5%）の方が男性（72.8%）よりも「そう思う」とする割合が高い。

未既婚別に見ると、未婚（71.2%）は既婚（76.4%）、離別・死別（77.9%）よりも「そう思う」とする割合が低い。

子供の数別に見ると、子供の人数が多いほど、「そう思う」とする割合が高くなっている。

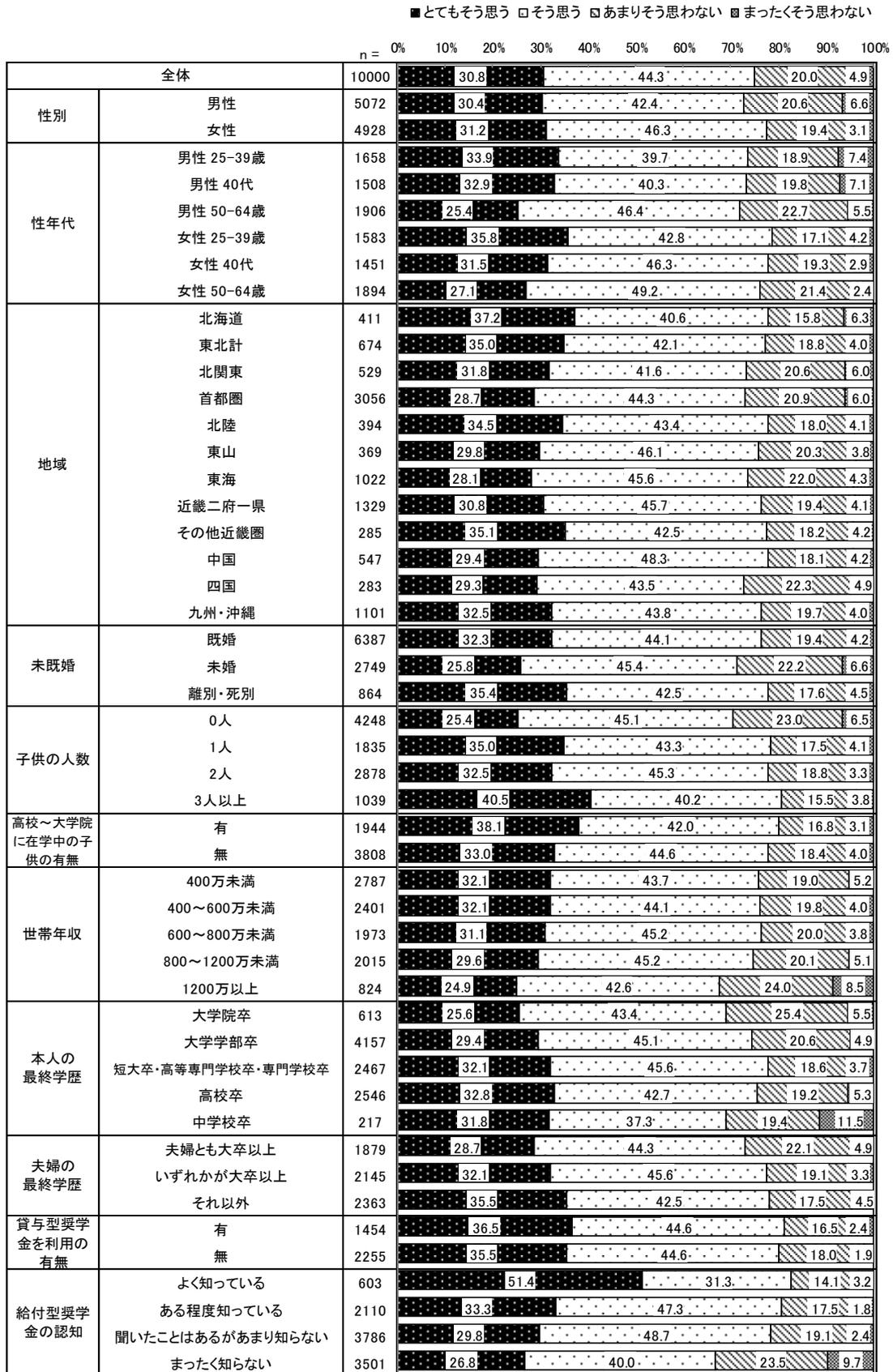
世帯年収別に見ると、概ね、世帯年収ごとに大きな差は見られず、低所得層～中間所得層まで比較的高い割合を占めているが、1200 万以上については、は「そう思う」とする割合は他の年収よりも大きく下回っている。

給付型奨学金の認知状況別に見ると、認知が高くなるにつれて「そう思う」とする割合が高くなる傾向にある。

(図 2-2)

図 2-2 大学などの教育費の経済的な負担が少子化の一因になっている (Q2-1-2)

[基数：回答者全員]



③ 一般論として、大学などの学費の高さが、親として2人目や3人目の子を育てることを難しくしており、結果として少子化の一因となっている

「一般論として、大学などの学費の高さが、親として2人目や3人目の子を育てることを難しくしており、結果として少子化の一因となっている」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が78.8%（「とてもそう思う」36.9%+「そう思う」41.9%）、「そう思わない」とする割合が21.2%（「あまりそう思わない」16.8%+「まったくそう思わない」4.4%）となっている。

性別に見ると、女性（81.4%）の方が男性（76.2%）よりも「そう思う」とする割合が高い。

子供の人数別に見ると、子供のいる家庭（1～3人以上）の「そう思う」割合は、全体的に高く、子供のいない家庭（0人）の「そう思う」割合は、平均を大きく下回っている。設問が少子化との関連を問うており、回答者の子供の状況が傾向に大きく作用していることがうかがえる。

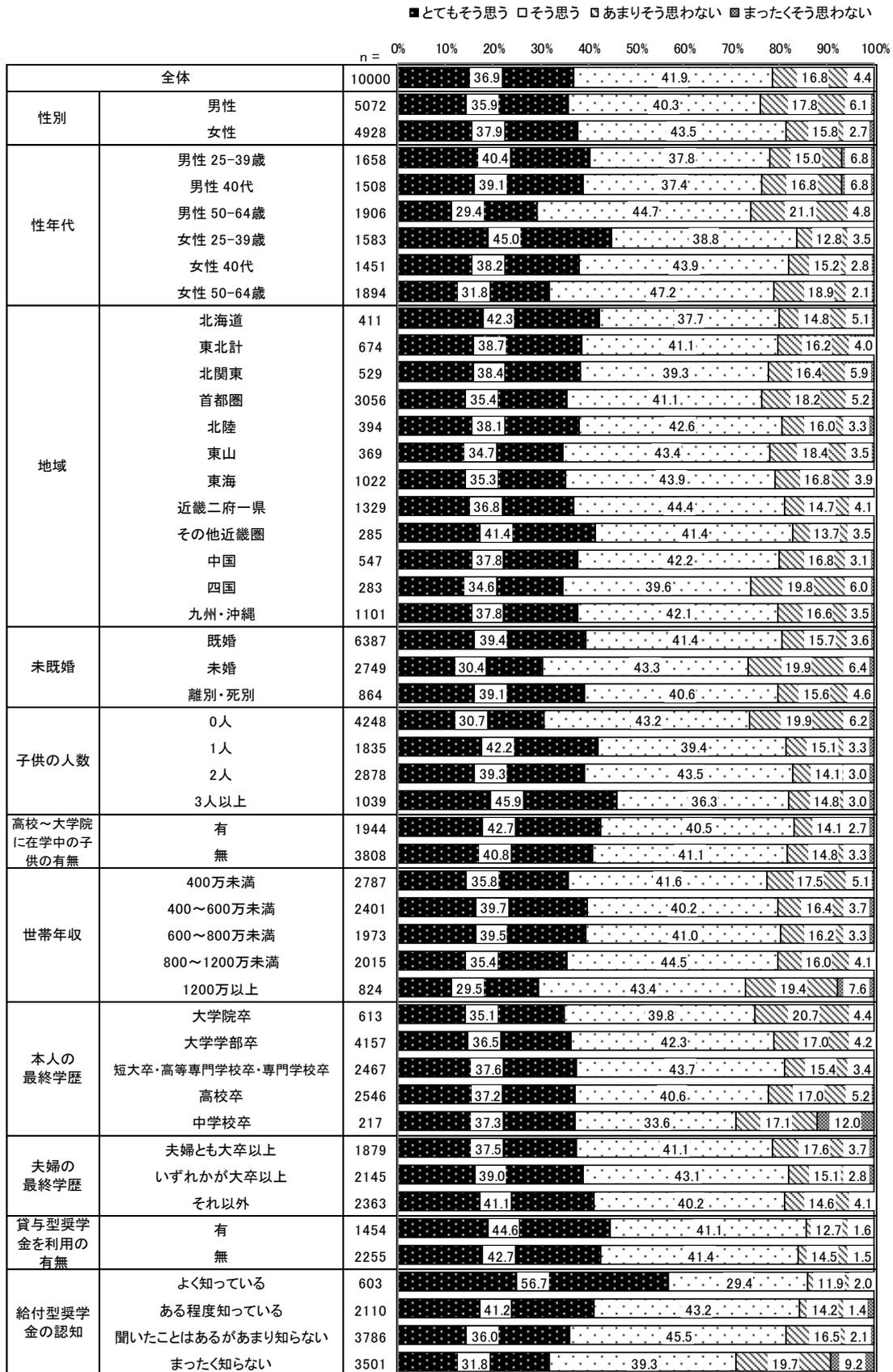
世帯年収別に見ると、年収にかかわらず概ねどの年収層においても、「そう思う」割合は高くなっている。特に、400万～800万円未満の年収層において「とてもそう思う」割合は高くなっている。

給付型奨学金の認知状況別に見ると、認知が高くなるにつれて「そう思う」とする割合が高くなる傾向にある。

(図 2-3)

図 2-3 学費の高さが少子化の一因になっている (Q2-1-3)

[基数：回答者全員]



(2) 大学などの教育費用の負担のあり方について

- ① 大学などの学費（授業料、入学金など。以下同じ）は、すべての人に対し、無償化の制度の対象とすべきで、社会全体で支援する必要がある

「大学などの学費（授業料、入学金など。以下同じ）は、すべての人に対し、無償化の制度の対象とすべきで、社会全体で支援する必要がある」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が 56.2%（「とてもそう思う」21.0%＋「そう思う」35.2%）、となっている。これは、前段の質問にあった「大学などの教育費は家計にとっては大きな負担である」に「そう思う」と回答した者（89.5%）よりは低い数値である。

性別に見ると大きな差異は見られないが、女性 25～39 歳（64.7%）は「そう思う」とする割合が他の性年代を上回っている。

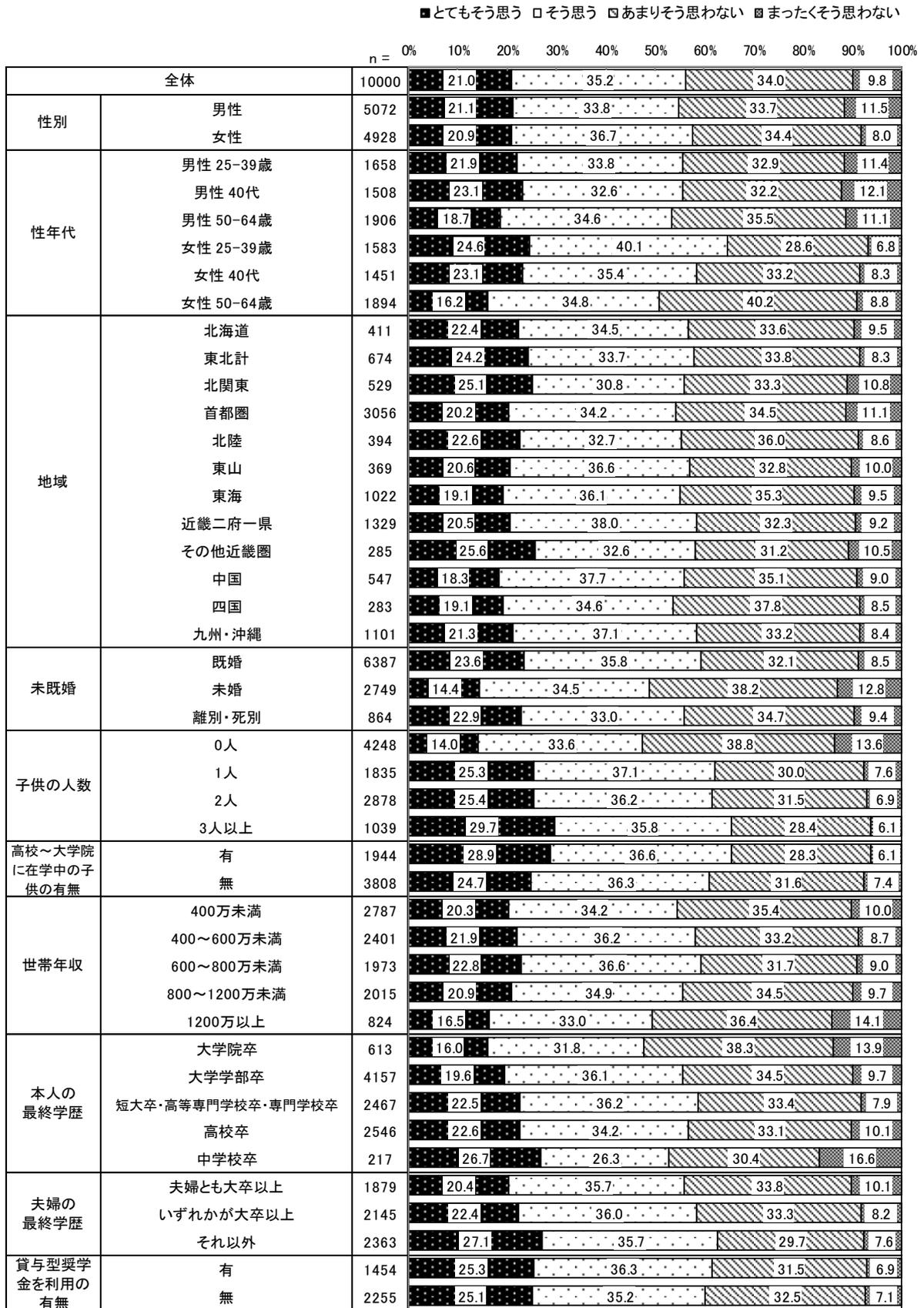
子供の状況別に見ると、子供を持つ人数が多いほど、また高校～大学等に在学中であるほど、「そう思う」と回答する割合は高くなっている。

世帯年収別に見ると、400 万円未満の世帯（現在の大学等の無償化について概ね対象となる世帯）よりも、400 万～800 万円未満（大学等の無償化の対象になっていない層がいる世帯）の方が、「そう思う」と回答する割合は高くなっている。年収 800 万円以上については、全体よりも「そう思う」割合は低くなっている。

(図 2-4)

図 2-4 すべての人に対し、無償化の制度の対象とすべきに対する考え方 (Q2-2-1)

[基数：回答者全員]



② 大学などの無償化のためであれば、消費税を1%上げても構わない

「大学などの無償化のためであれば、消費税を1%上げても構わない」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が38.3%となっている。この数値が多数派になっていないことや、前段の質問にあった、「すべての人に対し、無償化の制度の対象とすべき」と考える者の割合(56.2%)より低くなっていることについては、今後の施策決定において留意する必要がある。

性別に見ると男性(41.3%)の方が女性(35.2%)よりも「そう思う」とする割合が高くなっており、また女性50~64歳は29.1%と他の性年代を大きく下回っている。

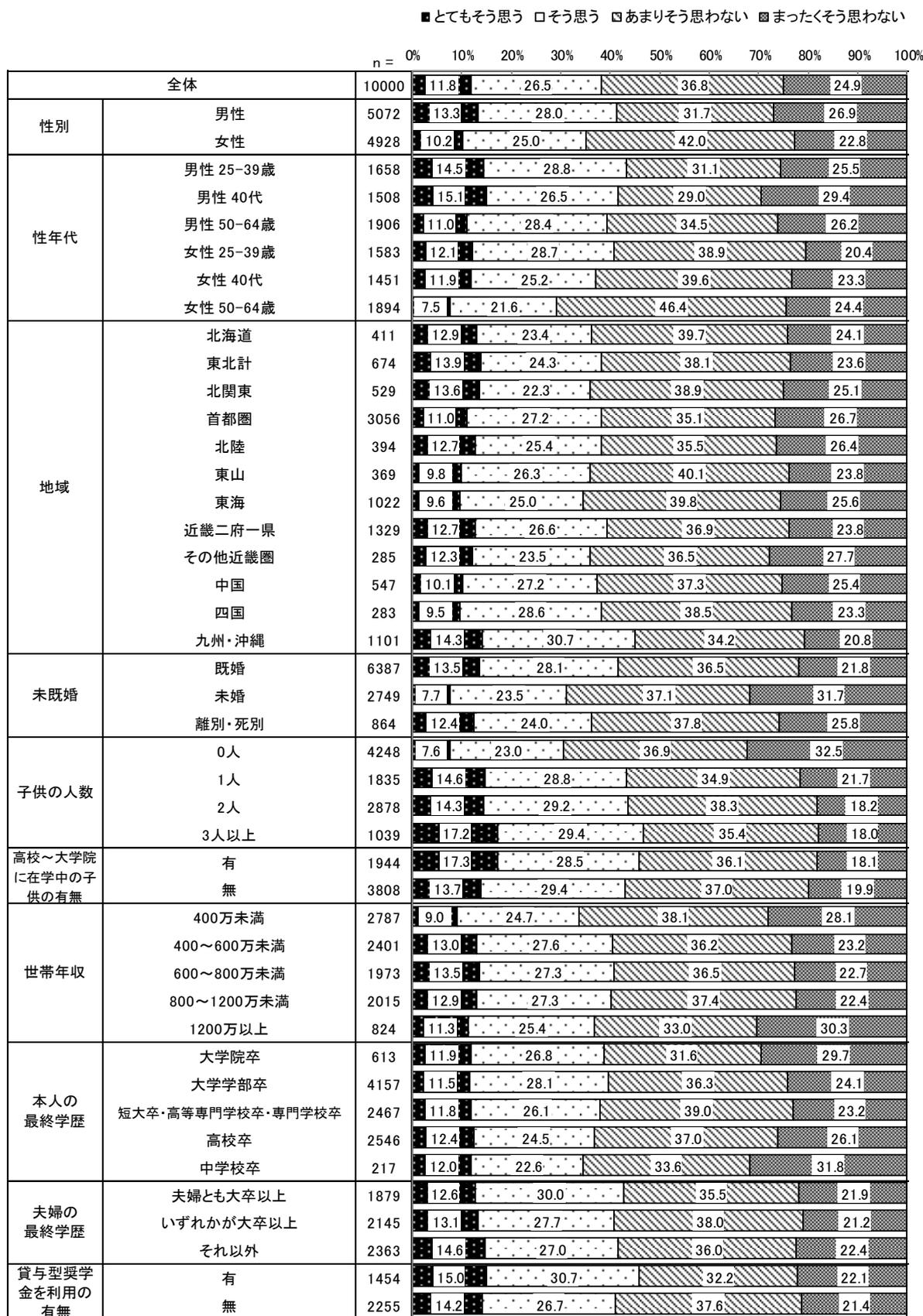
子供の状況別に見ると、子供がおり、かつ人数が多いほど、またその子が高校~大学等に在学中であるほど、「そう思う」とする割合は高くなっている。

世帯年収別に見ると、400万円未満の世帯(現在の大学等の無償化について概ね対象となる世帯)よりも、400万~1,200万円未満(大学等の無償化の対象になっていない層がいる世帯)の方が、「そう思う」と回答する割合は高くなっている。

(図 2-5)

図 2-5 大学無償化のための消費税1%増税に対する考え方 (Q2-2-2)

[基数：回答者全員]



③ 大学などの無償化は、家庭が学費をどれくらい負担できるかを考慮し、支払いがむずかしい世帯に限るべき

「大学などの無償化は、家庭が学費をどれくらい負担できるかを考慮し、支払いがむずかしい世帯に限るべき」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が62.0%（「とてもそう思う」17.0%＋「そう思う」45.0%）、となっており、前段の質問にあった「すべての人に対し、無償化の制度の対象とすべき」に「そう思う」とした割合（56.2%）よりはやや高くなっている。

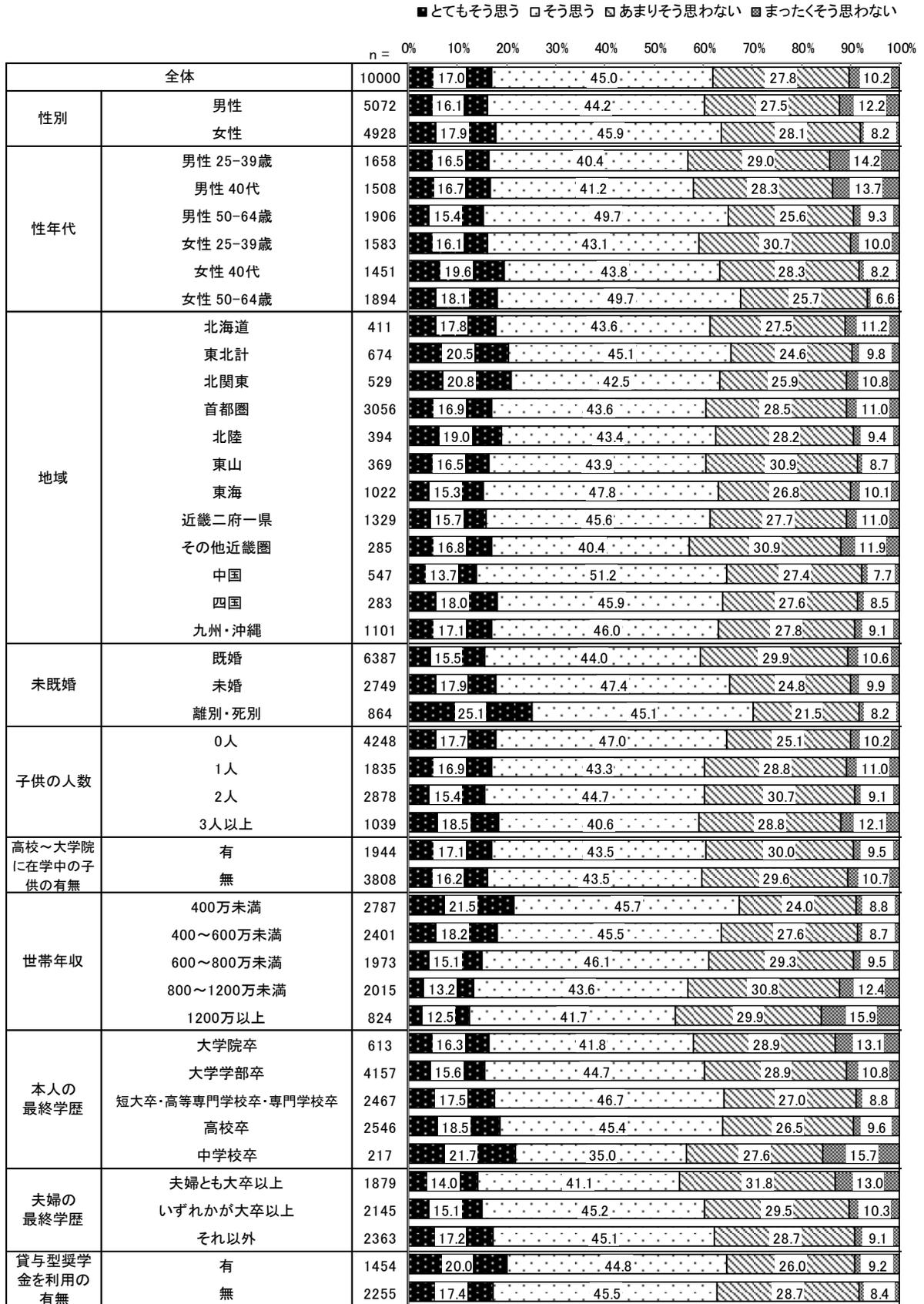
性別に見ると女性（63.8%）の方が男性（60.3%）よりも「そう思う」とする割合が高くなっており、男女ともに年代が高くなるにつれて高くなる傾向にある。

また、前段までの回答結果と異なり、子供の数が多い家庭ほど、世帯年収が高い家庭ほど、「そう思う」割合は低くなっている。これは、無償化の支援が限定的となることによって、自分たちが恩恵を受けられないことを想定しての回答結果ではないかと考えられる。

（図 2-6）

図 2-6 大学無償化における対象者（家庭負担）の限定について（Q2-2-3）

[基数：回答者全員]



④ 大学などは、社会に出るための準備であるから、学費は家庭（保護者など）が負担することを原則とした制度とすべき

「大学などは、社会に出るための準備であるから、学費は家庭（保護者など）が負担することを原則とした制度とすべき」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合 50.2%（「とてもそう思う」10.1%+「そう思う」40.1%）、となっており、「そう思わない」割合 49.8%をわずかに上回っている。

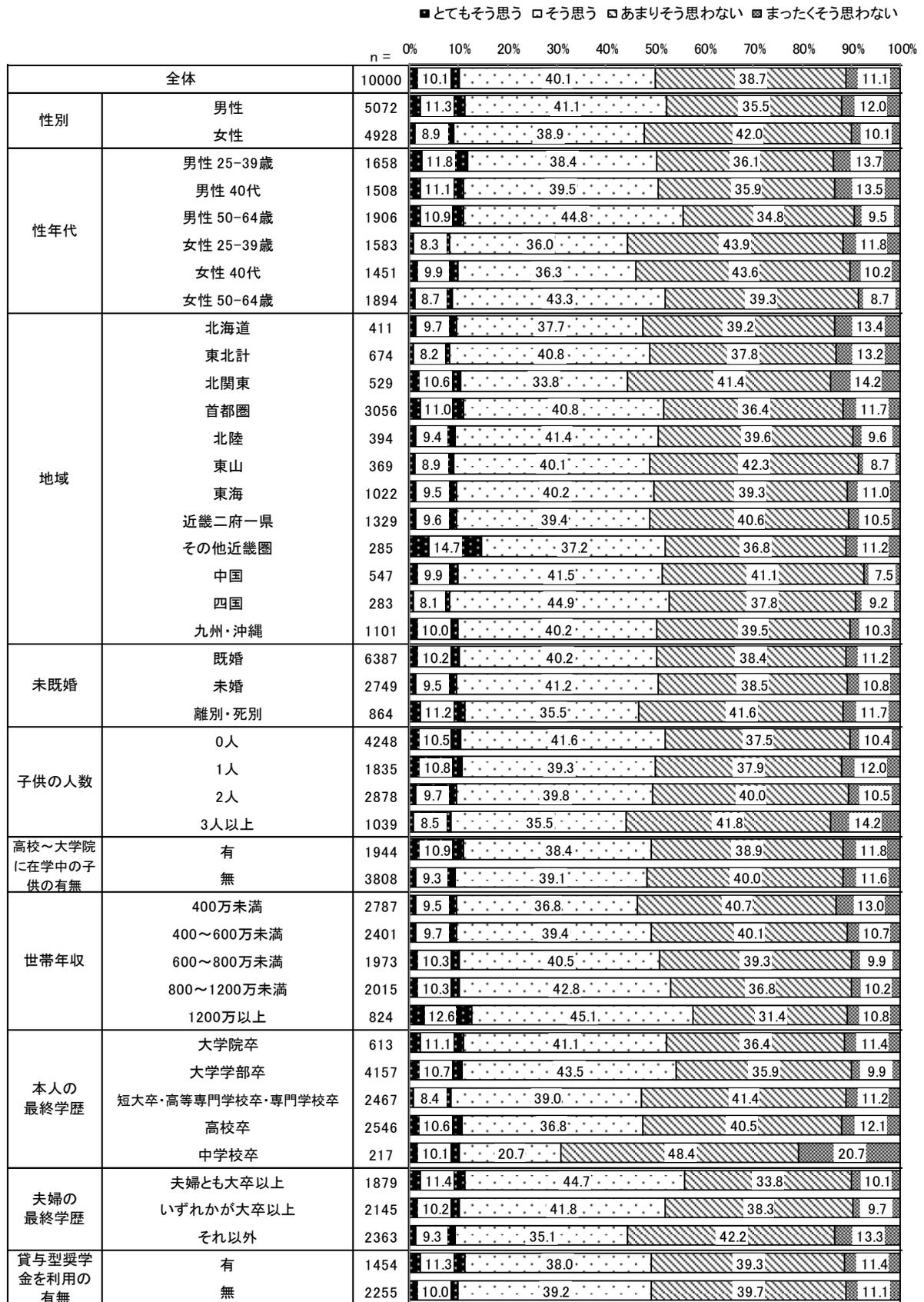
性年代別に見ると、「そう思う」の割合は男女ともに 50～64 歳の割合が高く、男性 50～64 歳（55.7%）女性 50～64 歳（52.0%）と高くなっている。

また、子供の数が多いほど、世帯年収が低いほど、本人や夫婦の学歴が低いほど、「そう思う」とする割合は下がっている。これは、上記の状況にあるほど、経済的には厳しく、家庭のみで大学などの教育費を支えることが困難となることがうかがえる。

（図 2-7）

図 2-7 学費は家庭が負担することを原則とした制度とすべきという考え方について (Q2-2-4)

[基数：回答者全員]



⑤ 大学などは義務教育ではないため、その学費は、家庭（保護者など）に頼るのではなく、社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担すべき

「大学などは義務教育ではないため、その学費は、家庭（保護者など）に頼るのではなく、社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担すべき」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合 45.3%（「とてもそう思う」8.9%＋「そう思う」36.4%）となっている。これは、前段の質問「学費は家庭が負担することを原則とした制度とすべき」において「そう思う」とした者の割合（50.2%）よりは低くなっており、両質問とあわせて、大学等の教育費用については本人よりも家庭で支えるべきと考える者の方が多いことがうかがえる。

一方、本人に負担させる必要があると考えている者も一定割合存在することには、学費等の負担感とあわせて留意する必要がある。

性別で見ると、男性（47.8%）の方が女性（42.8%）よりも「そう思う」の割合が高くなっている。

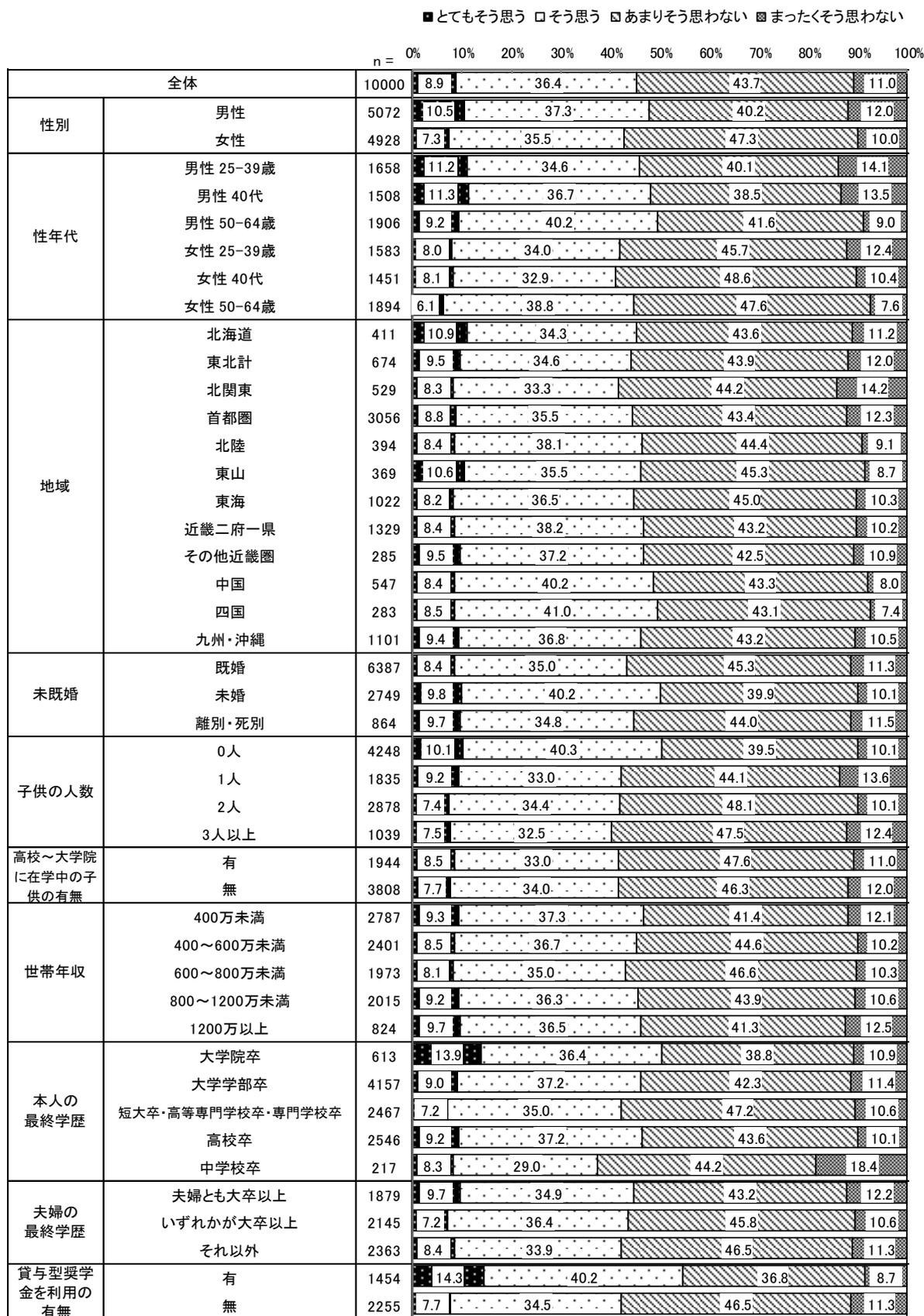
未婚であるほど、子供的人数が少ないほど、「そう思う」とする割合は高くなっている。言い換えれば、子育てと疎遠である者ほど、大学などの学費は、原則として本人が学費を負担すべきと考える傾向にあると考えられる。

貸与型奨学金利用有無別（貸与型奨学金認知者のみ）で見ると、貸与型奨学金を利用していた者の方が、利用していない者よりも「そう思う」割合が高くなっている。本人の奨学金の利用経験が、支援のあり方に関する考え方に一定程度作用していることがうかがえる。

（図 2-8）

図 2-8 大学の学費は原則本人負担とする考え方について (Q2-2-5)

[基数：回答者全員]



⑥ 大学などの学費について、返済の経済的負担が、将来の収入に応じて変わる「出世払い」のような仕組みがあれば、本人が負担しても良い

「大学などの学費について、返済の経済的負担が、将来の収入に応じて変わる「出世払い」のような仕組みがあれば、本人が負担しても良い」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合 57.5%（「とてもそう思う」9.1%+「そう思う」48.4%）となっている。

性年代別に見ると、男性 50～64 歳（62.0%）が最も高くなっている。

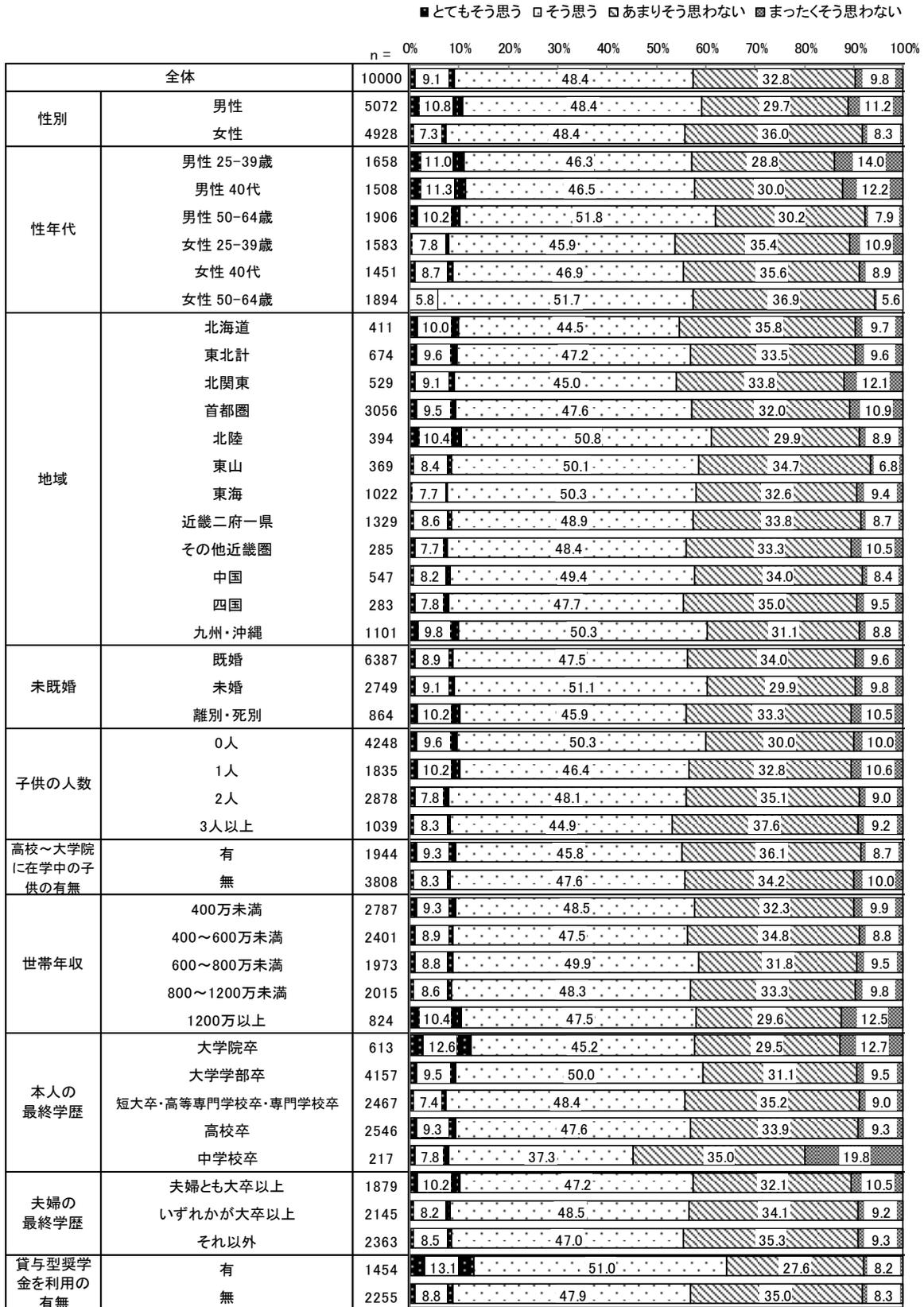
他の設問と回答傾向が異なり、既婚や子供の数が多い世帯ほど、「そう思う」とする割合は低くなる傾向にある。このことから、これらの層は大学などの学費に関して、貸与型奨学金といった返済負担が必要なもの自体を回避する傾向にある可能性がある。

貸与型奨学金利用有無別（貸与型奨学金認知者のみ）に見ると、利用している（経験がある）者の方が、「そう思う」とする割合は高くなっている。

（図 2-9）

図 2-9 大学学費負担について「出世払い」とする仕組みについて (Q2-2-6)

[基数：回答者全員]



⑦ 大学院については、家庭（保護者など）に頼るのではなく、社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担すべき

「大学院については、家庭（保護者など）に頼るのではなく、社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担すべき」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が63.4%（「とてもそう思う」15.7%+「そう思う」47.7%）となっている。これは前段までの支援のあり方に関する他の設問に比べて、「そう思う」割合が比較的高い。

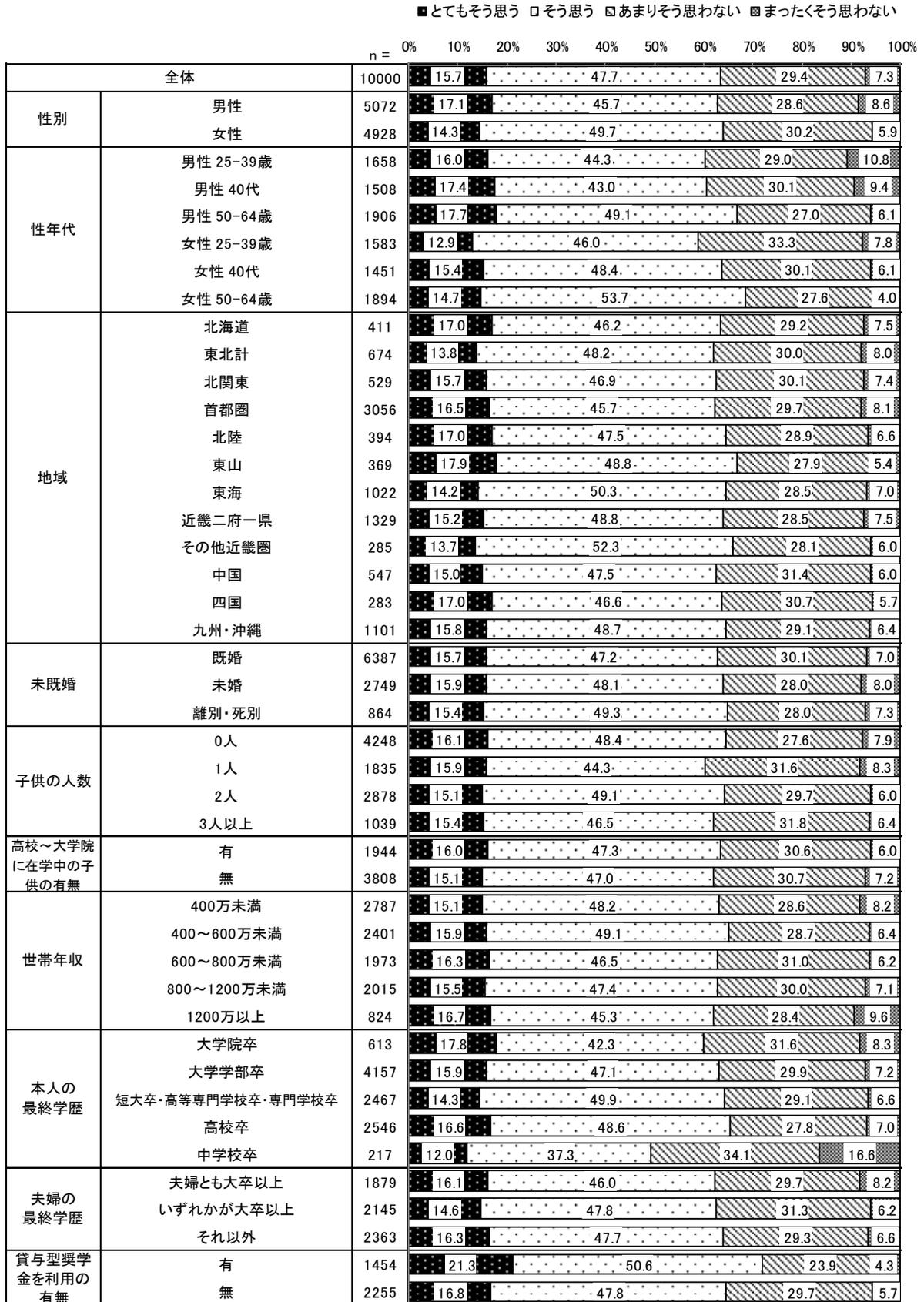
性年代別に見ると、「そう思う」の割合は男女ともに50～64歳の割合が高く、男性50～64歳（66.8%）女性50～64歳（68.4%）と高くなっている。

貸与型奨学金利用有無別（貸与型奨学金認知者のみ）に見ると、利用していた（経験がある）者の方が、「そう思う」とする割合が高くなっている。

（図 2-10）

図 2-10 大学院の学費は原則本人負担とする考え方について (Q2-2-7)

[基数：回答者全員]



### (3) 大学などの教育費用の財政支援のあり方について

#### ① 教育費用の負担軽減のために推し進めるべき教育施策

教育費用の負担軽減のために推し進めるべき教育施策について近い考え方を聞いたところ（※回答は複数選択可）、

「大学などの無償化（高等教育の修学支援新制度）について、より多くの人が利用できるようにする」や「日本学生支援機構の貸与型奨学金の返還支援制度について、一定期間返還を待ったり（猶予）、一定期間返還額を少なくしたり（減額返還）する支援を充実する」が高く、4割弱の者が賛意を示している。

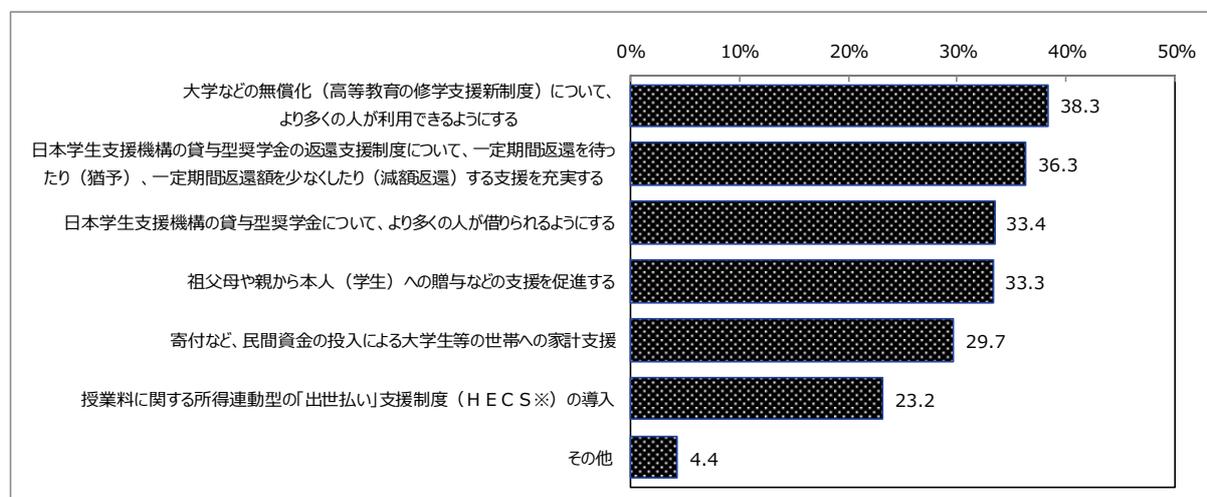
項目ごとにその詳細を確認すると、以下の内容がうかがえる。

- ・「大学などの無償化（高等教育の修学支援新制度）について、より多くの人が利用できるようにする」については、当事者となる可能性が高い（既婚である、子供の人数が多い）ほど、高くなっており、また現行制度の無償化の対象外である中間所得層（世帯年収 400 万～800 万円）であるほど高い。
- ・「返還支援制度について支援を充実する」については、貸与型奨学金を利用している者ほど、高い。
- ・「貸与型奨学金をより多くの人が借りられるようにする」については、現行制度の対象外の者がいる世帯年収 1,200 万円以上の場合でも、全体の割合よりは低い。一方、貸与型奨学金を利用している者ほど高い。
- ・「祖父母や親から本人（学生）への贈与などの支援を促進する」については、世帯年収が高い（1,200 万円以上の）層において、全体より大きく高くなっている。
- ・「授業料に関する所得連動型の「出世払い」支援制度（HECS）」については、本人の最終学歴が大学院卒の場合、全体よりも高い割合となっている。

（図 2-11/表 2-11）

図 2-11 教育費用の負担軽減のために推し進めるべき教育施策（Q2-3）（全体）

[基数：回答者全員]



（※）HECS（ヘックス）とは

オーストラリアの制度で、大学の授業料を親ではなく本人が負担する仕組みです。学生が在学中は授業料の負担がなく、卒業後、所得が一定以上の場合に、授業料相当額を納付（返済）します

表 2-11 教育費用の負担軽減のために推し進めるべき教育施策 (Q2-3) (内訳)

[基数：回答者全員]

		n =	大学の人が利用できるようにする	大学の無償化(高等教育の修)	返還額を少なくしたり(減額)	期間返還を待たず(猶予)	日本学生支援機構の貸与型奨学金	日本学生支援機構の貸与型奨学金	贈与や親からの支援を促進する	寄付など、民間資金の投入による	の世帯収入に支える所得連動型(HECS※)	その他
全体		10000	38.3	36.3	33.4	33.3	29.7	23.2	4.4			
性別	男性	5072	36.2	34.2	32.3	37.0	32.7	23.3	4.7			
	女性	4928	40.5	38.5	34.5	29.5	26.6	23.2	4.0			
性年代	男性 25-39歳	1658	38.8	35.0	30.9	37.8	35.2	22.0	4.7			
	男性 40代	1508	38.5	32.6	31.3	37.0	33.9	23.9	4.6			
	男性 50-64歳	1906	32.2	34.7	34.3	36.2	29.7	23.9	4.7			
	女性 25-39歳	1583	47.3	39.2	34.8	29.2	28.8	21.3	3.0			
	女性 40代	1451	42.3	38.0	33.9	30.2	27.1	24.1	4.1			
	女性 50-64歳	1894	33.5	38.2	34.7	29.2	24.3	24.0	4.8			
地域	北海道	411	39.4	39.4	33.3	28.7	28.0	21.7	3.4			
	東北計	674	40.2	39.3	33.1	28.5	31.3	25.1	2.7			
	北関東	529	41.4	34.8	31.9	32.1	31.4	21.9	4.0			
	首都圏	3056	37.9	35.0	32.8	34.0	32.2	23.6	4.9			
	北陸	394	36.5	37.1	33.8	31.7	25.9	24.6	3.6			
	東山	369	33.9	33.3	31.4	33.6	27.4	20.9	4.9			
	東海	1022	37.9	36.8	33.3	34.8	27.2	21.5	4.9			
	近畿二府一県	1329	39.4	37.0	32.4	35.6	28.1	24.3	3.8			
	その他近畿圏	285	38.2	35.8	34.7	33.0	31.2	18.9	3.9			
	中国	547	37.1	38.6	35.1	35.5	25.6	21.6	4.4			
	四国	283	38.2	32.9	29.3	32.5	23.7	20.8	4.6			
	九州・沖縄	1101	38.7	37.0	37.6	32.0	31.2	25.3	4.8			
未既婚	既婚	6387	41.1	35.7	33.5	33.6	28.7	22.7	4.3			
	未婚	2749	31.6	37.8	33.5	33.4	32.1	24.1	4.6			
	離別・死別	864	39.5	36.1	32.5	30.3	29.4	24.2	3.9			
子供の人数	0人	4248	31.1	37.2	32.8	33.4	30.3	24.6	4.6			
	1人	1835	43.9	35.5	31.4	34.9	28.9	22.4	3.9			
	2人	2878	42.8	35.8	34.1	33.2	29.5	21.9	4.4			
	3人以上	1039	45.9	35.4	37.2	30.2	29.1	22.7	4.1			
高校～大学院に在学中の子供の有無	有	1944	44.6	34.4	33.7	31.3	29.8	21.7	4.1			
	無	3808	43.2	36.3	33.9	34.2	28.9	22.5	4.2			
世帯年収	400万未満	2787	35.8	34.7	31.8	30.0	30.4	21.7	4.1			
	400～600万未満	2401	40.3	38.4	34.6	31.6	29.8	22.9	3.8			
	600～800万未満	1973	41.6	37.0	34.4	33.8	28.7	23.6	4.1			
	800～1200万未満	2015	38.3	35.6	33.9	35.8	28.5	24.7	4.4			
	1200万以上	824	33.6	35.8	31.4	42.2	32.3	24.8	7.3			
本人の最終学歴	大学院卒	613	40.1	38.8	35.9	41.3	36.2	29.5	5.5			
	大学学部卒	4157	38.1	38.2	33.3	36.5	31.0	23.8	5.1			
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	40.0	36.9	33.8	30.9	26.8	22.5	3.9			
	高校卒	2546	36.7	32.7	32.6	28.9	28.2	21.2	3.3			
	中学校卒	217	37.3	29.0	31.3	27.2	37.3	25.3	3.2			
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	39.8	35.9	32.0	39.1	31.3	23.6	5.0			
	いずれかが大卒以上	2145	40.6	37.4	35.0	35.1	28.1	23.1	5.0			
	それ以外	2363	42.5	33.9	33.3	28.0	27.2	21.6	3.1			
貸与型奨学金を利用の有無	有	1454	43.8	47.7	40.5	32.8	31.6	27.4	4.9			
	無	2255	45.5	43.1	34.3	34.8	31.1	28.0	5.5			

② 大学の無償化について、一定の所得制限を設けるのであれば、対象について中間所得層なども対象とすべきである

「大学の無償化について、一定の所得制限を設けるのであれば、対象について中間所得層なども対象とすべきである」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が48.5%（「とてもそう思う」14.9%+「そう思う」33.6%）、「そう思わない」とする割合が18.8%（「あまりそう思わない」10.8%+「まったくそう思わない」8.0%）となっている。

性別に見ると「そう思う」の割合に大きな差異は見られないが、男女ともに25～39歳が「そう思う」の割合が高くなっている（男性25～39歳 51.6%/女性25～39歳 55.6%）。

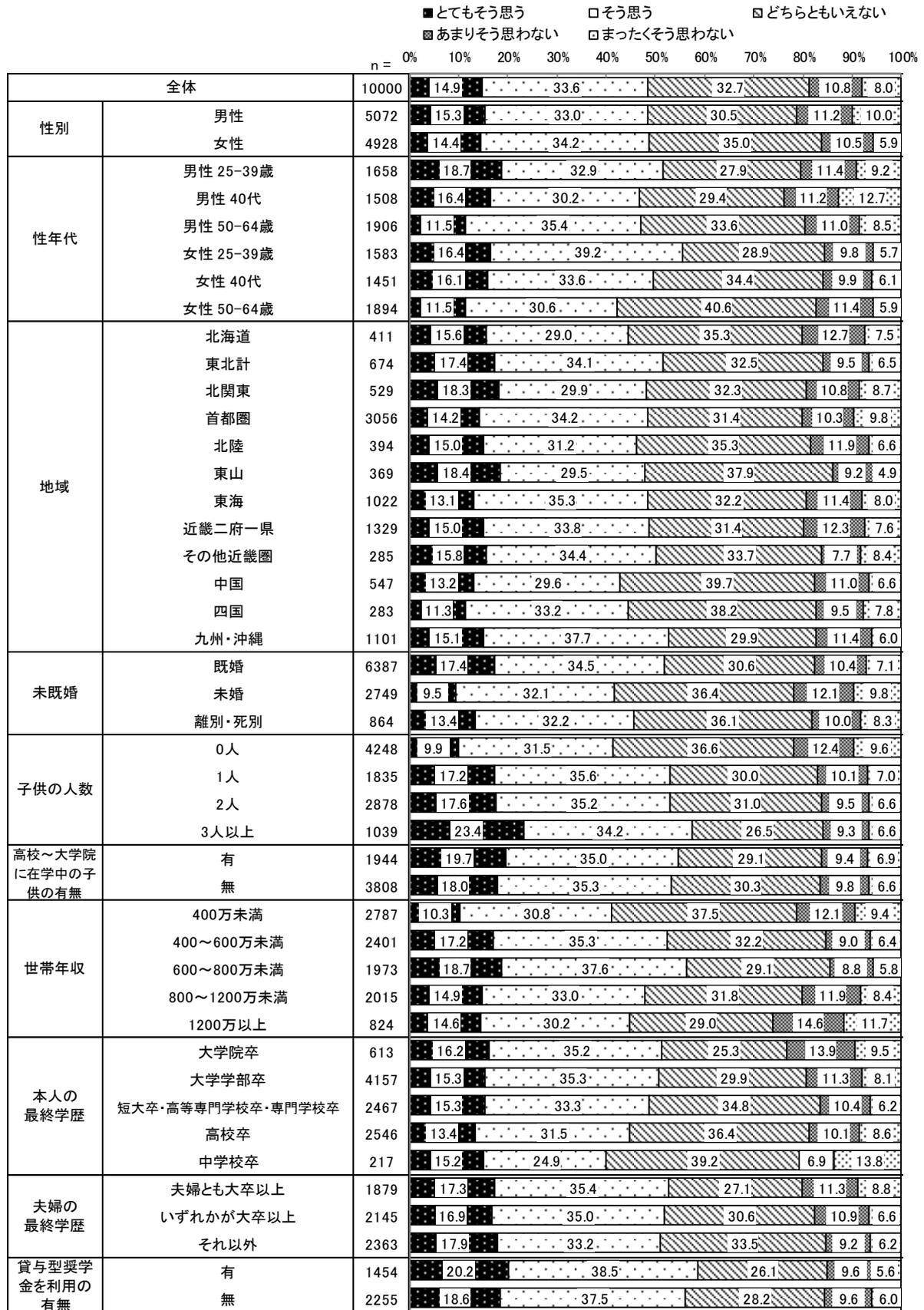
子供の人数が多いほど、また世帯年収が中間所得層（400万～800万円）であるほど、「そう思う」とする割合が高くなっている。

本人の最終学歴別に見ると、学歴が上がるにつれて「そう思う」とする割合が高くなる傾向にある。

（図 2-12）

図 2-12 大学の無償化について中間所得層を対象とすべきとの考え方について (Q2-4-1)

[基数：回答者全員]



③ 大学の無償化について、子どもが多くいる家庭（例えば3人以上など）は年収に関わらず対象とすべきである

「大学の無償化について、子どもが多くいる家庭（例えば3人以上など）は年収に関わらず対象とすべきである」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が43.0%（「とてもそう思う」15.4%+「そう思う」27.6%）。前段の質問にあった「大学の無償化について中間所得層を対象とすべき」について「そう思う」とした割合（48.5%）よりは、わずかに低い。

性別に見ると男性（46.2%）の方が女性（39.6%）よりも「そう思う」の割合が高く、また男女ともに25～39歳が「そう思う」の割合が高くなっている（男性25～39歳50.2%/女性25～39歳49.0%）。

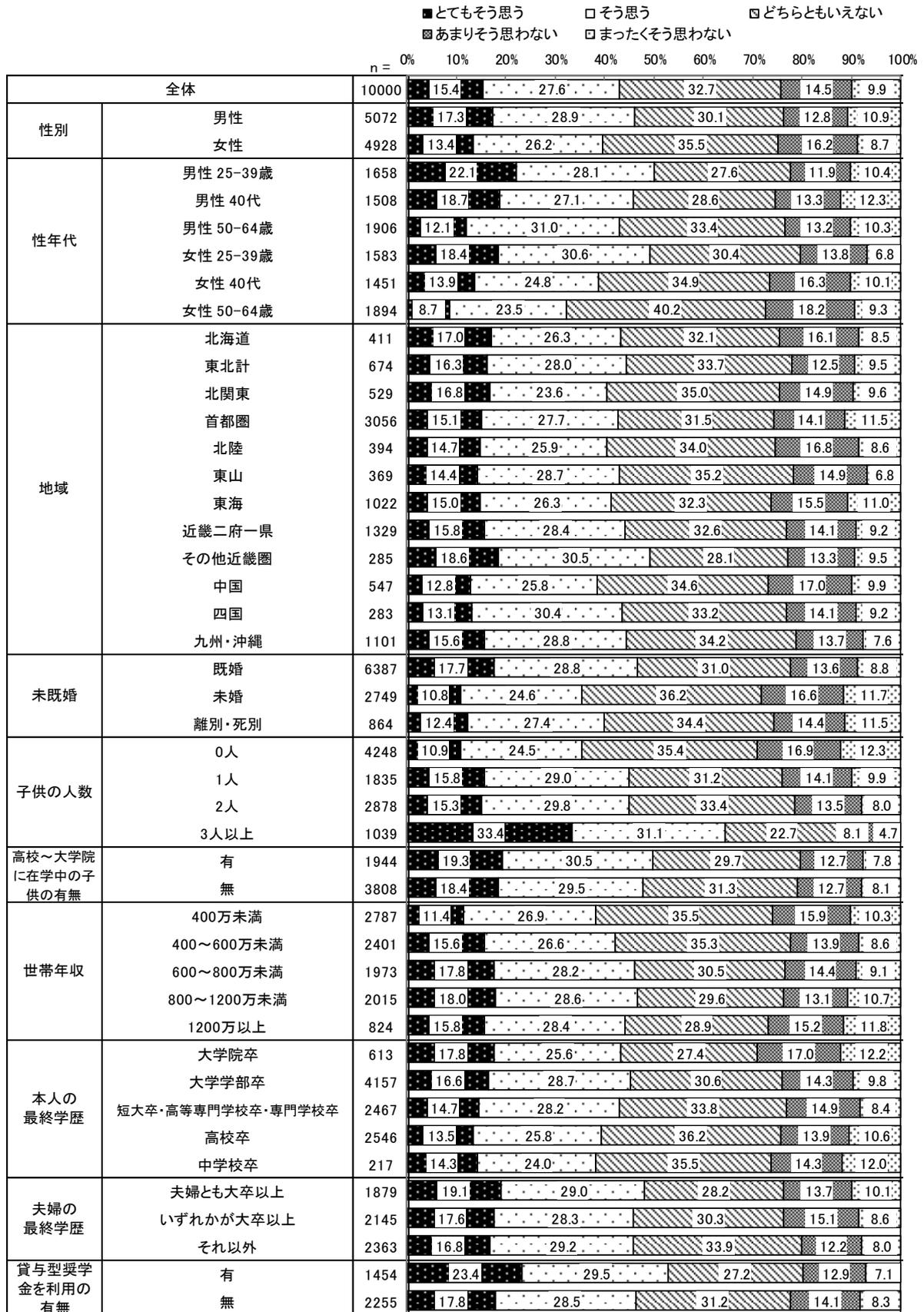
既婚者であるほど、また子供の人数が多いほど、「そう思う」とする割合は高くなっている。

貸与型奨学金利用有無別（貸与型奨学金認知者のみ）で見ると、「そう思う」とする割合について“利用”有（52.9%）は、“利用”無（46.3%）を上回っている。

（図2-13）

図 2-13 子どもが多くいる家庭に対する大学無償化の考え方について (Q2-4-2)

[基数：回答者全員]



④ 大学の無償化が、自分の世帯も対象となるのであれば、安心して子どもを育てられる（育てられた）だろうと思う

「大学の無償化が、自分の世帯も対象となるのであれば、安心して子どもを育てられる（育てられた）だろうと思う」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が62.0%（「とてもそう思う」27.8%+「そう思う」34.2%）となっており、前段にあった、無償化を中間所得層や子供の多い世帯に支援すべきとの設問よりは「そう思う」割合が高い。

性別に見ると男女に大きな差異は見られないが、男女ともに25～39歳が「そう思う」の割合が高くなっている（男性25～39歳 65.9%/女性25～39歳 71.9%）。

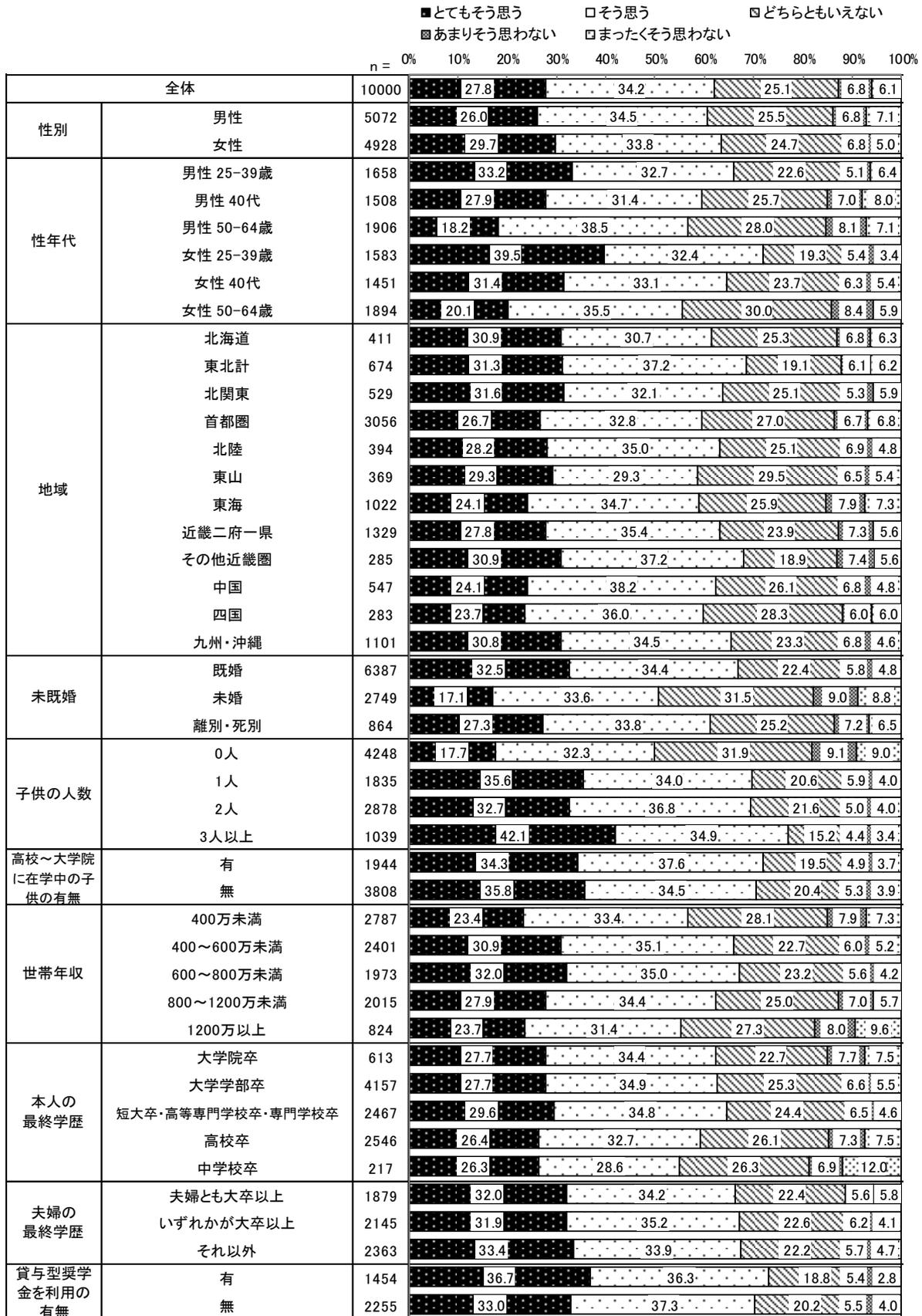
既婚であるほど、また子供の人数が多くなるにつれて「そう思う」の割合が高くなる傾向にある。

世帯年収別に見ると、世帯年収400万～800万円（大学等の無償化の対象外の世帯年収が含まれている中間所得層）は、その他の世帯年収層よりも「そう思う」とする割合が高くなっている。

（図 2-14）

図 2-14 大学無償化による子育てに対する安心感について (Q2-4-3)

[基数：回答者全員]



⑤ 大学などを卒業したあと、若いうちは、年収も高くなく、経済的に余裕がないため、結婚や子育てを後押しし、少子化対策とするためにも、奨学金の返済の負担軽減をさらに手厚くするなどの支援とすべきである

「大学などを卒業したあと、若いうちは、年収も高くなく、経済的に余裕がないため、結婚や子育てを後押しし、少子化対策とするためにも、奨学金の返済の負担軽減をさらに手厚くするなどの支援とすべきである」という考え方について最も近い考え方を聞いたところ、「そう思う」とする割合が63.2%（「とてもそう思う」22.8%+「そう思う」40.4%）となっており、他の設問に比べて、「そう思う」とする割合は比較的高い。

性別で見ると男女に大きな差異は見られないが、男女ともに25～39歳が「そう思う」の割合が高くなっている（男性25～39歳 63.8%/女性25～39歳 71.9%）。

未既婚別に見ると、「そう思う」の割合は既婚は66.7%と高く、未婚は54.8%と低くなっている。

子供の人数別に見ると、人数が多くなるにつれて「そう思う」の割合が高くなる傾向にある。

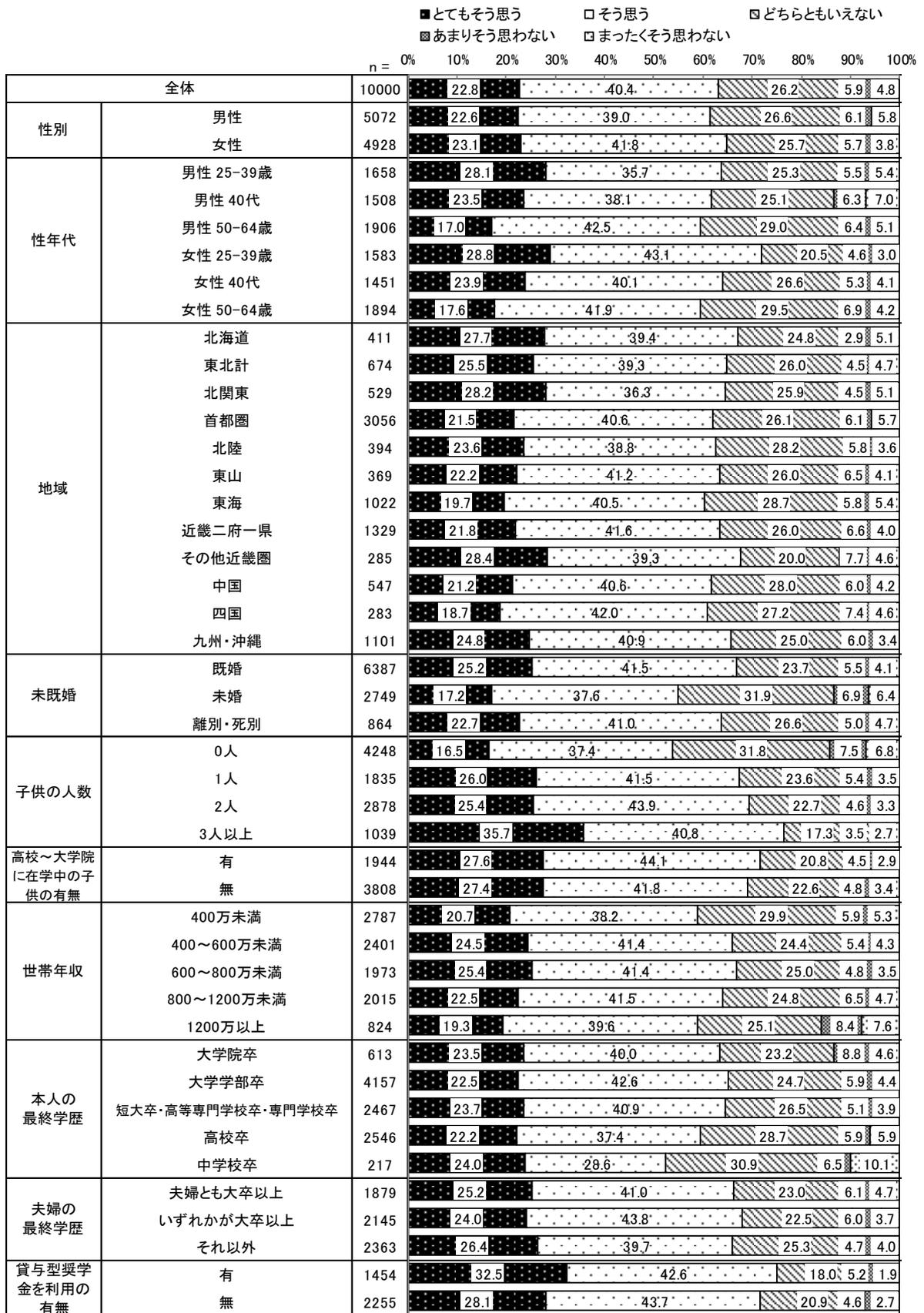
世帯年収別に見ると、世帯年収400万～800万円（大学等の無償化の対象外の世帯年収が含まれている中間所得層）は、その他の世帯年収層よりも「そう思う」とする割合が高くなっている。

貸与型奨学金利用有無別（貸与型奨学金認知者のみ）に見ると、「そう思う」とする割合について“利用”有（75.1%）は、“利用”無（71.8%）を上回っている。

（図 2-15）

図 2-15 奨学金負担軽減を考慮した支援強化についての考え方 (Q2-4-4)

[基数：回答者全員]



## IV 調 査 票

( web 調査における画面上での表記 )

## あなたご自身に関するアンケート

### モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。

**アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう**、お願いします。

#### 「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- SNSやブログ、掲示板等へ書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

#### 注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。  
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。  
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づき、性別・年齢・居住都道府県等を付記した上で、本アンケートの依頼主に提供されます。  
アンケート内で特別に同意を得ない限り、氏名・メールアドレス等の個人を特定できる情報を提供することはありません。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

<調査の趣旨とお願い>

このアンケートは、現在就業や子育て等を行っている現役世代の方を対象に、高等教育機関（大学・短大・専門学校・高専。以下「大学など」と言います）への進学の実現として行う独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が実施する奨学金制度の認知度や、高等教育そのものの教育費用の社会での分担、国の支援のあり方などについて、皆様のご意見を調査し、今後の施策を検討するために行うものです。

なお、本アンケートは、文部科学省の委託を受け、株式会社サーベイリサーチセンターにおいて実施するものです。お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理します。このため、一人ひとりの回答内容が外部に漏れることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

次へ

1. まず初めに「日本学生支援機構（JASSO）」の奨学金制度について、以下の内容をお読みになってから、設問にお答えください。

日本学生支援機構（旧日本育英会）では、経済的な理由で修学が困難な学生等の大学等への進学・修学にあたって、授業料や学生生活費を支援する奨学金制度を設けています。

奨学金制度には2種類の制度が設けられており、世帯年収や学ぶ意欲などによって、貸与型奨学金や、給付型奨学金（返済不要。「大学の無償化」とも呼ばれています）を活用することができます。また、貸与型奨学金は、返還が困難な方を対象に、その負担を軽減するため、一定期間、猶予する仕組みや、月々の返還額を減額する仕組みを設けています。

→さらに詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

次へ

(1) 貸与型奨学金について

**Q1-1**  
**必須** 日本学生支援機構が行っている「貸与型奨学金」を知っていますか。

- よく知っている
- ある程度知っている
- 聞いたことはあるがあまり知らない
- まったく知らない

次へ

**Q1-2**  
**必須** 学生時代（学生のかたは現在までに）、日本学生支援機構が行っている「貸与型奨学金」を利用しましたか。

- はい
- いいえ

次へ

**必須** 奨学金は現在（回答時点）、返済中ですか。

- はい
- いいえ

次へ

**必須** 返済が困難な方には、返還支援制度があるのを知っていますか。

- よく知っている
- ある程度知っている
- 聞いたことはあるがあまり知らない
- まったく知らない

次へ

## (2) 給付型奨学金（または「大学の無償化」）について

**Q1-3 必須** 日本学生支援機構が行っている「給付型奨学金」（返済不要の奨学金制度）があることを知っていますか。

- よく知っている
- ある程度知っている
- 聞いたことはあるがあまり知らない
- まったく知らない

次へ

**Q1-4 必須** 給付型奨学金（大学の無償化）について、どこで知りましたか。

- 文部科学省のホームページや政府広報オンラインのホームページ
- SNS（Twitter、Instagram、Facebook、LINEアカウントなど）
- 新聞やテレビCM
- 学校（高校、大学など）
- その他（自由記述：

次へ

2. 大学・短大・高専・専門学校などの教育費用の負担及び財政支援のあり方に関する認識について

(1) 大学・短大・高専・専門学校など（以下「大学など」と言います。）の教育費用の負担感について

Q2-1  
必須

以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

大学などの教育費（※）は、家計にとっては大きな負担である

（※）大学などの教育費のうち、大学の学納金の平均額は、以下のとおりです。（2019年度時点） ▲

国立大学（学部）	：	授業料（年額）	約53万円	入学金（初年度）	約28万円
私立大学（学部）	：	授業料（年額）	約90万円	入学金（初年度）	約25万円

- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

一般論として、大学などの教育費の経済的な負担（奨学金の返済を含む）が、卒業後の結婚や子育ての壁となっており、結果として少子化の一因になっている ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

一般論として、大学などの学費の高さが、親として2人目や3人目の子を育てることを難しくしており、結果として少子化の一因となっている ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

次へ

(2) 大学などの教育費用の負担のあり方について

Q2-2  
必須

以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

大学などの学費（授業料、入学金など。以下同じ）は、すべての人に対し、無償化の制度の対象とすべきで、社会全体で支援する必要がある ▲

とてもそう思う

そう思う

あまりそう思わない

まったくそう思わない

大学などの無償化のためであれば、消費税を1%上げて構わない  
(消費税による税収の換算について※)

(※) いまの大学などの無償化を、年収問わず全世帯対象とすると仮定すると、毎年約2兆5千億円の財源が必要となります。これは、消費税による税収に換算すると、およそ1%分に当たると考えられます。

とてもそう思う

そう思う

あまりそう思わない

まったくそう思わない

大学などの無償化は、家庭が学費をどれくらい負担できるかを考慮し、支払いがむずかしい世帯に限るべき ▲

とてもそう思う

そう思う

あまりそう思わない

まったくそう思わない

大学などは、社会に出るための準備であるから、学費は家庭（保護者など）が負担することを原則とした制度とすべき ▲

とてもそう思う

そう思う

あまりそう思わない

まったくそう思わない

大学などは義務教育ではないため、その学費は、家庭（保護者など）に頼るのではなく、社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担すべき ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

大学などの学費について、返済の経済的負担が、将来の収入に応じて変わる「出世払い」のような仕組みがあれば、本人が負担しても良い ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

大学院については、家庭（保護者など）に頼るのではなく、社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担すべき ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

次へ

### (3) 大学などの教育費用の財政支援のあり方について

**Q2-3 必須** 教育費用の負担軽減のために推し進めるべき教育施策として、次のうち、あなたの考えに近いものを以下の7つの項目から選んでください（複数選択可）。

#### <家庭内で支える仕組み>

- 祖父母や親から本人（学生）への贈与などの支援を促進する

#### <公的な財源で支える仕組み>

- 日本学生支援機構の貸与型奨学金について、より多くの人が借りられるようにする
- 日本学生支援機構の貸与型奨学金の返還支援制度について、一定期間返還を待ったり（猶予）、一定期間返還額を少なくしたり（減額返還）
- 大学などの無償化（高等教育の修学支援新制度）について、より多くの人が利用できるようにする
- 授業料に関する所得連動型の「出世払い」支援制度（HECS※）の導入

#### <家庭内でも公的でもなく、民間の資金で支える仕組み>

- 寄付など、民間資金の投入による大学生等の世帯への家計支援

#### <その他>

- その他（自由記述：

（※）HECS（ヘックス）とは  
オーストラリアの制度で、大学の授業料を親ではなく本人が負担する仕組みです。学生が在学中は授業料の負担がなく、卒業後、所得が一定以上の場合に、授業料相当額を納付（返済）します

次へ

**Q2-4** 以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。  
**必須**

大学の無償化について、一定の所得制限を設けるのであれば、対象について中間所得層なども対象とすべきである  
(例えば、4人[両親、子2人、片働きの場合]の場合の世帯年収の目安を、現在の上限約380万円から、約600万円~700万円程度に拡充すべき) ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

大学の無償化について、子どもが多くなる家庭(例えば3人以上など)は年収に関わらず対象とすべきである ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

大学の無償化が、自分の世帯も対象となるのであれば、安心して子どもを育てられる(育てられた)だろうと思う ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

大学などを卒業したあと、若いうちは、年収も高くなく、経済的に余裕がないため、結婚や子育てを後押しし、少子化対策とするためにも、奨学金の返済の負担軽減をさらに手厚くするなどの支援とすべきである ▲

- とてもそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

次へ

Q2-5 大学などの教育費用の支援のあり方について、国や日本学生支援機構に望むことを自由に記述してください。（任意回答）

次へ

3. 最後に、今後の政策立案のため、属性を把握する観点から、あなたとあなたのご家族についておたずねします。

“あなたご自身”についてお聞きします。

Q3-1 **必須** あなた自身が最後に卒業した学校は次のどれに当てはまりますか。

※現在、在籍中の方は、在籍されている学校種をお選びください。

- 大学院卒
- 大学学部卒
- 短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒
- 高校卒
- 中学校卒

次へ

Q3-2  
必須

あなたは現在、何か仕事をしていますか。

- 仕事をしている
- 仕事はしていないが、現在探している
- 仕事はしておらず、現在は探していない
- その他（自由記述：）

次へ

Q3-3  
必須

あなたの現在の職種を教えてください。

- 経営者・役員
- 会社員（正社員）
- 会社員（契約社員）
- 会社員（派遣社員）
- パート・アルバイト
- 公務員（教職員除く）
- 教職員
- 医療関係者
- 自営業・自由業
- 士業（公認会計士・弁護士・税理士・司法書士など）
- その他（自由記述：）

次へ

Q3-4  
必須

あなたは現在、ご結婚されていますか。

- 既婚
- 未婚
- 離別・死別

次へ

Q3-5  
必須

配偶者が最後に卒業した学校は次のどれに当てはまりますか。

※現在、在籍中の方は、在籍されている学校種をお選びください。

- 大学院卒
- 大学学部卒
- 短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒
- 高校卒
- 中学校卒
- その他（自由記述：）

次へ

Q3-6  
必須

配偶者の方は現在、何か仕事をしていますか。

- 仕事をしている
- 仕事はしていないが、現在探している
- 仕事はしておらず、現在は探していない
- その他（自由記述：）

次へ

Q3-7  
必須

あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。

- いる
- いない

次へ

Q3-8  
必須

お子さんは何人いらっしゃいますか。

選択してください

次へ

Q3-9  
必須

それぞれのお子さんの在学状況を教えてください。

※ 4人以上いらっしゃる場合は、3人目までの状況をお答えください。

1人目

在学状況

選択してください

卒業済みの  
最終学歴

選択してください

2人目

在学状況

選択してください

卒業済みの  
最終学歴

選択してください

3人目

在学状況

選択してください

卒業済みの  
最終学歴

選択してください

次へ

**Q3-10 必須** あなたご自身の昨年の年収（※税込み）はどのくらいでしたか。また、あなたの世帯全体の年収（※税込み）についてもお答えください。

※税や社会保障を支払う前の収入の総額であり、給与所得者の場合、源泉徴収票において「支払金額」と書かれています。

①事業所得	個人が経営する農業・漁業・製造業・卸売業・小売業・サービス業などから生ずる所得でその年中の総収入から事業経営に必要な経費を控除した額。（農業、小売業などで生産品または商品を自家消費した場合は、時価に換算した見積額を所得に加算してください。）
②給与所得	俸給、給料、賃金、採否、賞与など労務または役務の対価として受けた総額。
③資産所得	利子所得、配当所得、不動産所得など、資産から生ずる所得の総額。
④その他の所得	恩給、年金、家庭の内職収入および世帯員以外の者からの経済的援助などの総額とし、退職金、財産売却、相続などのため、臨時的に得た収入および借入金は計算しないでください。（新型コロナウイルス関連で臨時的に得た給付金や助成金等は、計算しないでください。）

[画像を拡大]

	あなたご自身の 個人年収	世帯全体の 年収
200万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
200万～300万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
300万～400万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
400万～500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
500万～600万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
600万～700万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
700万～800万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
800万～900万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
900万～1,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,000万～1,100万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,100～1,200万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,200万～1,300万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,300万～1,400万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,400万～1,500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,500万円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

# V 集 計 表

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、  
 ■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下  
 \* グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

(1) 貸与型奨学金について

Q1-1.日本学生支援機構が行っている「貸与型奨学金」を知っていますか。

SA

		n	よく知 っている	ある 程度知 っている	ま り 知 ら な い	ま た く 知 ら な い
全体		10000	13.2	23.9	33.1	29.8
性別	男性	5072	13.2	23.8	31.7	31.3
	女性	4928	13.2	24.0	34.6	28.3
性年代	男性 25-39歳	1658	19.4	24.5	27.9	28.2
	男性 40代	1508	10.8	21.4	32.6	35.1
	男性 50-64歳	1906	9.7	25.1	34.3	30.9
	女性 25-39歳	1583	16.8	21.8	29.9	31.5
	女性 40代	1451	9.2	20.9	37.4	32.5
	女性 50-64歳	1894	13.2	28.2	36.3	22.3
地域	北海道	411	11.7	25.8	31.1	31.4
	東北計	674	15.3	22.6	34.9	27.3
	北関東	529	13.6	21.7	30.4	34.2
	首都圏	3056	12.3	21.7	33.3	32.7
	北陸	394	9.6	22.8	33.0	34.5
	東山	369	15.4	26.0	31.4	27.1
	東海	1022	11.5	22.6	33.1	32.8
	近畿二府一県	1329	14.7	26.8	33.0	25.5
	その他近畿圏	285	11.6	28.1	32.3	28.1
	中国	547	15.0	23.6	35.3	26.1
未既婚	既婚	6387	13.4	26.0	33.6	27.1
	未婚	2749	12.4	19.6	32.2	35.7
	離別・死別	864	14.4	22.2	32.5	30.9
	0人	4248	12.0	20.1	31.4	36.5
子供の人数	1人	1835	13.3	23.7	34.3	28.8
	2人	2878	13.3	28.1	34.8	23.8
	3人以上	1039	17.6	28.2	33.1	21.1
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	14.8	32.0	34.4	18.8
	無	3808	13.7	24.0	34.3	28.0
世帯年収	400万未満	2787	10.4	19.2	32.8	37.5
	400～600万未満	2401	14.0	22.1	33.6	30.3
	600～800万未満	1973	14.2	26.2	33.5	26.1
	800～1200万未満	2015	15.0	27.9	33.5	23.6
	1200万以上	824	13.1	29.6	30.8	26.5
本人の最終学歴	大学院卒	613	32.0	29.9	22.3	15.8
	大学学部卒	4157	16.4	28.3	31.2	24.0
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	10.1	22.1	36.1	31.7
	高校卒	2546	7.2	18.0	35.5	39.2
	中学校卒	217	3.2	12.0	35.9	48.8
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	19.7	30.2	28.4	21.7
	いずれかが大卒以上	2145	12.3	28.1	35.2	24.4
	それ以外	2363	9.3	20.7	36.1	33.9
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	58.5	41.5	0.0	0.0
	無	2255	20.8	79.2	0.0	0.0

Q1-2. 学生時代（学生のかたは現在までに）、日本学生支援機構が行っている「貸与型奨学金」を利用しましたか。  
SA

		n	はい	いいえ
全体		3709	39.2	60.8
性別	男性	1878	43.1	56.9
	女性	1831	35.2	64.8
性年代	男性 25-39歳	728	58.5	41.5
	男性 40代	486	39.3	60.7
	男性 50-64歳	664	28.9	71.1
	女性 25-39歳	611	59.1	40.9
	女性 40代	436	29.1	70.9
	女性 50-64歳	784	20.0	80.0
地域	北海道	154	35.1	64.9
	東北計	255	33.7	66.3
	北関東	187	39.0	61.0
	首都圏	1040	40.1	59.9
	北陸	128	39.1	60.9
	東山	153	33.3	66.7
	東海	349	37.8	62.2
	近畿二府一県	552	39.5	60.5
	その他近畿圏	113	37.2	62.8
	中国	211	42.7	57.3
	四国	114	44.7	55.3
	九州・沖縄	453	41.9	58.1
未既婚	既婚	2512	36.2	63.8
	未婚	881	51.0	49.0
	離別・死別	316	30.1	69.9
子供の人数	0人	1364	49.2	50.8
	1人	678	39.4	60.6
	2人	1191	30.9	69.1
	3人以上	476	31.1	68.9
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	909	23.8	76.2
	無	1436	39.5	60.5
世帯年収	400万未満	827	38.3	61.7
	400～600万未満	867	42.8	57.2
	600～800万未満	798	39.2	60.8
	800～1200万未満	865	38.5	61.5
	1200万以上	352	34.1	65.9
本人の最終学歴	大学院卒	379	62.0	38.0
	大学学部卒	1860	45.5	54.5
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	795	30.4	69.6
	高校卒	642	19.5	80.5
	中学校卒	33	18.2	81.8
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	938	47.5	52.5
	いずれかが大卒以上	866	33.7	66.3
	それ以外	708	24.3	75.7
貸与型奨学金を利用の有無	有	1454	100.0	0.0
	無	2255	0.0	100.0

X3.奨学金は現在（回答時点）、返済中ですか。

SA

		n	はい	いいえ
全体		1454	41.5	58.5
性別	男性	809	40.9	59.1
	女性	645	42.2	57.8
性年代	男性 25-39歳	426	62.7	37.3
	男性 40代	191	19.9	80.1
	男性 50-64歳	192	13.5	86.5
	女性 25-39歳	361	58.7	41.3
	女性 40代	127	13.4	86.6
	女性 50-64歳	157	27.4	72.6
地域	北海道	54	27.8	72.2
	東北計	86	47.7	52.3
	北関東	73	39.7	60.3
	首都圏	417	41.7	58.3
	北陸	50	38.0	62.0
	東山	51	47.1	52.9
	東海	132	38.6	61.4
	近畿二府一県	218	44.5	55.5
	その他近畿圏	42	45.2	54.8
	中国	90	45.6	54.4
	四国	51	43.1	56.9
	九州・沖縄	190	37.4	62.6
未既婚	既婚	910	35.8	64.2
	未婚	449	54.1	45.9
	離別・死別	95	35.8	64.2
子供の人数	0人	671	49.8	50.2
	1人	267	41.2	58.8
	2人	368	31.0	69.0
	3人以上	148	30.4	69.6
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	216	23.1	76.9
	無	567	38.6	61.4
世帯年収	400万未満	317	47.0	53.0
	400～600万未満	371	44.5	55.5
	600～800万未満	313	41.9	58.1
	800～1200万未満	333	38.1	61.9
	1200万以上	120	25.8	74.2
本人の最終学歴	大学院卒	235	39.6	60.4
	大学学部卒	846	43.3	56.7
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	242	39.3	60.7
	高校卒	125	38.4	61.6
	中学校卒	6	16.7	83.3
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	446	39.0	61.0
	いずれかが大卒以上	292	30.8	69.2
	それ以外	172	36.0	64.0
貸与型奨学金を利用の有無	有	1454	41.5	58.5
	無	0	0.0	0.0

X4.返済が困難な方には、返還支援制度があるのを知っていますか。

SA

		n	よく知 っている	ある 程度知 っている	ま り 聞 いた こ と は あ る が あ り 知 ら な い	ま っ た く 知 ら な い
全体		1454	18.2	33.2	32.3	16.4
性別	男性	809	18.8	33.7	32.0	15.5
	女性	645	17.4	32.6	32.6	17.5
性年代	男性 25-39歳	426	24.2	32.9	28.4	14.6
	男性 40代	191	16.2	33.5	33.5	16.8
	男性 50-64歳	192	9.4	35.9	38.5	16.1
	女性 25-39歳	361	21.1	34.1	29.6	15.2
	女性 40代	127	11.8	31.5	36.2	20.5
	女性 50-64歳	157	13.4	29.9	36.3	20.4
地域	北海道	54	13.0	31.5	35.2	20.4
	東北計	86	25.6	38.4	19.8	16.3
	北関東	73	20.5	27.4	30.1	21.9
	首都圏	417	20.6	32.1	30.9	16.3
	北陸	50	20.0	34.0	34.0	12.0
	東山	51	25.5	29.4	37.3	7.8
	東海	132	14.4	35.6	37.9	12.1
	近畿二府一県	218	22.0	33.0	31.7	13.3
	その他近畿圏	42	11.9	38.1	35.7	14.3
	中国	90	10.0	28.9	34.4	26.7
	四国	51	15.7	33.3	39.2	11.8
九州・沖縄	190	11.6	36.3	32.1	20.0	
未既婚	既婚	910	16.8	33.7	33.1	16.4
	未婚	449	20.7	33.0	31.6	14.7
	離別・死別	95	18.9	29.5	27.4	24.2
子供の人数	0人	671	20.9	32.0	31.1	15.9
	1人	267	23.2	31.8	30.0	15.0
	2人	368	13.3	35.1	34.8	16.8
	3人以上	148	8.8	36.5	35.1	19.6
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	216	12.5	34.3	37.5	15.7
	無	567	17.1	34.2	31.6	17.1
世帯年収	400万未満	317	19.2	32.2	31.9	16.7
	400～600万未満	371	17.3	37.2	28.3	17.3
	600～800万未満	313	16.0	34.2	33.5	16.3
	800～1200万未満	333	20.4	30.9	32.7	15.9
	1200万以上	120	17.5	27.5	40.8	14.2
本人の最終学歴	大学院卒	235	21.3	34.5	31.5	12.8
	大学学部卒	846	17.8	34.9	32.3	15.0
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	242	15.3	33.1	30.2	21.5
	高校卒	125	19.2	20.0	38.4	22.4
	中学校卒	6	33.3	33.3	16.7	16.7
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	446	19.1	34.3	32.1	14.6
	いずれかが大卒以上	292	13.0	35.3	34.6	17.1
	それ以外	172	17.4	29.7	33.1	19.8
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	18.2	33.2	32.3	16.4
	無	0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 給付型奨学金(または「大学の無償化」)について  
 Q1-3.日本学生支援機構が行っている「給付型奨学金」(返済不要の奨学金制度)があることを知っていますか。  
 SA

		n	よく知 っている	ある程 度知っ ている	ま聞 りいた 知らな いはあ るがあ	ま った く 知ら ない
全体		10000	6.0	21.1	37.9	35.0
性別	男性	5072	6.4	22.1	36.5	35.0
	女性	4928	5.6	20.1	39.2	35.0
性年代	男性 25-39歳	1658	9.3	24.4	34.1	32.2
	男性 40代	1508	5.5	20.2	36.9	37.3
	男性 50-64歳	1906	4.6	21.5	38.4	35.6
	女性 25-39歳	1583	5.9	18.8	37.1	38.2
	女性 40代	1451	5.6	17.0	39.8	37.6
	女性 50-64歳	1894	5.4	23.6	40.5	30.4
地域	北海道	411	6.1	20.9	37.7	35.3
	東北計	674	7.4	19.9	37.4	35.3
	北関東	529	6.8	18.9	34.2	40.1
	首都圏	3056	5.9	19.1	38.4	36.7
	北陸	394	4.3	21.6	37.1	37.1
	東山	369	6.5	27.6	34.1	31.7
	東海	1022	5.0	21.4	35.0	38.6
	近畿二府一県	1329	6.5	22.6	38.4	32.4
	その他近畿圏	285	4.2	23.5	39.6	32.6
	中国	547	5.1	20.7	44.8	29.4
	四国	283	6.7	21.6	41.7	30.0
	九州・沖縄	1101	6.8	23.5	37.1	32.5
未既婚	既婚	6387	6.2	22.6	38.9	32.4
	未婚	2749	5.3	18.4	36.1	40.2
	離別・死別	864	7.2	18.9	35.9	38.1
子供の人数	0人	4248	5.2	18.5	35.4	41.0
	1人	1835	7.4	21.2	37.4	34.0
	2人	2878	5.8	23.3	41.1	29.7
	3人以上	1039	7.7	25.7	39.6	27.0
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	9.8	27.8	39.0	23.4
	無	3808	5.1	20.6	40.0	34.3
世帯年収	400万未満	2787	4.7	16.4	35.6	43.3
	400～600万未満	2401	6.0	20.7	37.2	36.2
	600～800万未満	1973	6.3	22.3	40.5	30.8
	800～1200万未満	2015	7.4	24.7	40.1	27.8
	1200万以上	824	6.7	26.6	35.7	31.1
本人の最終学歴	大学院卒	613	13.4	29.4	33.6	23.7
	大学学部卒	4157	7.6	26.7	38.0	27.8
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	4.4	18.3	39.3	38.0
	高校卒	2546	3.6	14.0	37.5	44.8
	中学校卒	217	2.8	6.5	34.6	56.2
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	9.2	29.1	36.2	25.5
	いずれかが大卒以上	2145	5.3	23.8	40.9	30.0
	それ以外	2363	4.7	16.3	39.1	39.9
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	19.3	38.3	28.4	14.0
	無	2255	13.5	55.8	23.4	7.3

Q1-4.給付型奨学金（大学の無償化）について、どこで知りましたか。

MA

		n	オンラインのホームページ	文科学省のホームページや政府広報	INS (Twitter、Instagram、Facebook、LINEアカウントなど)	新聞やテレビCM	学校（高校、大学など）	その他
全体		2713	22.0	9.8	34.7	47.1	6.1	
性別	男性	1444	24.5	10.9	40.2	41.1	5.8	
	女性	1269	19.1	8.7	28.4	54.1	6.5	
性年代	男性 25-39歳	559	27.5	16.8	31.3	46.2	5.2	
	男性 40代	388	22.9	8.2	43.3	39.2	8.0	
	男性 50-64歳	497	22.3	6.2	47.7	36.8	4.8	
	女性 25-39歳	391	18.2	14.3	22.5	57.5	5.6	
	女性 40代	328	21.6	7.0	22.9	55.8	8.5	
	女性 50-64歳	550	18.4	5.6	36.0	50.5	5.8	
地域	北海道	111	15.3	4.5	35.1	56.8	4.5	
	東北計	184	24.5	9.8	38.6	40.8	9.8	
	北関東	136	25.7	5.1	37.5	48.5	3.7	
	首都圏	762	22.2	12.9	35.8	42.9	6.0	
	北陸	102	20.6	14.7	34.3	46.1	6.9	
	東山	126	20.6	5.6	33.3	50.0	7.1	
	東海	270	20.7	11.9	38.1	45.9	4.4	
	近畿二府一県	388	19.3	9.3	32.7	49.0	7.0	
	その他近畿圏	79	17.7	7.6	29.1	50.6	11.4	
	中国 四国	141 80	24.1 30.0	9.2 8.8	33.3 23.8	49.6 53.8	2.8 3.8	
九州・沖縄	334	24.3	6.9	33.2	51.2	6.3		
未既婚	既婚	1837	22.3	8.7	34.9	47.1	5.8	
	未婚	651	21.4	14.0	34.4	46.5	7.1	
	離別・死別	225	21.3	7.1	33.8	48.9	5.8	
子供の人数	0人	1003	21.5	12.9	35.5	44.1	7.0	
	1人	525	23.6	11.8	35.0	45.7	5.9	
	2人	838	21.8	7.5	35.0	49.3	4.8	
	3人以上	347	21.3	3.7	31.1	53.0	7.2	
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	731	23.8	5.7	28.7	55.8	4.9	
	無	979	21.1	9.8	38.3	43.8	6.1	
世帯年収	400万未満	588	20.9	8.7	35.0	46.4	7.1	
	400～600万未満	639	21.8	11.3	31.3	47.7	5.9	
	600～800万未満	565	20.9	9.4	34.2	46.5	8.1	
	800～1200万未満	647	24.4	11.3	35.1	49.6	3.9	
	1200万以上	274	21.5	6.6	42.0	42.7	5.5	
本人の最終学歴	大学院卒	262	19.8	9.2	29.8	60.3	2.7	
	大学学部卒	1423	23.6	10.8	36.5	44.3	5.8	
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	559	19.0	6.8	33.3	51.0	6.3	
	高校卒	449	21.6	10.9	33.9	43.7	9.1	
	中学校卒	20	30.0	15.0	30.0	45.0	5.0	
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	718	23.7	9.7	36.4	46.5	3.6	
	いずれかが大卒以上	624	21.2	8.3	36.7	45.7	6.7	
	それ以外	495	21.8	7.7	30.5	49.9	7.9	
貸与型奨学金を利用の有無	有	838	28.3	12.1	29.7	49.5	3.2	
	無	1563	20.6	8.3	35.6	47.7	7.5	

2. 大学・短大・高専・専門学校などの教育費用の負担及び財政支援のあり方に関する認識について  
 (1) 大学・短大・高専・専門学校など(以下「大学など」と言います。)の教育費用の負担感について  
 Q2-1.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

1.大学などの教育費(※)は、家計にとっては大きな負担である

(※) 大学などの教育費のうち、大学の学納金の平均額は、以下のとおりです。(2019年度時点)

国立大学(学部) : 授業料(年額) 約53万円 入学金(初年度) 約28万円

私立大学(学部) : 授業料(年額) 約90万円 入学金(初年度) 約25万円

SA

		n	とても そう 思う	そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま つ た く そ う 思 わ ない
全体		10000	54.7	34.8	6.7	3.8
性別	男性	5072	51.0	36.2	7.7	5.1
	女性	4928	58.4	33.3	5.6	2.6
性年代	男性 25-39歳	1658	53.3	32.4	8.3	6.0
	男性 40代	1508	54.0	33.8	6.8	5.4
	男性 50-64歳	1906	46.6	41.4	8.0	3.9
	女性 25-39歳	1583	63.1	28.3	5.2	3.3
	女性 40代	1451	58.2	33.5	5.9	2.5
	女性 50-64歳	1894	54.8	37.4	5.8	2.0
地域	北海道	411	57.4	31.4	7.1	4.1
	東北計	674	60.8	30.9	4.9	3.4
	北関東	529	58.2	31.0	5.9	4.9
	首都圏	3056	51.9	35.8	7.6	4.7
	北陸	394	57.6	32.0	7.1	3.3
	東山	369	50.4	40.1	6.5	3.0
	東海	1022	53.4	34.7	8.0	3.8
	近畿二府一県	1329	54.3	36.0	6.2	3.5
	その他近畿圏	285	61.1	31.2	5.3	2.5
	中国	547	57.2	37.7	3.3	1.8
	四国	283	48.8	38.9	8.1	4.2
未既婚	九州・沖縄	1101	56.7	33.5	6.6	3.2
	既婚	6387	57.0	33.7	5.9	3.4
	未婚	2749	47.1	39.0	8.9	4.9
	離別・死別	864	61.5	28.9	5.6	4.1
子供の人数	0人	4248	46.3	39.7	8.8	5.2
	1人	1835	58.5	31.9	6.4	3.2
	2人	2878	60.0	32.3	5.0	2.7
	3人以上	1039	67.6	26.7	3.3	2.5
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	63.4	29.3	4.7	2.6
	無	3808	59.6	32.1	5.4	2.9
世帯年収	400万未満	2787	54.9	33.2	7.1	4.8
	400～600万未満	2401	58.3	32.3	6.4	3.0
	600～800万未満	1973	57.9	33.8	5.5	2.8
	800～1200万未満	2015	52.0	37.9	7.1	3.1
	1200万以上	824	42.5	42.2	8.1	7.2
本人の最終学歴	大学院卒	613	46.5	42.1	7.3	4.1
	大学学部卒	4157	53.6	37.1	6.0	3.3
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	57.0	33.0	6.7	3.2
	高校卒	2546	56.6	31.5	7.5	4.4
	中学校卒	217	49.8	27.6	9.7	12.9
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	51.5	38.3	6.6	3.6
	いずれかが大卒以上	2145	58.6	34.5	4.5	2.5
	それ以外	2363	60.0	29.5	6.6	3.9
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	63.8	32.8	2.8	0.6
	無	2255	62.7	33.0	3.8	0.4

Q2-1.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。  
 2.一般論として、大学などの教育費の経済的な負担（奨学金の返済を含む）が、  
 卒業後の結婚や子育ての壁となっており、結果として少子化の一因になっている  
 SA

		n	とも そう 思う	そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	30.8	44.3	20.0	4.9
性別	男性	5072	30.4	42.4	20.6	6.6
	女性	4928	31.2	46.3	19.4	3.1
性年代	男性 25-39歳	1658	33.9	39.7	18.9	7.4
	男性 40代	1508	32.9	40.3	19.8	7.1
	男性 50-64歳	1906	25.4	46.4	22.7	5.5
	女性 25-39歳	1583	35.8	42.8	17.1	4.2
	女性 40代	1451	31.5	46.3	19.3	2.9
	女性 50-64歳	1894	27.1	49.2	21.4	2.4
地域	北海道	411	37.2	40.6	15.8	6.3
	東北計	674	35.0	42.1	18.8	4.0
	北関東	529	31.8	41.6	20.6	6.0
	首都圏	3056	28.7	44.3	20.9	6.0
	北陸	394	34.5	43.4	18.0	4.1
	東山	369	29.8	46.1	20.3	3.8
	東海	1022	28.1	45.6	22.0	4.3
	近畿二府一県	1329	30.8	45.7	19.4	4.1
	その他近畿圏	285	35.1	42.5	18.2	4.2
	中国	547	29.4	48.3	18.1	4.2
未既婚	既婚	6387	32.3	44.1	19.4	4.2
	未婚	2749	25.8	45.4	22.2	6.6
子供の人数	離別・死別	864	35.4	42.5	17.6	4.5
	0人	4248	25.4	45.1	23.0	6.5
	1人	1835	35.0	43.3	17.5	4.1
	2人	2878	32.5	45.3	18.8	3.3
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	3人以上	1039	40.5	40.2	15.5	3.8
	有	1944	38.1	42.0	16.8	3.1
世帯年収	無	3808	33.0	44.6	18.4	4.0
	400万未満	2787	32.1	43.7	19.0	5.2
	400～600万未満	2401	32.1	44.1	19.8	4.0
	600～800万未満	1973	31.1	45.2	20.0	3.8
	800～1200万未満	2015	29.6	45.2	20.1	5.1
本人の最終学歴	1200万以上	824	24.9	42.6	24.0	8.5
	大学院卒	613	25.6	43.4	25.4	5.5
	大学学部卒	4157	29.4	45.1	20.6	4.9
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	32.1	45.6	18.6	3.7
	高校卒	2546	32.8	42.7	19.2	5.3
夫婦の最終学歴	中学校卒	217	31.8	37.3	19.4	11.5
	夫婦とも大卒以上	1879	28.7	44.3	22.1	4.9
	いずれかが大卒以上	2145	32.1	45.6	19.1	3.3
貸与型奨学金を利 用の有無	それ以外	2363	35.5	42.5	17.5	4.5
	有	1454	36.5	44.6	16.5	2.4
		2255	35.5	44.6	18.0	1.9

Q2-1.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

3.一般論として、大学などの学費の高さが、親として2人目や3人目の子を育てることを難しくしており、結果として少子化の一因となっている

SA

		n	とても そう 思う	そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま つ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	36.9	41.9	16.8	4.4
性別	男性	5072	35.9	40.3	17.8	6.1
	女性	4928	37.9	43.5	15.8	2.7
性年代	男性 25-39歳	1658	40.4	37.8	15.0	6.8
	男性 40代	1508	39.1	37.4	16.8	6.8
	男性 50-64歳	1906	29.4	44.7	21.1	4.8
	女性 25-39歳	1583	45.0	38.8	12.8	3.5
	女性 40代	1451	38.2	43.9	15.2	2.8
	女性 50-64歳	1894	31.8	47.2	18.9	2.1
地域	北海道	411	42.3	37.7	14.8	5.1
	東北計	674	38.7	41.1	16.2	4.0
	北関東	529	38.4	39.3	16.4	5.9
	首都圏	3056	35.4	41.1	18.2	5.2
	北陸	394	38.1	42.6	16.0	3.3
	東山	369	34.7	43.4	18.4	3.5
	東海	1022	35.3	43.9	16.8	3.9
	近畿二府一県	1329	36.8	44.4	14.7	4.1
	その他近畿圏	285	41.4	41.4	13.7	3.5
	中国	547	37.8	42.2	16.8	3.1
	四国	283	34.6	39.6	19.8	6.0
未既婚	九州・沖縄	1101	37.8	42.1	16.6	3.5
	既婚	6387	39.4	41.4	15.7	3.6
	未婚	2749	30.4	43.3	19.9	6.4
子供の人数	離別・死別	864	39.1	40.6	15.6	4.6
	0人	4248	30.7	43.2	19.9	6.2
	1人	1835	42.2	39.4	15.1	3.3
	2人	2878	39.3	43.5	14.1	3.0
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	3人以上	1039	45.9	36.3	14.8	3.0
	有	1944	42.7	40.5	14.1	2.7
世帯年収	無	3808	40.8	41.1	14.8	3.3
	400万未満	2787	35.8	41.6	17.5	5.1
	400～600万未満	2401	39.7	40.2	16.4	3.7
	600～800万未満	1973	39.5	41.0	16.2	3.3
	800～1200万未満	2015	35.4	44.5	16.0	4.1
本人の最終学歴	1200万以上	824	29.5	43.4	19.4	7.6
	大学院卒	613	35.1	39.8	20.7	4.4
	大学学部卒	4157	36.5	42.3	17.0	4.2
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	37.6	43.7	15.4	3.4
	高校卒	2546	37.2	40.6	17.0	5.2
夫婦の最終学歴	中学校卒	217	37.3	33.6	17.1	12.0
	夫婦とも大卒以上	1879	37.5	41.1	17.6	3.7
	いずれかが大卒以上	2145	39.0	43.1	15.1	2.8
貸与型奨学金を利 用の有無	それ以外	2363	41.1	40.2	14.6	4.1
	有	1454	44.6	41.1	12.7	1.6
		2255	42.7	41.4	14.5	1.5

(2) 大学などの教育費用の負担のあり方について

Q2-2.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

- 1.大学などの学費（授業料、入学金など。以下同じ）は、すべての人に対し、  
無償化の制度の対象とすべきで、社会全体で支援する必要がある

SA

		n	と と も そ う 思 う	そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	21.0	35.2	34.0	9.8
性別	男性	5072	21.1	33.8	33.7	11.5
	女性	4928	20.9	36.7	34.4	8.0
性年代	男性 25-39歳	1658	21.9	33.8	32.9	11.4
	男性 40代	1508	23.1	32.6	32.2	12.1
	男性 50-64歳	1906	18.7	34.6	35.5	11.1
	女性 25-39歳	1583	24.6	40.1	28.6	6.8
	女性 40代	1451	23.1	35.4	33.2	8.3
	女性 50-64歳	1894	16.2	34.8	40.2	8.8
地域	北海道	411	22.4	34.5	33.6	9.5
	東北計	674	24.2	33.7	33.8	8.3
	北関東	529	25.1	30.8	33.3	10.8
	首都圏	3056	20.2	34.2	34.5	11.1
	北陸	394	22.6	32.7	36.0	8.6
	東山	369	20.6	36.6	32.8	10.0
	東海	1022	19.1	36.1	35.3	9.5
	近畿二府一県	1329	20.5	38.0	32.3	9.2
	その他近畿圏	285	25.6	32.6	31.2	10.5
	中国	547	18.3	37.7	35.1	9.0
	四国	283	19.1	34.6	37.8	8.5
九州・沖縄		1101	21.3	37.1	33.2	8.4
	既婚	6387	23.6	35.8	32.1	8.5
	未婚	2749	14.4	34.5	38.2	12.8
子供の人数	離婚・死別	864	22.9	33.0	34.7	9.4
	0人	4248	14.0	33.6	38.8	13.6
	1人	1835	25.3	37.1	30.0	7.6
	2人	2878	25.4	36.2	31.5	6.9
3人以上		1039	29.7	35.8	28.4	6.1
	高校～大学院に在 学中の子どもの有無	1944	28.9	36.6	28.3	6.1
世帯年収	無	3808	24.7	36.3	31.6	7.4
	400万未満	2787	20.3	34.2	35.4	10.0
	400～600万未満	2401	21.9	36.2	33.2	8.7
	600～800万未満	1973	22.8	36.6	31.7	9.0
	800～1200万未満	2015	20.9	34.9	34.5	9.7
	1200万以上	824	16.5	33.0	36.4	14.1
本人の最終学歴	大学院卒	613	16.0	31.8	38.3	13.9
	大学学部卒	4157	19.6	36.1	34.5	9.7
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	22.5	36.2	33.4	7.9
	高校卒	2546	22.6	34.2	33.1	10.1
	中学校卒	217	26.7	26.3	30.4	16.6
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	20.4	35.7	33.8	10.1
	いずれかが大卒以上	2145	22.4	36.0	33.3	8.2
	それ以外	2363	27.1	35.7	29.7	7.6
貸与型奨学金を利用の有無	有	1454	25.3	36.3	31.5	6.9
	無	2255	25.1	35.2	32.5	7.1

Q2-2.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

2.大学などの無償化のためであれば、消費税を1%上げても構わない（消費税による税収の換算について※）

（※）いまの大学などの無償化を、年収問わず全世帯対象とすると仮定すると、毎年約2兆5千億円の財源が必要となります。

これは、消費税による税収に換算すると、およそ1%分に当たると考えられます。

SA

		n	と ても そう 思う	そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	11.8	26.5	36.8	24.9
性別	男性	5072	13.3	28.0	31.7	26.9
	女性	4928	10.2	25.0	42.0	22.8
性年代	男性 25-39歳	1658	14.5	28.8	31.1	25.5
	男性 40代	1508	15.1	26.5	29.0	29.4
	男性 50-64歳	1906	11.0	28.4	34.5	26.2
	女性 25-39歳	1583	12.1	28.7	38.9	20.4
	女性 40代	1451	11.9	25.2	39.6	23.3
	女性 50-64歳	1894	7.5	21.6	46.4	24.4
地域	北海道	411	12.9	23.4	39.7	24.1
	東北計	674	13.9	24.3	38.1	23.6
	北関東	529	13.6	22.3	38.9	25.1
	首都圏	3056	11.0	27.2	35.1	26.7
	北陸	394	12.7	25.4	35.5	26.4
	東山	369	9.8	26.3	40.1	23.8
	東海	1022	9.6	25.0	39.8	25.6
	近畿二府一県	1329	12.7	26.6	36.9	23.8
	その他近畿圏	285	12.3	23.5	36.5	27.7
	中国	547	10.1	27.2	37.3	25.4
	四国	283	9.5	28.6	38.5	23.3
九州・沖縄		1101	14.3	30.7	34.2	20.8
未既婚	既婚	6387	13.5	28.1	36.5	21.8
	未婚	2749	7.7	23.5	37.1	31.7
	離別・死別	864	12.4	24.0	37.8	25.8
子供の人数	0人	4248	7.6	23.0	36.9	32.5
	1人	1835	14.6	28.8	34.9	21.7
	2人	2878	14.3	29.2	38.3	18.2
	3人以上	1039	17.2	29.4	35.4	18.0
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	17.3	28.5	36.1	18.1
	無	3808	13.7	29.4	37.0	19.9
世帯年収	400万未満	2787	9.0	24.7	38.1	28.1
	400～600万未満	2401	13.0	27.6	36.2	23.2
	600～800万未満	1973	13.5	27.3	36.5	22.7
	800～1200万未満	2015	12.9	27.3	37.4	22.4
	1200万以上	824	11.3	25.4	33.0	30.3
本人の最終学歴	大学院卒	613	11.9	26.8	31.6	29.7
	大学学部卒	4157	11.5	28.1	36.3	24.1
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	11.8	26.1	39.0	23.2
	高校卒	2546	12.4	24.5	37.0	26.1
	中学校卒	217	12.0	22.6	33.6	31.8
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	12.6	30.0	35.5	21.9
	いずれかが大卒以上	2145	13.1	27.7	38.0	21.2
	それ以外	2363	14.6	27.0	36.0	22.4
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	15.0	30.7	32.2	22.1
	無	2255	14.2	26.7	37.6	21.4

Q2-2.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

3.大学などの無償化は、家庭が学費をどれくらい負担できるかを考慮し、支払いがむずかしい世帯に限るべき

SA

		n	とても 思う	そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま った く そ う 思 わ な い
全体		10000	17.0	45.0	27.8	10.2
性別	男性	5072	16.1	44.2	27.5	12.2
	女性	4928	17.9	45.9	28.1	8.2
性年代	男性 25-39歳	1658	16.5	40.4	29.0	14.2
	男性 40代	1508	16.7	41.2	28.3	13.7
	男性 50-64歳	1906	15.4	49.7	25.6	9.3
	女性 25-39歳	1583	16.1	43.1	30.7	10.0
	女性 40代	1451	19.6	43.8	28.3	8.2
	女性 50-64歳	1894	18.1	49.7	25.7	6.6
地域	北海道	411	17.8	43.6	27.5	11.2
	東北計	674	20.5	45.1	24.6	9.8
	北関東	529	20.8	42.5	25.9	10.8
	首都圏	3056	16.9	43.6	28.5	11.0
	北陸	394	19.0	43.4	28.2	9.4
	東山	369	16.5	43.9	30.9	8.7
	東海	1022	15.3	47.8	26.8	10.1
	近畿二府一県	1329	15.7	45.6	27.7	11.0
	その他近畿圏	285	16.8	40.4	30.9	11.9
	中国	547	13.7	51.2	27.4	7.7
	四国	283	18.0	45.9	27.6	8.5
未既婚	九州・沖縄	1101	17.1	46.0	27.8	9.1
	既婚	6387	15.5	44.0	29.9	10.6
	未婚	2749	17.9	47.4	24.8	9.9
	離別・死別	864	25.1	45.1	21.5	8.2
子供の人数	0人	4248	17.7	47.0	25.1	10.2
	1人	1835	16.9	43.3	28.8	11.0
	2人	2878	15.4	44.7	30.7	9.1
	3人以上	1039	18.5	40.6	28.8	12.1
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	17.1	43.5	30.0	9.5
	無	3808	16.2	43.5	29.6	10.7
世帯年収	400万未満	2787	21.5	45.7	24.0	8.8
	400～600万未満	2401	18.2	45.5	27.6	8.7
	600～800万未満	1973	15.1	46.1	29.3	9.5
	800～1200万未満	2015	13.2	43.6	30.8	12.4
	1200万以上	824	12.5	41.7	29.9	15.9
本人の最終学歴	大学院卒	613	16.3	41.8	28.9	13.1
	大学学部卒	4157	15.6	44.7	28.9	10.8
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	17.5	46.7	27.0	8.8
	高校卒	2546	18.5	45.4	26.5	9.6
	中学校卒	217	21.7	35.0	27.6	15.7
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	14.0	41.1	31.8	13.0
	いずれかが大卒以上	2145	15.1	45.2	29.5	10.3
	それ以外	2363	17.2	45.1	28.7	9.1
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	20.0	44.8	26.0	9.2
	無	2255	17.4	45.5	28.7	8.4

Q2-2.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

4.大学などは、社会に出るための準備であるから、学費は家庭（保護者など）が負担することを原則とした制度とすべきSA

		n	とても そう 思う	そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま っ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	10.1	40.1	38.7	11.1
性別	男性	5072	11.3	41.1	35.5	12.0
	女性	4928	8.9	38.9	42.0	10.1
性年代	男性 25-39歳	1658	11.8	38.4	36.1	13.7
	男性 40代	1508	11.1	39.5	35.9	13.5
	男性 50-64歳	1906	10.9	44.8	34.8	9.5
	女性 25-39歳	1583	8.3	36.0	43.9	11.8
	女性 40代	1451	9.9	36.3	43.6	10.2
	女性 50-64歳	1894	8.7	43.3	39.3	8.7
地域	北海道	411	9.7	37.7	39.2	13.4
	東北計	674	8.2	40.8	37.8	13.2
	北関東	529	10.6	33.8	41.4	14.2
	首都圏	3056	11.0	40.8	36.4	11.7
	北陸	394	9.4	41.4	39.6	9.6
	東山	369	8.9	40.1	42.3	8.7
	東海	1022	9.5	40.2	39.3	11.0
	近畿二府一県	1329	9.6	39.4	40.6	10.5
	その他近畿圏	285	14.7	37.2	36.8	11.2
	中国	547	9.9	41.5	41.1	7.5
	四国	283	8.1	44.9	37.8	9.2
	九州・沖縄	1101	10.0	40.2	39.5	10.3
未既婚	既婚	6387	10.2	40.2	38.4	11.2
	未婚	2749	9.5	41.2	38.5	10.8
	離別・死別	864	11.2	35.5	41.6	11.7
子供の人数	0人	4248	10.5	41.6	37.5	10.4
	1人	1835	10.8	39.3	37.9	12.0
	2人	2878	9.7	39.8	40.0	10.5
	3人以上	1039	8.5	35.5	41.8	14.2
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	10.9	38.4	38.9	11.8
	無	3808	9.3	39.1	40.0	11.6
世帯年収	400万未満	2787	9.5	36.8	40.7	13.0
	400～600万未満	2401	9.7	39.4	40.1	10.7
	600～800万未満	1973	10.3	40.5	39.3	9.9
	800～1200万未満	2015	10.3	42.8	36.8	10.2
	1200万以上	824	12.6	45.1	31.4	10.8
本人の最終学歴	大学院卒	613	11.1	41.1	36.4	11.4
	大学学部卒	4157	10.7	43.5	35.9	9.9
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	8.4	39.0	41.4	11.2
	高校卒	2546	10.6	36.8	40.5	12.1
	中学校卒	217	10.1	20.7	48.4	20.7
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	11.4	44.7	33.8	10.1
	いずれかが大卒以上	2145	10.2	41.8	38.3	9.7
	それ以外	2363	9.3	35.1	42.2	13.3
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	11.3	38.0	39.3	11.4
	無	2255	10.0	39.2	39.7	11.1

Q2-2.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

5.大学などは義務教育ではないため、その学費は、家庭（保護者など）に頼るのではなく、  
 社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担するべき

SA

		n	とても そう 思う	そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま つ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	8.9	36.4	43.7	11.0
性別	男性	5072	10.5	37.3	40.2	12.0
	女性	4928	7.3	35.5	47.3	10.0
性年代	男性 25-39歳	1658	11.2	34.6	40.1	14.1
	男性 40代	1508	11.3	36.7	38.5	13.5
	男性 50-64歳	1906	9.2	40.2	41.6	9.0
	女性 25-39歳	1583	8.0	34.0	45.7	12.4
	女性 40代	1451	8.1	32.9	48.6	10.4
	女性 50-64歳	1894	6.1	38.8	47.6	7.6
地域	北海道	411	10.9	34.3	43.6	11.2
	東北計	674	9.5	34.6	43.9	12.0
	北関東	529	8.3	33.3	44.2	14.2
	首都圏	3056	8.8	35.5	43.4	12.3
	北陸	394	8.4	38.1	44.4	9.1
	東山	369	10.6	35.5	45.3	8.7
	東海	1022	8.2	36.5	45.0	10.3
	近畿二府一県	1329	8.4	38.2	43.2	10.2
	その他近畿圏	285	9.5	37.2	42.5	10.9
	中国	547	8.4	40.2	43.3	8.0
	四国	283	8.5	41.0	43.1	7.4
未既婚	九州・沖縄	1101	9.4	36.8	43.2	10.5
	既婚	6387	8.4	35.0	45.3	11.3
未既婚	未婚	2749	9.8	40.2	39.9	10.1
	離別・死別	864	9.7	34.8	44.0	11.5
	子供の人数	0人	4248	10.1	40.3	39.5
1人		1835	9.2	33.0	44.1	13.6
2人		2878	7.4	34.4	48.1	10.1
3人以上		1039	7.5	32.5	47.5	12.4
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	8.5	33.0	47.6	11.0
	無	3808	7.7	34.0	46.3	12.0
世帯年収	400万未満	2787	9.3	37.3	41.4	12.1
	400～600万未満	2401	8.5	36.7	44.6	10.2
	600～800万未満	1973	8.1	35.0	46.6	10.3
	800～1200万未満	2015	9.2	36.3	43.9	10.6
	1200万以上	824	9.7	36.5	41.3	12.5
本人の最終学歴	大学院卒	613	13.9	36.4	38.8	10.9
	大学学部卒	4157	9.0	37.2	42.3	11.4
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	7.2	35.0	47.2	10.6
	高校卒	2546	9.2	37.2	43.6	10.1
	中学校卒	217	8.3	29.0	44.2	18.4
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	9.7	34.9	43.2	12.2
	いずれかが大卒以上	2145	7.2	36.4	45.8	10.6
	それ以外	2363	8.4	33.9	46.5	11.3
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	14.3	40.2	36.8	8.7
	無	2255	7.7	34.5	46.5	11.3

Q2-2.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

6.大学などの学費について、返済の経済的負担が、

将来の収入に応じて変わる「出世払い」のような仕組みがあれば、本人が負担しても良い

SA

		n	とても そう 思う	そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま っ た く そ う 思 わ な い	
全体		10000	9.1	48.4	32.8	9.8	
性別	男性	5072	10.8	48.4	29.7	11.2	
	女性	4928	7.3	48.4	36.0	8.3	
性年代	男性 25-39歳	1658	11.0	46.3	28.8	14.0	
	男性 40代	1508	11.3	46.5	30.0	12.2	
	男性 50-64歳	1906	10.2	51.8	30.2	7.9	
	女性 25-39歳	1583	7.8	45.9	35.4	10.9	
	女性 40代	1451	8.7	46.9	35.6	8.9	
	女性 50-64歳	1894	5.8	51.7	36.9	5.6	
地域	北海道	411	10.0	44.5	35.8	9.7	
	東北計	674	9.6	47.2	33.5	9.6	
	北関東	529	9.1	45.0	33.8	12.1	
	首都圏	3056	9.5	47.6	32.0	10.9	
	北陸	394	10.4	50.8	29.9	8.9	
	東山	369	8.4	50.1	34.7	6.8	
	東海	1022	7.7	50.3	32.6	9.4	
	近畿二府一県	1329	8.6	48.9	33.8	8.7	
	その他近畿圏	285	7.7	48.4	33.3	10.5	
	中国	547	8.2	49.4	34.0	8.4	
未既婚	既婚	6387	8.9	47.5	34.0	9.6	
	未婚	2749	9.1	51.1	29.9	9.8	
子供の人数	離別・死別	864	10.2	45.9	33.3	10.5	
	0人	4248	9.6	50.3	30.0	10.0	
	1人	1835	10.2	46.4	32.8	10.6	
	2人	2878	7.8	48.1	35.1	9.0	
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	3人以上	1039	8.3	44.9	37.6	9.2	
	有	1944	9.3	45.8	36.1	8.7	
世帯年収	無	3808	8.3	47.6	34.2	10.0	
	400万未満	2787	9.3	48.5	32.3	9.9	
	400～600万未満	2401	8.9	47.5	34.8	8.8	
	600～800万未満	1973	8.8	49.9	31.8	9.5	
	800～1200万未満	2015	8.6	48.3	33.3	9.8	
本人の最終学歴	1200万以上	824	10.4	47.5	29.6	12.5	
	大学院卒	613	12.6	45.2	29.5	12.7	
	大学学部卒	4157	9.5	50.0	31.1	9.5	
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	7.4	48.4	35.2	9.0	
	高校卒	2546	9.3	47.6	33.9	9.3	
夫婦の最終学歴	中学校卒	217	7.8	37.3	35.0	19.8	
	夫婦とも大卒以上	1879	10.2	47.2	32.1	10.5	
	いずれかが大卒以上	2145	8.2	48.5	34.1	9.2	
貸与型奨学金を利 用の有無	それ以外	2363	8.5	47.0	35.3	9.3	
	有	1454	13.1	51.0	27.6	8.2	
		無	2255	8.8	47.9	35.0	8.3

Q2-2.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

7.大学院については、家庭（保護者など）に頼るのではなく、

社会に出てから自ら将来返済するなどして、原則は本人が負担すべき

SA

		n	とても そう 思う	そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま つ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	15.7	47.7	29.4	7.3
性別	男性	5072	17.1	45.7	28.6	8.6
	女性	4928	14.3	49.7	30.2	5.9
性年代	男性 25-39歳	1658	16.0	44.3	29.0	10.8
	男性 40代	1508	17.4	43.0	30.1	9.4
	男性 50-64歳	1906	17.7	49.1	27.0	6.1
	女性 25-39歳	1583	12.9	46.0	33.3	7.8
	女性 40代	1451	15.4	48.4	30.1	6.1
	女性 50-64歳	1894	14.7	53.7	27.6	4.0
地域	北海道	411	17.0	46.2	29.2	7.5
	東北計	674	13.8	48.2	30.0	8.0
	北関東	529	15.7	46.9	30.1	7.4
	首都圏	3056	16.5	45.7	29.7	8.1
	北陸	394	17.0	47.5	28.9	6.6
	東山	369	17.9	48.8	27.9	5.4
	東海	1022	14.2	50.3	28.5	7.0
	近畿二府一県	1329	15.2	48.8	28.5	7.5
	その他近畿圏	285	13.7	52.3	28.1	6.0
	中国	547	15.0	47.5	31.4	6.0
未既婚	既婚	6387	15.7	47.2	30.1	7.0
	未婚	2749	15.9	48.1	28.0	8.0
子供の人数	離別・死別	864	15.4	49.3	28.0	7.3
	0人	4248	16.1	48.4	27.6	7.9
	1人	1835	15.9	44.3	31.6	8.3
	2人	2878	15.1	49.1	29.7	6.0
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	3人以上	1039	15.4	46.5	31.8	6.4
	有	1944	16.0	47.3	30.6	6.0
世帯年収	無	3808	15.1	47.0	30.7	7.2
	400万未満	2787	15.1	48.2	28.6	8.2
	400～600万未満	2401	15.9	49.1	28.7	6.4
	600～800万未満	1973	16.3	46.5	31.0	6.2
	800～1200万未満	2015	15.5	47.4	30.0	7.1
本人の最終学歴	1200万以上	824	16.7	45.3	28.4	9.6
	大学院卒	613	17.8	42.3	31.6	8.3
	大学学部卒	4157	15.9	47.1	29.9	7.2
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	14.3	49.9	29.1	6.6
	高校卒	2546	16.6	48.6	27.8	7.0
夫婦の最終学歴	中学校卒	217	12.0	37.3	34.1	16.6
	夫婦とも大卒以上	1879	16.1	46.0	29.7	8.2
	いずれかが大卒以上	2145	14.6	47.8	31.3	6.2
貸与型奨学金を利 用の有無	それ以外	2363	16.3	47.7	29.3	6.6
	有	1454	21.3	50.6	23.9	4.3
		2255	16.8	47.8	29.7	5.7

(3) 大学などの教育費用の財政支援のあり方について  
 Q2-3.教育費用の負担軽減のために推し進めるべき教育施策として、  
 次のうち、あなたの考えに近いものを以下の7つの項目から選んでください(複数選択可)。

MA

		n	祖 父 母 を 促 進 す る	親 や 親 か ら 本 人 ( 学 生 ) へ の 贈 与 な ど の 支 援	借 り 多 く の 人 が 借 り ら れ る よ う に す る	日 本 学 生 支 援 機 構 の 貸 与 型 奨 学 金 に つ い て、 よ	選 額 を 少 な く し た り ( 減 額 返 還 ) す る 支 援 を 充 実 す る	日 本 学 生 支 援 機 構 の 貸 与 型 奨 学 金 の 返 還 支 援 制 度 に つ い て、 一 定 期 間 返 還 を 待 つ た り ( 猶 予 ) 、 一 定 期 間 返 還 を し な く し た り ( 減 額 返 還 ) す る 支 援 を 充 実 す る	大 学 な ど の 無 償 化 ( 高 等 教 育 の 修 学 支 援 新 制 度 ) に つ い て、 よ り 多 く の 人 が 利 用 で き る よ う に す る	授 業 料 に 関 す る 所 得 連 動 型 の 「 出 世 払 い 」 支 援 制 度 ( H E C S ※ ) の 導 入	寄 付 な ど 、 民 間 資 金 の 投 入 に よ る 大 学 生 等 の 世 帯 へ の 家 計 支 援	そ の 他
全体		10000	33.3	33.4	36.3	38.3	23.2	29.7	4.4			
性別	男性	5072	37.0	32.3	34.2	36.2	23.3	32.7	4.7			
	女性	4928	29.5	34.5	38.5	40.5	23.2	26.6	4.0			
性年代	男性 25-39歳	1658	37.8	30.9	35.0	38.8	22.0	35.2	4.7			
	男性 40代	1508	37.0	31.3	32.6	38.5	23.9	33.9	4.6			
	男性 50-64歳	1906	36.2	34.3	34.7	32.2	23.9	29.7	4.7			
	女性 25-39歳	1583	29.2	34.8	39.2	47.3	21.3	28.8	3.0			
	女性 40代	1451	30.2	33.9	38.0	42.3	24.1	27.1	4.1			
	女性 50-64歳	1894	29.2	34.7	38.2	33.5	24.0	24.3	4.8			
地域	北海道	411	28.7	33.3	39.4	39.4	21.7	28.0	3.4			
	東北計	674	28.5	33.1	39.3	40.2	25.1	31.3	2.7			
	北関東	529	32.1	31.9	34.8	41.4	21.9	31.4	4.0			
	首都圏	3056	34.0	32.8	35.0	37.9	23.6	32.2	4.9			
	北陸	394	31.7	33.8	37.1	36.5	24.6	25.9	3.6			
	東山	369	33.6	31.4	33.3	33.9	20.9	27.4	4.9			
	東海	1022	34.8	33.3	36.8	37.9	21.5	27.2	4.9			
	近畿二府一県	1329	35.6	32.4	37.0	39.4	24.3	28.1	3.8			
	その他近畿圏	285	33.0	34.7	35.8	38.2	18.9	31.2	3.9			
	中国	547	35.5	35.1	38.6	37.1	21.6	25.6	4.4			
	四国	283	32.5	29.3	32.9	38.2	20.8	23.7	4.6			
未既婚	九州・沖縄	1101	32.0	37.6	37.0	38.7	25.3	31.2	4.8			
	既婚	6387	33.6	33.5	35.7	41.1	22.7	28.7	4.3			
	未婚	2749	33.4	33.5	37.8	31.6	24.1	32.1	4.6			
	離別・死別	864	30.3	32.5	36.1	39.5	24.2	29.4	3.9			
子供の人数	0人	4248	33.4	32.8	37.2	31.1	24.6	30.3	4.6			
	1人	1835	34.9	31.4	35.5	43.9	22.4	28.9	3.9			
	2人	2878	33.2	34.1	35.8	42.8	21.9	29.5	4.4			
	3人以上	1039	30.2	37.2	35.4	45.9	22.7	29.1	4.1			
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	31.3	33.7	34.4	44.6	21.7	29.8	4.1			
	無	3808	34.2	33.9	36.3	43.2	22.5	28.9	4.2			
世帯年収	400万未満	2787	30.0	31.8	34.7	35.8	21.7	30.4	4.1			
	400～600万未満	2401	31.6	34.6	38.4	40.3	22.9	29.8	3.8			
	600～800万未満	1973	33.8	34.4	37.0	41.6	23.6	28.7	4.1			
	800～1200万未満	2015	35.8	33.9	35.6	38.3	24.7	28.5	4.4			
	1200万以上	824	42.2	31.4	35.8	33.6	24.8	32.3	7.3			
本人の最終学歴	大学院卒	613	41.3	35.9	38.8	40.1	29.5	36.2	5.5			
	大学学部卒	4157	36.5	33.3	38.2	38.1	23.8	31.0	5.1			
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	30.9	33.8	36.9	40.0	22.5	26.8	3.9			
	高校卒	2546	28.9	32.6	32.7	36.7	21.2	28.2	3.3			
	中学校卒	217	27.2	31.3	29.0	37.3	25.3	37.3	3.2			
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	39.1	32.0	35.9	39.8	23.6	31.3	5.0			
	いずれかが大卒以上	2145	35.1	35.0	37.4	40.6	23.1	28.1	5.0			
	それ以外	2363	28.0	33.3	33.9	42.5	21.6	27.2	3.1			
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	32.8	40.5	47.7	43.8	27.4	31.6	4.9			
	無	2255	34.8	34.3	43.1	45.5	28.0	31.1	5.5			

Q2-4.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

1.大学の無償化について、一定の所得制限を設けるのであれば、対象について中間所得層なども対象とすべきである  
(例えば、4人[両親、子2人、片働きの場合]の場合の世帯年収の目安を、  
現在の上限約380万円から、約600万円～700万円程度に拡充すべき)

SA

		n	とても そう 思う	そ う 思 う	ど ち ら と も い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない
全体		10000	14.9	33.6	32.7	10.8	8.0
性別	男性	5072	15.3	33.0	30.5	11.2	10.0
	女性	4928	14.4	34.2	35.0	10.5	5.9
性年代	男性 25-39歳	1658	18.7	32.9	27.9	11.4	9.2
	男性 40代	1508	16.4	30.2	29.4	11.2	12.7
	男性 50-64歳	1906	11.5	35.4	33.6	11.0	8.5
	女性 25-39歳	1583	16.4	39.2	28.9	9.8	5.7
	女性 40代	1451	16.1	33.6	34.4	9.9	6.1
	女性 50-64歳	1894	11.5	30.6	40.6	11.4	5.9
地域	北海道	411	15.6	29.0	35.3	12.7	7.5
	東北計	674	17.4	34.1	32.5	9.5	6.5
	北関東	529	18.3	29.9	32.3	10.8	8.7
	首都圏	3056	14.2	34.2	31.4	10.3	9.8
	北陸	394	15.0	31.2	35.3	11.9	6.6
	東山	369	18.4	29.5	37.9	9.2	4.9
	東海	1022	13.1	35.3	32.2	11.4	8.0
	近畿二府一県	1329	15.0	33.8	31.4	12.3	7.6
	その他近畿圏	285	15.8	34.4	33.7	7.7	8.4
	中国	547	13.2	29.6	39.7	11.0	6.6
	四国	283	11.3	33.2	38.2	9.5	7.8
九州・沖縄	1101	15.1	37.7	29.9	11.4	6.0	
未既婚	既婚	6387	17.4	34.5	30.6	10.4	7.1
	未婚	2749	9.5	32.1	36.4	12.1	9.8
	離別・死別	864	13.4	32.2	36.1	10.0	8.3
子供の人数	0人	4248	9.9	31.5	36.6	12.4	9.6
	1人	1835	17.2	35.6	30.0	10.1	7.0
	2人	2878	17.6	35.2	31.0	9.5	6.6
	3人以上	1039	23.4	34.2	26.5	9.3	6.6
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	19.7	35.0	29.1	9.4	6.9
	無	3808	18.0	35.3	30.3	9.8	6.6
世帯年収	400万未満	2787	10.3	30.8	37.5	12.1	9.4
	400～600万未満	2401	17.2	35.3	32.2	9.0	6.4
	600～800万未満	1973	18.7	37.6	29.1	8.8	5.8
	800～1200万未満	2015	14.9	33.0	31.8	11.9	8.4
	1200万以上	824	14.6	30.2	29.0	14.6	11.7
本人の最終学歴	大学院卒	613	16.2	35.2	25.3	13.9	9.5
	大学学部卒	4157	15.3	35.3	29.9	11.3	8.1
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	15.3	33.3	34.8	10.4	6.2
	高校卒	2546	13.4	31.5	36.4	10.1	8.6
	中学校卒	217	15.2	24.9	39.2	6.9	13.8
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	17.3	35.4	27.1	11.3	8.8
	いずれかが大卒以上	2145	16.9	35.0	30.6	10.9	6.6
	それ以外	2363	17.9	33.2	33.5	9.2	6.2
貸与型奨学金を利用 の有無	有	1454	20.2	38.5	26.1	9.6	5.6
	無	2255	18.6	37.5	28.2	9.6	6.0

Q2-4.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

2.大学の無償化について、子どもが多くなる家庭（例えば3人以上など）は年収に関わらず対象とすべきである

SA

		n	とても 思う	そう 思う	どちら とも いえ ない	あまり そう 思わ ない	ま った く そ う 思 わ ない
全体		10000	15.4	27.6	32.7	14.5	9.9
性別	男性	5072	17.3	28.9	30.1	12.8	10.9
	女性	4928	13.4	26.2	35.5	16.2	8.7
性年代	男性 25-39歳	1658	22.1	28.1	27.6	11.9	10.4
	男性 40代	1508	18.7	27.1	28.6	13.3	12.3
	男性 50-64歳	1906	12.1	31.0	33.4	13.2	10.3
	女性 25-39歳	1583	18.4	30.6	30.4	13.8	6.8
	女性 40代	1451	13.9	24.8	34.9	16.3	10.1
	女性 50-64歳	1894	8.7	23.5	40.2	18.2	9.3
地域	北海道	411	17.0	26.3	32.1	16.1	8.5
	東北計	674	16.3	28.0	33.7	12.5	9.5
	北関東	529	16.8	23.6	35.0	14.9	9.6
	首都圏	3056	15.1	27.7	31.5	14.1	11.5
	北陸	394	14.7	25.9	34.0	16.8	8.6
	東山	369	14.4	28.7	35.2	14.9	6.8
	東海	1022	15.0	26.3	32.3	15.5	11.0
	近畿二府一県	1329	15.8	28.4	32.6	14.1	9.2
	その他近畿圏	285	18.6	30.5	28.1	13.3	9.5
	中国	547	12.8	25.8	34.6	17.0	9.9
	四国	283	13.1	30.4	33.2	14.1	9.2
	九州・沖縄	1101	15.6	28.8	34.2	13.7	7.6
未既婚	既婚	6387	17.7	28.8	31.0	13.6	8.8
	未婚	2749	10.8	24.6	36.2	16.6	11.7
	離別・死別	864	12.4	27.4	34.4	14.4	11.5
子供の人数	0人	4248	10.9	24.5	35.4	16.9	12.3
	1人	1835	15.8	29.0	31.2	14.1	9.9
	2人	2878	15.3	29.8	33.4	13.5	8.0
	3人以上	1039	33.4	31.1	22.7	8.1	4.7
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	19.3	30.5	29.7	12.7	7.8
	無	3808	18.4	29.5	31.3	12.7	8.1
世帯年収	400万未満	2787	11.4	26.9	35.5	15.9	10.3
	400～600万未満	2401	15.6	26.6	35.3	13.9	8.6
	600～800万未満	1973	17.8	28.2	30.5	14.4	9.1
	800～1200万未満	2015	18.0	28.6	29.6	13.1	10.7
	1200万以上	824	15.8	28.4	28.9	15.2	11.8
本人の最終学歴	大学院卒	613	17.8	25.6	27.4	17.0	12.2
	大学学部卒	4157	16.6	28.7	30.6	14.3	9.8
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	14.7	28.2	33.8	14.9	8.4
	高校卒	2546	13.5	25.8	36.2	13.9	10.6
	中学校卒	217	14.3	24.0	35.5	14.3	12.0
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	19.1	29.0	28.2	13.7	10.1
	いずれかが大卒以上	2145	17.6	28.3	30.3	15.1	8.6
	それ以外	2363	16.8	29.2	33.9	12.2	8.0
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	23.4	29.5	27.2	12.9	7.1
	無	2255	17.8	28.5	31.2	14.1	8.3

Q2-4.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

3.大学の無償化が、自分の世帯も対象となるのであれば、安心して子どもを育てられる（育てられた）だろうと思う

SA

		n	とても そう 思う	そう 思う	どちら とも い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない
全体		10000	27.8	34.2	25.1	6.8	6.1
性別	男性	5072	26.0	34.5	25.5	6.8	7.1
	女性	4928	29.7	33.8	24.7	6.8	5.0
性年代	男性 25-39歳	1658	33.2	32.7	22.6	5.1	6.4
	男性 40代	1508	27.9	31.4	25.7	7.0	8.0
	男性 50-64歳	1906	18.2	38.5	28.0	8.1	7.1
	女性 25-39歳	1583	39.5	32.4	19.3	5.4	3.4
	女性 40代	1451	31.4	33.1	23.7	6.3	5.4
	女性 50-64歳	1894	20.1	35.5	30.0	8.4	5.9
地域	北海道	411	30.9	30.7	25.3	6.8	6.3
	東北計	674	31.3	37.2	19.1	6.1	6.2
	北関東	529	31.6	32.1	25.1	5.3	5.9
	首都圏	3056	26.7	32.8	27.0	6.7	6.8
	北陸	394	28.2	35.0	25.1	6.9	4.8
	東山	369	29.3	29.3	29.5	6.5	5.4
	東海	1022	24.1	34.7	25.9	7.9	7.3
	近畿二府一県	1329	27.8	35.4	23.9	7.3	5.6
	その他近畿圏	285	30.9	37.2	18.9	7.4	5.6
	中国	547	24.1	38.2	26.1	6.8	4.8
	四国	283	23.7	36.0	28.3	6.0	6.0
	九州・沖縄	1101	30.8	34.5	23.3	6.8	4.6
未既婚	既婚	6387	32.5	34.4	22.4	5.8	4.8
	未婚	2749	17.1	33.6	31.5	9.0	8.8
	離別・死別	864	27.3	33.8	25.2	7.2	6.5
子供の人数	0人	4248	17.7	32.3	31.9	9.1	9.0
	1人	1835	35.6	34.0	20.6	5.9	4.0
	2人	2878	32.7	36.8	21.6	5.0	4.0
	3人以上	1039	42.1	34.9	15.2	4.4	3.4
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	34.3	37.6	19.5	4.9	3.7
	無	3808	35.8	34.5	20.4	5.3	3.9
世帯年収	400万未満	2787	23.4	33.4	28.1	7.9	7.3
	400～600万未満	2401	30.9	35.1	22.7	6.0	5.2
	600～800万未満	1973	32.0	35.0	23.2	5.6	4.2
	800～1200万未満	2015	27.9	34.4	25.0	7.0	5.7
	1200万以上	824	23.7	31.4	27.3	8.0	9.6
本人の最終学歴	大学院卒	613	27.7	34.4	22.7	7.7	7.5
	大学学部卒	4157	27.7	34.9	25.3	6.6	5.5
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	29.6	34.8	24.4	6.5	4.6
	高校卒	2546	26.4	32.7	26.1	7.3	7.5
	中学校卒	217	26.3	28.6	26.3	6.9	12.0
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	32.0	34.2	22.4	5.6	5.8
	いずれかが大卒以上	2145	31.9	35.2	22.6	6.2	4.1
	それ以外	2363	33.4	33.9	22.2	5.7	4.7
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	36.7	36.3	18.8	5.4	2.8
	無	2255	33.0	37.3	20.2	5.5	4.0

Q2-4.以下の考え方について、最も近い考え方をそれぞれ1つお答えください。

4.大学などを卒業したあと、若いうちは、年収も高くなく、経済的に余裕がないため、結婚や子育てを後押しし、少子化対策とするためにも、奨学金の返済の負担軽減をさらに手厚くするなどの支援とすべきである

SA

		n	とても そう 思う	そう 思う	どちら とも いえ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
全体		10000	22.8	40.4	26.2	5.9	4.8
性別	男性	5072	22.6	39.0	26.6	6.1	5.8
	女性	4928	23.1	41.8	25.7	5.7	3.8
性年代	男性 25-39歳	1658	28.1	35.7	25.3	5.5	5.4
	男性 40代	1508	23.5	38.1	25.1	6.3	7.0
	男性 50-64歳	1906	17.0	42.5	29.0	6.4	5.1
	女性 25-39歳	1583	28.8	43.1	20.5	4.6	3.0
	女性 40代	1451	23.9	40.1	26.6	5.3	4.1
	女性 50-64歳	1894	17.6	41.9	29.5	6.9	4.2
地域	北海道	411	27.7	39.4	24.8	2.9	5.1
	東北計	674	25.5	39.3	26.0	4.5	4.7
	北関東	529	28.2	36.3	25.9	4.5	5.1
	首都圏	3056	21.5	40.6	26.1	6.1	5.7
	北陸	394	23.6	38.8	28.2	5.8	3.6
	東山	369	22.2	41.2	26.0	6.5	4.1
	東海	1022	19.7	40.5	28.7	5.8	5.4
	近畿二府一県	1329	21.8	41.6	26.0	6.6	4.0
	その他近畿圏	285	28.4	39.3	20.0	7.7	4.6
	中国	547	21.2	40.6	28.0	6.0	4.2
	四国	283	18.7	42.0	27.2	7.4	4.6
	九州・沖縄	1101	24.8	40.9	25.0	6.0	3.4
未既婚	既婚	6387	25.2	41.5	23.7	5.5	4.1
	未婚	2749	17.2	37.6	31.9	6.9	6.4
	離別・死別	864	22.7	41.0	26.6	5.0	4.7
子供の人数	0人	4248	16.5	37.4	31.8	7.5	6.8
	1人	1835	26.0	41.5	23.6	5.4	3.5
	2人	2878	25.4	43.9	22.7	4.6	3.3
	3人以上	1039	35.7	40.8	17.3	3.5	2.7
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	27.6	44.1	20.8	4.5	2.9
	無	3808	27.4	41.8	22.6	4.8	3.4
世帯年収	400万未満	2787	20.7	38.2	29.9	5.9	5.3
	400～600万未満	2401	24.5	41.4	24.4	5.4	4.3
	600～800万未満	1973	25.4	41.4	25.0	4.8	3.5
	800～1200万未満	2015	22.5	41.5	24.8	6.5	4.7
	1200万以上	824	19.3	39.6	25.1	8.4	7.6
本人の最終学歴	大学院卒	613	23.5	40.0	23.2	8.8	4.6
	大学学部卒	4157	22.5	42.6	24.7	5.9	4.4
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	23.7	40.9	26.5	5.1	3.9
	高校卒	2546	22.2	37.4	28.7	5.9	5.9
	中学校卒	217	24.0	28.6	30.9	6.5	10.1
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	25.2	41.0	23.0	6.1	4.7
	いずれかが大卒以上	2145	24.0	43.8	22.5	6.0	3.7
	それ以外	2363	26.4	39.7	25.3	4.7	4.0
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	32.5	42.6	18.0	5.2	1.9
	無	2255	28.1	43.7	20.9	4.6	2.7

3. 最後に、今後の政策立案のため、属性を把握する観点から、あなたとあなたのご家族についておたずねします。  
 “あなたご自身”についてお聞きします。

Q3-1.あなた自身が最後に卒業した学校は次のどれに当てはまりますか。

SA

		n	大学院卒	大学学部卒	短大卒・専門・学校卒	高校卒	中学校卒
全体		10000	6.1	41.6	24.7	25.5	2.2
性別	男性	5072	8.9	51.4	14.3	23.1	2.3
	女性	4928	3.3	31.5	35.4	27.9	2.0
性年代	男性 25-39歳	1658	11.8	54.8	13.2	18.2	2.1
	男性 40代	1508	8.6	48.4	17.0	23.5	2.5
	男性 50-64歳	1906	6.7	50.7	13.0	27.2	2.5
	女性 25-39歳	1583	4.2	44.5	28.8	20.7	1.9
	女性 40代	1451	3.1	30.0	38.1	25.8	3.0
	女性 50-64歳	1894	2.6	21.8	38.8	35.4	1.3
地域	北海道	411	3.9	31.1	27.7	34.1	3.2
	東北計	674	4.7	33.1	22.1	38.0	2.1
	北関東	529	5.3	35.2	27.0	29.3	3.2
	首都圏	3056	7.1	49.1	23.6	18.5	1.8
	北陸	394	5.1	35.3	26.9	30.7	2.0
	東山	369	6.5	39.8	23.8	28.7	1.1
	東海	1022	6.8	42.6	20.5	27.8	2.3
	近畿二府一県	1329	7.9	40.2	25.0	24.7	2.3
	その他近畿圏	285	6.3	37.5	29.5	23.5	3.2
	中国	547	5.5	39.7	27.6	24.7	2.6
	四国	283	5.7	36.0	26.5	30.7	1.1
	九州・沖縄	1101	3.5	39.8	26.9	27.4	2.5
未既婚	既婚	6387	6.3	42.5	25.4	24.3	1.5
	未婚	2749	6.6	43.4	22.3	24.8	2.9
	離別・死別	864	3.4	28.8	26.9	36.1	4.9
子供の人数	0人	4248	6.8	43.8	22.9	23.8	2.6
	1人	1835	6.8	42.1	25.4	23.7	2.0
	2人	2878	5.2	39.5	26.0	27.8	1.4
	3人以上	1039	4.7	37.1	26.9	28.7	2.7
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	1944	4.5	37.8	26.2	29.8	1.7
	無	3808	6.3	41.0	25.9	25.1	1.9
世帯年収	400万未満	2787	3.0	30.6	27.4	35.3	3.6
	400～600万未満	2401	3.9	38.5	28.1	27.4	2.2
	600～800万未満	1973	6.1	45.1	23.9	23.5	1.5
	800～1200万未満	2015	9.5	51.0	20.6	17.8	1.1
	1200万以上	824	14.9	56.3	17.4	10.0	1.5
本人の最終学歴	大学院卒	613	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学学部卒	4157	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	高校卒	2546	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	中学校卒	217	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	14.9	85.1	0.0	0.0	0.0
	いずれかが大卒以上	2145	5.7	52.1	28.4	13.4	0.5
	それ以外	2363	0.0	0.0	42.8	53.5	3.6
貸与型奨学金を利用の有無	有	1454	16.2	58.2	16.6	8.6	0.4
	無	2255	6.4	45.0	24.5	22.9	1.2

Q3-2.あなたは現在、何か仕事をしていますか。

SA

		n	仕事を している	現在探 している が、	仕事は 探して いない が、現	その 他
全体		10000	82.2	4.2	12.6	0.9
性別	男性	5072	91.3	2.6	5.8	0.3
	女性	4928	72.9	5.8	19.7	1.6
性年代	男性 25-39歳	1658	93.1	3.6	3.2	0.1
	男性 40代	1508	93.4	1.7	4.8	0.1
	男性 50-64歳	1906	88.1	2.5	8.8	0.6
	女性 25-39歳	1583	75.9	6.1	16.4	1.5
	女性 40代	1451	75.3	6.1	17.2	1.4
	女性 50-64歳	1894	68.6	5.3	24.4	1.7
地域	北海道	411	81.8	4.6	12.9	0.7
	東北計	674	84.0	4.2	10.8	1.0
	北関東	529	79.8	3.4	15.9	0.9
	首都圏	3056	82.2	4.8	11.9	1.1
	北陸	394	78.9	4.8	14.2	2.0
	東山	369	83.7	2.2	14.1	0.0
	東海	1022	82.4	3.7	13.0	0.9
	近畿二府一県	1329	81.6	4.3	13.3	0.8
	その他近畿圏	285	80.7	3.9	13.3	2.1
	中国	547	84.3	3.8	11.7	0.2
	四国	283	85.9	1.4	11.7	1.1
	九州・沖縄	1101	82.6	4.5	12.3	0.7
未既婚	既婚	6387	81.4	3.4	14.3	1.0
	未婚	2749	83.5	6.1	9.5	0.8
	離別・死別	864	84.5	4.2	10.3	1.0
子供の人数	0人	4248	82.4	5.3	11.5	0.7
	1人	1835	79.5	3.8	15.4	1.3
	2人	2878	82.8	3.1	13.1	1.0
	3人以上	1039	84.8	3.3	11.0	1.0
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	85.2	3.5	10.5	0.7
	無	3808	80.5	3.3	15.0	1.3
世帯年収	400万未満	2787	72.6	7.2	18.9	1.3
	400～600万未満	2401	82.9	3.9	12.1	1.0
	600～800万未満	1973	86.0	3.2	10.1	0.7
	800～1200万未満	2015	88.6	2.0	8.7	0.7
	1200万以上	824	88.3	2.3	8.7	0.6
本人の最終学歴	大学院卒	613	89.9	2.3	7.2	0.7
	大学学部卒	4157	86.1	3.4	9.6	0.8
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	78.1	5.4	15.4	1.1
	高校卒	2546	79.0	4.8	15.2	0.9
	中学校卒	217	70.5	5.1	22.6	1.8
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	84.1	3.2	11.8	0.9
	いずれかが大卒以上	2145	81.6	3.2	14.5	0.7
	それ以外	2363	79.1	3.6	16.1	1.3
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	86.8	5.2	7.3	0.7
	無	2255	83.6	3.5	11.5	1.4

Q3-3.あなたの現在の職種を教えてください。

SA

		n	経営者・役員	会社員（正社員）	会社員（契約社員）	会社員（派遣社員）	パート・アルバイト	公務員（教職員除く）
全体		8224	3.0	50.8	4.6	2.8	16.8	5.8
性別	男性	4630	4.5	62.7	3.8	1.5	3.8	8.0
	女性	3594	1.1	35.5	5.6	4.6	33.7	3.1
性年代	男性 25-39歳	1543	1.6	66.2	1.9	2.0	3.8	10.4
	男性 40代	1408	3.8	68.3	2.0	1.2	3.0	7.0
	男性 50-64歳	1679	7.7	54.7	7.1	1.3	4.4	6.6
	女性 25-39歳	1202	0.7	46.8	5.7	4.5	23.0	4.5
	女性 40代	1093	1.3	34.7	4.3	5.0	37.1	2.2
	女性 50-64歳	1299	1.3	25.7	6.7	4.3	40.6	2.5
地域	北海道	336	4.8	42.6	4.8	3.0	22.3	7.7
	東北計	566	4.1	45.9	6.5	1.8	15.9	7.4
	北関東	422	2.1	46.2	4.5	3.8	19.7	6.2
	首都圏	2511	2.9	56.2	4.0	3.3	14.5	5.1
	北陸	311	2.9	55.9	4.5	2.9	12.9	4.8
	東山	309	4.2	48.9	2.6	2.6	16.5	5.8
	東海	842	3.2	54.6	3.6	3.2	17.1	4.4
	近畿二府一県	1084	2.8	51.1	5.1	2.1	19.5	4.6
	その他近畿圏	230	3.5	46.5	5.2	4.3	18.3	3.5
	中国	461	3.5	44.5	4.6	2.4	18.2	9.8
	四国	243	2.1	46.9	5.8	2.5	16.9	7.8
未既婚	九州・沖縄	909	2.0	44.3	5.7	2.3	17.5	7.2
	既婚	5198	3.6	50.5	3.7	1.7	18.4	6.6
	未婚	2296	1.5	53.7	5.8	4.7	12.4	4.7
子供の人数	離別・死別	730	3.4	43.6	7.1	5.5	19.7	3.7
	0人	3502	1.7	52.8	5.6	4.6	13.2	5.0
	1人	1458	4.8	54.8	3.4	1.5	15.4	5.9
	2人	2383	2.9	48.3	4.5	1.6	21.8	6.5
高校～大学院に在学中の子どもの有無	3人以上	881	5.7	43.0	3.0	1.4	20.1	7.4
	有	1657	4.6	47.9	4.1	1.2	22.6	4.9
世帯年収	無	3065	3.7	50.1	3.8	1.7	17.8	7.3
	400万未満	2023	1.2	38.1	8.8	6.2	27.4	1.8
	400～600万未満	1991	1.8	55.8	4.5	1.9	16.7	4.8
	600～800万未満	1697	2.7	55.2	3.4	1.6	14.7	7.1
	800～1200万未満	1785	3.5	55.9	2.1	2.0	11.1	10.2
	1200万以上	728	11.0	50.0	2.1	1.1	6.6	5.9
本人の最終学歴	大学院卒	551	4.5	57.5	1.6	0.5	3.3	6.5
	大学学部卒	3581	3.4	58.2	4.0	1.8	8.5	8.0
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1927	2.1	39.3	5.2	4.3	25.0	3.5
	高校卒	2012	2.5	47.6	5.9	3.7	26.3	4.4
	中学校卒	153	5.2	40.5	4.6	6.5	31.4	0.7
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1580	3.5	56.0	3.0	1.0	10.8	7.6
	いずれかが大卒以上	1750	4.3	50.7	3.4	1.6	18.9	7.3
	それ以外	1868	3.1	45.7	4.7	2.2	24.3	5.2
貸与型奨学金を利用の有無	有	1262	2.1	57.4	3.7	1.6	9.0	7.9
	無	1885	3.4	45.2	4.4	2.0	18.1	5.9

Q3-3.あなたの現在の職種を教えてください。(続き)

SA

		n	教職員	医療関係者	自営業・自由業	士業(公認会計士・司法書士など)	その他
全体		8224	3.1	4.5	7.3	0.5	0.7
性別	男性	4630	3.1	3.1	8.5	0.7	0.5
	女性	3594	3.1	6.3	5.8	0.3	0.9
性年代	男性 25-39歳	1543	3.5	4.5	5.2	0.5	0.6
	男性 40代	1408	2.2	2.5	8.7	1.1	0.2
	男性 50-64歳	1679	3.6	2.3	11.3	0.5	0.6
	女性 25-39歳	1202	3.7	7.4	3.0	0.2	0.3
	女性 40代	1093	2.6	5.4	6.3	0.3	0.8
	女性 50-64歳	1299	2.9	6.1	8.1	0.3	1.5
地域	北海道	336	3.3	6.5	4.8	0.3	0.0
	東北計	566	4.8	4.8	7.6	0.4	0.9
	北関東	422	3.8	5.2	7.3	0.5	0.7
	首都圏	2511	1.9	3.5	7.2	0.7	0.6
	北陸	311	2.9	3.5	8.0	0.6	1.0
	東山	309	4.2	5.2	8.4	1.0	0.6
	東海	842	3.7	3.3	6.2	0.2	0.5
	近畿二府一県	1084	2.6	4.2	7.2	0.6	0.4
	その他近畿圏	230	4.3	6.1	6.5	0.4	1.3
	中国	461	3.3	5.0	7.2	0.4	1.3
未既婚	既婚	5198	3.6	4.6	6.0	0.6	0.6
	未婚	2296	2.4	3.9	9.8	0.5	0.6
子供の人数	離別・死別	730	1.6	5.2	8.8	0.0	1.4
	0人	3502	2.8	4.0	9.3	0.5	0.6
	1人	1458	3.0	4.5	5.6	0.5	0.6
	2人	2383	3.5	4.5	5.0	0.5	0.7
高校～大学院に在学中の子どもの有無	3人以上	881	3.4	6.4	8.3	0.5	1.0
	有	1657	3.2	4.2	6.3	0.2	0.8
世帯年収	無	3065	3.4	5.2	5.5	0.7	0.7
	400万未満	2023	1.2	2.3	11.8	0.2	0.9
	400～600万未満	1991	2.4	4.2	6.8	0.4	0.7
	600～800万未満	1697	3.2	5.3	5.8	0.5	0.5
	800～1200万未満	1785	4.6	4.6	4.6	0.7	0.6
本人の最終学歴	1200万以上	728	6.3	9.1	6.3	1.2	0.4
	大学院卒	551	10.9	7.1	5.4	1.6	0.9
	大学学部卒	3581	4.7	3.9	6.2	0.7	0.4
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1927	1.2	8.7	9.6	0.3	0.9
	高校卒	2012	0.1	1.2	7.4	0.1	0.8
夫婦の最終学歴	中学校卒	153	0.0	0.0	9.8	0.0	1.3
	夫婦とも大卒以上	1580	8.1	4.4	4.1	1.0	0.4
	いずれかが大卒以上	1750	2.6	4.6	5.7	0.7	0.3
貸与型奨学金を利用の有無	それ以外	1868	0.8	4.9	8.0	0.1	1.0
	有	1262	5.5	6.3	5.2	0.4	0.8
		1885	5.4	4.9	9.1	0.6	1.0

Q3-4.あなたは現在、ご結婚されていますか。

SA

		n	既婚	未婚	離別・死別
全体		10000	63.9	27.5	8.6
性別	男性	5072	63.8	30.5	5.7
	女性	4928	64.0	24.4	11.6
性年代	男性 25-39歳	1658	52.7	44.3	3.0
	男性 40代	1508	65.5	28.4	6.2
	男性 50-64歳	1906	72.1	20.2	7.7
	女性 25-39歳	1583	58.7	36.9	4.4
	女性 40代	1451	63.8	23.7	12.5
	女性 50-64歳	1894	68.5	14.4	17.1
地域	北海道	411	57.7	32.8	9.5
	東北計	674	63.4	27.0	9.6
	北関東	529	64.5	27.2	8.3
	首都圏	3056	62.7	28.7	8.6
	北陸	394	63.7	29.9	6.3
	東山	369	65.6	25.2	9.2
	東海	1022	68.2	25.0	6.8
	近畿二府一県	1329	63.4	27.6	9.0
	その他近畿圏	285	71.6	21.8	6.7
	中国	547	62.9	25.6	11.5
	四国	283	63.3	25.4	11.3
未既婚	九州・沖縄	1101	64.1	27.6	8.3
	既婚	6387	100.0	0.0	0.0
	未婚	2749	0.0	100.0	0.0
子供の人数	離別・死別	864	0.0	0.0	100.0
	0人	4248	30.3	63.3	6.5
	1人	1835	85.5	2.2	12.3
	2人	2878	90.3	0.5	9.2
高校～大学院に在学中の子どもの有無	3人以上	1039	89.7	0.9	9.4
	有	1944	88.0	1.4	10.5
世帯年収	無	3808	89.0	0.9	10.1
	400万未満	2787	35.5	47.1	17.4
	400～600万未満	2401	62.7	29.7	7.5
	600～800万未満	1973	77.7	16.9	5.4
	800～1200万未満	2015	83.0	14.0	2.9
本人の最終学歴	1200万以上	824	83.4	12.7	3.9
	大学院卒	613	65.6	29.7	4.7
	大学学部卒	4157	65.3	28.7	6.0
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	65.7	24.9	9.4
	高校卒	2546	61.0	26.8	12.3
夫婦の最終学歴	中学校卒	217	44.2	36.4	19.4
	夫婦とも大卒以上	1879	100.0	0.0	0.0
	いずれかが大卒以上	2145	100.0	0.0	0.0
貸与型奨学金を利用の有無	それ以外	2363	100.0	0.0	0.0
	有	1454	62.6	30.9	6.5
	無	2255	71.0	19.2	9.8

Q3-5.配偶者が最後に卒業した学校は次のどれに当てはまりますか。

SA

		n	大学院卒	大学学部卒	短大・専大・専門・高等専門学校卒	高校卒	中学校卒	その他
全体		6387	5.1	38.5	26.6	27.3	2.3	0.2
性別	男性	3234	2.9	33.9	35.9	25.9	1.2	0.2
	女性	3153	7.4	43.2	17.1	28.8	3.4	0.2
性年代	男性 25-39歳	873	5.2	45.8	29.9	17.4	1.5	0.2
	男性 40代	987	2.1	34.2	38.9	22.9	1.6	0.2
	男性 50-64歳	1374	2.0	26.0	37.6	33.5	0.7	0.1
	女性 25-39歳	930	10.3	44.5	18.3	22.2	4.4	0.3
	女性 40代	926	6.8	41.7	18.3	29.6	3.6	0.1
	女性 50-64歳	1297	5.8	43.3	15.3	33.0	2.5	0.1
地域	北海道	237	3.4	26.6	29.1	37.6	3.4	0.0
	東北計	427	2.8	28.8	26.0	39.6	2.6	0.2
	北関東	341	5.0	30.8	30.2	30.2	3.8	0.0
	首都圏	1917	5.5	46.5	26.8	19.2	1.6	0.3
	北陸	251	6.4	31.5	21.9	36.3	4.0	0.0
	東山	242	5.8	31.0	26.4	34.3	2.5	0.0
	東海	697	4.3	38.6	25.5	29.1	2.2	0.3
	近畿二府一県	842	6.2	41.6	25.9	24.1	2.3	0.0
	その他近畿圏	204	4.9	31.9	30.4	30.4	2.5	0.0
	中国	344	6.7	32.8	29.4	28.8	2.3	0.0
	四国	179	2.2	37.4	32.4	26.8	1.1	0.0
九州・沖縄	706	5.1	36.3	23.7	32.2	2.4	0.4	
未既婚	既婚	6387	5.1	38.5	26.6	27.3	2.3	0.2
	未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	離別・死別	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子供の人数	0人	1286	7.8	40.8	23.6	25.3	2.2	0.3
	1人	1569	5.3	41.2	26.1	24.3	2.7	0.3
	2人	2600	4.5	37.8	27.7	28.1	1.9	0.0
	3人以上	932	3.0	32.3	28.6	33.0	2.8	0.2
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	1711	3.4	35.4	27.4	32.0	1.8	0.0
	無	3390	5.0	39.1	27.4	25.7	2.6	0.2
世帯年収	400万未満	988	2.5	28.2	25.3	38.7	5.0	0.3
	400～600万未満	1506	3.1	33.3	26.9	33.4	3.2	0.1
	600～800万未満	1533	4.2	37.6	29.4	27.0	1.8	0.1
	800～1200万未満	1673	6.8	45.3	26.7	20.1	0.8	0.2
	1200万以上	687	11.4	49.9	21.5	16.0	1.0	0.1
本人の最終学歴	大学院卒	402	23.1	46.5	22.1	8.0	0.0	0.2
	大学学部卒	2716	5.3	53.5	25.8	14.5	0.7	0.1
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1621	4.0	33.6	34.5	25.8	1.7	0.4
	高校卒	1552	1.6	16.9	21.6	55.0	4.8	0.1
	中学校卒	96	0.0	10.4	15.6	49.0	25.0	0.0
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	12.7	87.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	いずれかが大卒以上	2145	4.2	38.0	36.8	19.9	0.9	0.1
	それ以外	2363	0.0	0.0	38.5	55.8	5.3	0.3
貸与型奨学金を利用の有無	有	910	8.8	47.1	25.9	16.8	1.1	0.2
	無	1602	5.1	40.6	25.3	27.2	1.7	0.1

Q3-6.配偶者の方は現在、何か仕事をしていますか。

SA

		n	仕事を している	現在探 している が、	仕事は 探して いない が、現	そ の 他
全体		6387	81.6	2.7	15.1	0.6
性別	男性	3234	69.8	4.1	25.4	0.8
	女性	3153	93.8	1.3	4.5	0.4
性年代	男性 25-39歳	873	71.8	5.0	21.8	1.4
	男性 40代	987	73.5	4.1	22.3	0.2
	男性 50-64歳	1374	65.9	3.4	29.8	0.9
	女性 25-39歳	930	97.8	0.8	1.3	0.1
	女性 40代	926	96.8	1.0	2.1	0.2
	女性 50-64歳	1297	88.7	2.0	8.6	0.7
地域	北海道	237	81.9	3.8	14.3	0.0
	東北計	427	83.8	2.1	13.1	0.9
	北関東	341	79.5	2.1	17.9	0.6
	首都圏	1917	80.0	3.1	16.4	0.5
	北陸	251	86.9	4.4	8.4	0.4
	東山	242	87.6	0.0	12.4	0.0
	東海	697	81.2	3.3	14.6	0.9
	近畿二府一県	842	80.0	2.5	17.2	0.2
	その他近畿圏	204	78.4	1.5	19.1	1.0
	中国	344	83.7	2.3	13.4	0.6
	四国	179	79.3	5.0	15.6	0.0
	九州・沖縄	706	84.6	1.8	12.2	1.4
未既婚	既婚	6387	81.6	2.7	15.1	0.6
	未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	離別・死別	0	0.0	0.0	0.0	0.0
子供の人数	0人	1286	83.1	2.9	13.8	0.2
	1人	1569	80.8	3.0	15.6	0.6
	2人	2600	81.2	2.5	15.5	0.8
	3人以上	932	82.1	2.5	14.8	0.6
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1711	83.9	2.9	12.6	0.6
	無	3390	79.9	2.6	16.8	0.8
世帯年収	400万未満	988	71.5	5.4	22.3	0.9
	400～600万未満	1506	82.1	3.3	14.1	0.5
	600～800万未満	1533	82.5	2.3	14.5	0.7
	800～1200万未満	1673	85.8	1.6	12.1	0.5
	1200万以上	687	83.3	1.2	15.1	0.4
本人の最終学歴	大学院卒	402	71.4	3.2	24.4	1.0
	大学学部卒	2716	77.7	3.3	18.4	0.7
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1621	88.9	1.6	8.8	0.7
	高校卒	1552	83.4	2.6	13.7	0.3
	中学校卒	96	85.4	5.2	9.4	0.0
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	81.9	3.1	14.5	0.6
	いずれかが大卒以上	2145	78.8	2.5	18.0	0.7
	それ以外	2363	84.0	2.6	12.9	0.6
貸与型奨学金を利 用の有無	有	910	81.6	4.0	13.7	0.7
	無	1602	82.0	2.3	14.7	0.9

Q3-7.あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。

SA

		n	い る	い な い
全体		10000	57.5	42.5
性別	男性	5072	55.4	44.6
	女性	4928	59.7	40.3
性年代	男性 25-39歳	1658	40.5	59.5
	男性 40代	1508	57.8	42.2
	男性 50-64歳	1906	66.5	33.5
	女性 25-39歳	1583	47.3	52.7
	女性 40代	1451	59.1	40.9
	女性 50-64歳	1894	70.4	29.6
地域	北海道	411	52.3	47.7
	東北計	674	59.5	40.5
	北関東	529	59.7	40.3
	首都圏	3056	53.4	46.6
	北陸	394	57.1	42.9
	東山	369	60.4	39.6
	東海	1022	61.8	38.2
	近畿二府一県	1329	57.4	42.6
	その他近畿圏	285	64.9	35.1
	中国	547	59.4	40.6
	四国	283	64.0	36.0
未既婚	九州・沖縄	1101	59.4	40.6
	既婚	6387	79.9	20.1
	未婚	2749	2.3	97.7
子供の人数	離別・死別	864	68.2	31.8
	0人	4248	0.0	100.0
	1人	1835	100.0	0.0
	2人	2878	100.0	0.0
高校～大学院に在 学中の子ども有無	3人以上	1039	100.0	0.0
	有	1944	100.0	0.0
世帯年収	無	3808	100.0	0.0
	400万未満	2787	40.2	59.8
	400～600万未満	2401	54.4	45.6
	600～800万未満	1973	68.1	31.9
	800～1200万未満	2015	69.6	30.4
本人の最終学歴	1200万以上	824	70.5	29.5
	大学院卒	613	53.0	47.0
	大学学部卒	4157	55.2	44.8
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	60.6	39.4
	高校卒	2546	60.2	39.8
夫婦の最終学歴	中学校卒	217	48.4	51.6
	夫婦とも大卒以上	1879	76.1	23.9
	いずれかが大卒以上	2145	81.5	18.5
貸与型奨学金を利 用の有無	それ以外	2363	81.3	18.7
	有	1454	53.9	46.1
	無	2255	69.3	30.7

Q3-8.お子さんは何人いらっしゃいますか。

SA

		n	1人	2人	3人	4人以上
全体		5752	31.9	50.0	15.5	2.6
性別	男性	2811	30.3	50.9	15.7	3.1
	女性	2941	33.4	49.2	15.3	2.1
性年代	男性 25-39歳	672	40.2	46.6	10.9	2.4
	男性 40代	871	32.4	46.7	17.2	3.7
	男性 50-64歳	1268	23.7	56.1	17.1	3.1
	女性 25-39歳	749	45.8	41.3	11.5	1.5
	女性 40代	858	35.5	46.4	15.0	3.0
	女性 50-64歳	1334	25.0	55.5	17.5	1.9
地域	北海道	215	34.4	45.1	17.7	2.8
	東北計	401	32.9	45.1	18.0	4.0
	北関東	316	30.7	52.2	14.9	2.2
	首都圏	1632	37.9	49.3	10.6	2.1
	北陸	225	30.7	49.8	15.6	4.0
	東山	223	26.0	54.3	16.6	3.1
	東海	632	30.7	52.8	14.7	1.7
	近畿二府一県	763	29.5	52.8	15.2	2.5
	その他近畿圏	185	25.4	52.4	20.0	2.2
	中国	325	26.2	51.4	20.6	1.8
	四国	181	27.6	53.6	16.6	2.2
	九州・沖縄	654	28.3	45.7	22.0	4.0
未既婚	既婚	5101	30.8	51.0	15.7	2.5
	未婚	62	64.5	21.0	12.9	1.6
	離別・死別	589	38.4	45.0	13.2	3.4
子供の人数	0人	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1人	1835	100.0	0.0	0.0	0.0
	2人	2878	0.0	100.0	0.0	0.0
	3人以上	1039	0.0	0.0	85.6	14.4
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	1944	20.2	54.1	22.7	3.1
	無	3808	37.9	48.0	11.8	2.4
世帯年収	400万未満	1120	35.9	47.9	13.7	2.5
	400～600万未満	1306	34.7	48.9	14.2	2.2
	600～800万未満	1343	31.7	49.9	16.0	2.4
	800～1200万未満	1402	27.0	53.2	16.6	3.2
	1200万以上	581	30.3	49.4	17.6	2.8
本人の最終学歴	大学院卒	325	38.5	46.5	12.3	2.8
	大学学部卒	2295	33.7	49.5	14.4	2.4
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1494	31.2	50.1	16.5	2.2
	高校卒	1533	28.4	52.2	16.6	2.9
	中学校卒	105	34.3	39.0	17.1	9.5
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1430	35.2	50.1	12.6	2.1
	いずれかが大卒以上	1749	31.6	50.4	15.6	2.3
	それ以外	1922	26.6	52.1	18.2	3.0
貸与型奨学金を利用の有無	有	783	34.1	47.0	16.5	2.4
	無	1562	26.3	52.7	18.3	2.7

Q3-9.それぞれのお子さんの在学状況を教えてください。

1人目在学状況

SA

		n	学校を卒業済み	大学院	大学学部	短大・高等専門学校（4～5年）・専門学校	高校	義務教育段階（小・中学校）	幼稚園・保育園	小学校就学前（0歳～幼
全体		5752	32.1	1.2	11.0	2.9	9.6	22.7	20.5	
性別	男性	2811	30.2	1.1	10.8	2.7	9.6	25.3	20.2	
	女性	2941	33.9	1.3	11.1	3.1	9.7	20.3	20.8	
性年代	男性 25-39歳	672	0.9	0.1	0.6	0.3	2.1	33.6	62.4	
	男性 40代	871	9.5	0.1	10.8	3.1	17.0	44.5	14.9	
	男性 50-64歳	1268	59.9	2.4	16.2	3.7	8.6	7.7	1.6	
	女性 25-39歳	749	0.7	0.0	0.4	0.3	2.5	27.9	68.2	
	女性 40代	858	13.4	0.3	13.2	3.5	18.5	39.7	11.3	
	女性 50-64歳	1334	65.7	2.5	15.8	4.3	7.9	3.4	0.2	
地域	北海道	215	35.8	1.4	8.8	6.0	11.6	20.9	15.3	
	東北計	401	35.9	0.7	9.0	3.0	10.2	21.4	19.7	
	北関東	316	33.9	1.3	11.4	1.6	9.8	22.5	19.6	
	首都圏	1632	29.5	1.0	11.5	1.9	8.7	24.0	23.5	
	北陸	225	37.8	0.4	9.3	4.0	8.0	20.4	20.0	
	東山	223	36.3	1.3	9.4	2.2	15.2	19.7	15.7	
	東海	632	29.9	1.9	11.2	3.2	9.0	24.1	20.7	
	近畿二府一県	763	32.1	1.4	11.9	2.6	10.0	22.4	19.5	
	その他近畿圏	185	33.5	0.5	12.4	2.7	13.5	21.6	15.7	
	中国	325	29.2	1.5	12.6	3.1	9.5	25.5	18.5	
	四国	181	36.5	1.1	11.0	5.0	9.4	19.3	17.7	
九州・沖縄	654	32.3	1.2	9.8	4.1	8.9	22.0	21.7		
未既婚	既婚	5101	29.8	1.2	11.1	2.8	9.4	23.5	22.2	
	未婚	62	22.6	1.6	14.5	3.2	16.1	16.1	25.8	
	離別・死別	589	53.0	1.0	9.0	3.4	11.5	16.8	5.3	
子供の人数	0人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1人	1835	18.6	1.1	9.4	2.2	8.6	20.7	39.4	
	2人	2878	36.6	1.1	12.0	3.3	9.2	23.5	14.3	
	3人以上	1039	43.3	1.5	10.9	3.0	12.7	24.3	4.3	
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	1944	26.4	3.5	32.4	8.5	28.5	0.5	0.1	
	無	3808	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.1	31.0	
世帯年収	400万未満	1120	42.2	1.0	8.8	2.9	11.0	18.7	15.5	
	400～600万未満	1306	26.7	0.8	8.3	3.2	9.3	24.9	26.6	
	600～800万未満	1343	27.9	0.9	10.1	3.0	9.6	25.1	23.4	
	800～1200万未満	1402	31.1	1.3	12.8	2.9	9.3	23.6	19.0	
	1200万以上	581	36.3	2.9	18.6	1.9	8.8	18.2	13.3	
本人の最終学歴	大学院卒	325	17.5	2.8	10.8	1.5	6.8	29.8	30.8	
	大学学部卒	2295	25.3	1.4	12.1	2.0	8.7	25.0	25.6	
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1494	34.6	1.0	10.0	3.3	9.7	22.6	18.8	
	高校卒	1533	42.3	0.8	10.3	4.0	11.5	17.9	13.2	
夫婦の最終学歴	中学校卒	105	39.0	0.0	9.5	4.8	12.4	25.7	8.6	
	夫婦とも大卒以上	1430	18.7	2.1	12.1	1.0	8.2	25.2	32.6	
	いずれかが大卒以上	1749	31.3	1.1	11.7	2.6	8.2	24.2	20.9	
貸与型奨学金を利用の有無	それ以外	1922	36.6	0.6	9.9	4.4	11.2	21.6	15.7	
	有	783	24.8	1.1	11.2	2.3	5.2	20.8	34.5	
	無	1562	41.0	1.5	16.6	3.6	9.8	14.5	12.9	

Q3-9.それぞれのお子さんの在学状況を教えてください。

卒業済みの最終学歴

SA

		n	大学院卒	大学学部卒	短大卒・専門学校卒・高等専門学校卒	高校卒	中学校卒
全体		1844	7.8	50.3	17.4	22.6	2.0
性別	男性	848	8.0	53.3	16.0	21.1	1.5
	女性	996	7.5	47.8	18.6	23.8	2.3
性年代	男性 25-39歳	6	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7
	男性 40代	83	3.6	21.7	19.3	48.2	7.2
	男性 50-64歳	759	8.6	56.9	15.7	18.1	0.8
	女性 25-39歳	5	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0
	女性 40代	115	0.9	26.1	20.9	48.7	3.5
	女性 50-64歳	876	8.3	50.9	18.3	20.3	2.2
地域	北海道	77	5.2	40.3	27.3	23.4	3.9
	東北計	144	4.9	45.1	26.4	22.2	1.4
	北関東	107	5.6	47.7	17.8	27.1	1.9
	首都圏	482	7.7	51.9	17.0	21.4	2.1
	北陸	85	15.3	34.1	23.5	24.7	2.4
	東山	81	8.6	49.4	19.8	19.8	2.5
	東海	189	7.4	54.0	14.3	22.2	2.1
	近畿二府一県	245	9.4	54.7	13.9	21.2	0.8
	その他近畿圏	62	14.5	58.1	8.1	17.7	1.6
	中国	95	3.2	52.6	15.8	25.3	3.2
	四国	66	6.1	47.0	24.2	21.2	1.5
	九州・沖縄	211	7.6	51.7	13.3	25.6	1.9
未既婚	既婚	1518	8.3	54.1	16.5	19.7	1.4
	未婚	14	14.3	21.4	28.6	28.6	7.1
	離別・死別	312	4.8	33.3	21.2	36.2	4.5
子供の人数	0人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1人	341	7.9	48.1	16.7	24.6	2.6
	2人	1053	7.7	53.4	17.7	19.6	1.7
	3人以上	450	7.8	44.9	17.3	28.0	2.0
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	513	4.7	56.1	15.8	21.6	1.8
	無	1331	8.9	48.1	18.0	22.9	2.0
世帯年収	400万未満	473	7.6	37.4	21.6	30.4	3.0
	400～600万未満	349	6.3	49.3	16.3	25.5	2.6
	600～800万未満	375	6.1	49.3	20.0	23.2	1.3
	800～1200万未満	436	8.5	57.1	14.9	17.7	1.8
	1200万以上	211	11.8	68.7	10.4	9.0	0.0
本人の最終学歴	大学院卒	57	19.3	50.9	15.8	10.5	3.5
	大学学部卒	580	13.4	64.0	10.2	11.7	0.7
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	517	5.4	51.6	22.4	19.9	0.6
	高校卒	649	3.9	39.6	20.2	33.6	2.8
	中学校卒	41	2.4	9.8	14.6	51.2	22.0
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	268	17.5	67.5	8.6	5.2	1.1
	いずれかが大卒以上	547	9.5	62.5	13.3	13.5	1.1
	それ以外	703	3.8	42.4	22.0	30.0	1.7
貸与型奨学金を利用の有無	有	194	11.9	53.6	17.0	14.4	3.1
	無	641	8.6	57.6	15.1	17.5	1.2

Q3-9.それぞれのお子さんの在学状況を教えてください。

2人目在学状況

SA

		n	学校を卒業済み	大学院	大学学部	短大・高等専門学校（4～5年）・専門学校	高校	義務教育段階（小・中学校）	幼稚園・保育園（0歳～幼
全体		3917	27.7	1.0	11.9	4.4	10.6	24.2	20.2
性別	男性	1958	24.6	1.1	12.6	4.4	9.7	26.1	21.5
	女性	1959	30.7	0.9	11.2	4.4	11.6	22.2	18.9
性年代	男性 25-39歳	402	1.2	0.2	0.5	0.0	1.5	25.9	70.6
	男性 40代	589	4.8	0.3	4.2	2.5	12.9	54.0	21.2
	男性 50-64歳	967	46.4	2.0	22.8	7.3	11.1	9.3	1.1
	女性 25-39歳	406	0.0	0.0	0.0	0.2	1.7	26.8	71.2
	女性 40代	553	7.8	0.4	6.0	2.5	18.8	50.1	14.5
	女性 50-64歳	1000	55.9	1.6	18.6	7.2	11.6	4.9	0.2
地域	北海道	141	27.0	0.0	12.8	7.1	14.2	24.1	14.9
	東北計	269	36.4	0.7	8.2	5.2	10.0	24.5	14.9
	北関東	219	33.3	1.4	12.8	4.1	6.8	21.9	19.6
	首都圏	1013	25.6	1.3	11.9	3.3	11.3	24.8	21.9
	北陸	156	33.3	0.6	10.3	6.4	10.3	19.2	19.9
	東山	165	32.1	0.6	6.7	3.6	13.3	27.9	15.8
	東海	438	27.2	0.5	12.6	3.7	10.3	24.7	21.2
	近畿二府一県	538	25.7	1.3	14.9	3.0	10.4	24.7	20.1
	その他近畿圏	138	28.3	0.0	10.9	6.5	12.3	23.9	18.1
	中国	240	22.5	1.3	10.8	4.2	12.9	27.9	20.4
	四国	131	27.5	2.3	13.7	9.2	8.4	19.1	19.8
九州・沖縄	九州・沖縄	469	26.7	1.1	11.9	6.0	9.0	22.6	22.8
	既婚	3532	25.7	0.9	12.6	4.3	10.1	24.5	21.9
	未婚	22	22.7	9.1	0.0	4.5	27.3	27.3	9.1
	離別・死別	363	47.4	1.4	5.5	5.2	15.2	20.9	4.4
子供の人数	0人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2人	2878	25.8	0.9	12.0	4.1	10.9	22.9	23.3
	3人以上	1039	32.8	1.4	11.5	5.2	9.8	27.7	11.5
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	1552	8.2	2.6	30.0	11.1	26.8	20.9	0.4
	無	2365	40.5	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	33.2
世帯年収	400万未満	718	39.0	1.0	7.8	5.4	11.0	20.8	15.0
	400～600万未満	853	24.4	0.4	9.8	4.1	10.3	24.2	26.8
	600～800万未満	917	23.0	0.3	11.2	4.4	10.1	28.4	22.6
	800～1200万未満	1024	25.8	1.4	14.2	4.2	10.7	25.0	18.8
	1200万以上	405	29.9	3.2	19.3	4.0	11.4	18.8	13.6
本人の最終学歴	大学院卒	200	17.0	1.5	14.5	0.5	5.0	29.0	32.5
	大学学部卒	1522	21.2	1.3	13.7	3.5	8.7	25.8	25.8
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	1028	30.6	0.9	9.9	5.8	11.1	23.4	18.2
	高校卒	1098	35.3	0.6	11.3	5.1	13.7	21.4	12.6
	中学校卒	69	36.2	1.4	4.3	2.9	14.5	29.0	11.6
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	926	16.1	1.5	14.0	1.9	7.6	25.7	33.2
	いずれかが大卒以上	1196	26.3	1.0	14.5	4.6	8.5	24.2	20.8
	それ以外	1410	31.4	0.5	10.1	5.7	13.0	23.9	15.4
貸与型奨学金を利用の有無	有	516	24.0	0.8	12.0	3.9	8.5	18.6	32.2
	無	1151	33.2	1.3	16.4	5.3	13.5	16.7	13.6

Q3-9.それぞれのお子さんの在学状況を教えてください。

卒業済みの最終学歴

SA

		n	大学院卒	大学学部卒	短大・専大・専門学校卒	高校卒	中学校卒
全体		1084	6.6	46.1	20.8	24.0	2.4
性別	男性	482	6.4	49.2	20.1	21.6	2.7
	女性	602	6.8	43.7	21.4	25.9	2.2
性年代	男性 25-39歳	5	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0
	男性 40代	28	0.0	10.7	14.3	67.9	7.1
	男性 50-64歳	449	6.7	52.1	20.0	18.9	2.2
	女性 25-39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 40代	43	0.0	9.3	32.6	48.8	9.3
	女性 50-64歳	559	7.3	46.3	20.6	24.2	1.6
地域	北海道	38	10.5	31.6	26.3	28.9	2.6
	東北計	98	5.1	40.8	23.5	30.6	0.0
	北関東	73	5.5	47.9	20.5	21.9	4.1
	首都圏	259	6.2	51.7	18.5	21.2	2.3
	北陸	52	7.7	42.3	25.0	23.1	1.9
	東山	53	9.4	49.1	22.6	18.9	0.0
	東海	119	5.9	50.4	17.6	22.7	3.4
	近畿二府一県	138	8.7	47.8	15.2	26.1	2.2
	その他近畿圏	39	5.1	59.0	12.8	23.1	0.0
	中国	54	3.7	31.5	29.6	31.5	3.7
	四国	36	0.0	36.1	27.8	27.8	8.3
	九州・沖縄	125	8.8	41.6	25.6	21.6	2.4
未既婚	既婚	907	7.1	49.5	20.9	20.7	1.8
	未婚	5	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0
	離別・死別	172	4.1	29.1	20.3	41.3	5.2
子供の人数	0人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2人	743	7.1	47.8	21.0	22.1	2.0
	3人以上	341	5.6	42.5	20.5	28.2	3.2
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	127	3.1	35.4	24.4	34.6	2.4
	無	957	7.1	47.5	20.4	22.6	2.4
世帯年収	400万未満	280	5.4	37.5	21.8	31.8	3.6
	400～600万未満	208	5.3	41.8	23.1	26.9	2.9
	600～800万未満	211	6.6	45.5	20.9	25.1	1.9
	800～1200万未満	264	7.6	53.4	19.7	17.4	1.9
	1200万以上	121	9.9	58.7	17.4	13.2	0.8
本人の最終学歴	大学院卒	34	23.5	50.0	5.9	17.6	2.9
	大学学部卒	322	9.3	63.0	12.1	14.3	1.2
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	315	5.7	45.1	28.3	20.0	1.0
	高校卒	388	4.1	34.8	22.9	34.8	3.4
	中学校卒	25	0.0	12.0	28.0	40.0	20.0
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	149	14.1	67.1	8.7	9.4	0.7
	いずれかが大卒以上	315	7.3	58.7	15.2	18.4	0.3
	それ以外	443	4.5	37.0	29.1	26.2	3.2
貸与型奨学金を利用の有無	有	124	9.7	50.8	21.0	17.7	0.8
	無	382	7.1	50.3	20.9	20.9	0.8

Q3-9.それぞれのお子さんの在学状況を教えてください。

3人目在学状況

SA

		n	学校を卒業済み	大学院	大学学部	短大・高等専門学校（4～5年）・専門学校	高校	義務教育段階（小・中学校）	幼稚園・保育園（0歳～幼
全体		1039	23.1	0.7	10.2	3.9	12.9	26.9	22.2
性別	男性	527	20.3	0.6	10.6	3.4	12.7	28.5	23.9
	女性	512	26.0	0.8	9.8	4.5	13.1	25.4	20.5
性年代	男性 25-39歳	89	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	15.7	80.9
	男性 40代	182	1.6	0.5	2.7	1.1	9.9	57.7	26.4
	男性 50-64歳	256	40.6	0.8	19.9	6.3	18.0	12.1	2.3
	女性 25-39歳	97	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.6	78.4
	女性 40代	155	2.6	0.0	1.9	1.9	15.5	59.4	18.7
	女性 50-64歳	260	49.2	1.5	18.1	7.7	16.5	6.9	0.0
地域	北海道	44	20.5	0.0	11.4	4.5	18.2	31.8	13.6
	東北計	88	26.1	0.0	5.7	4.5	10.2	33.0	20.5
	北関東	54	33.3	0.0	14.8	5.6	5.6	22.2	18.5
	首都圏	208	22.1	0.0	10.1	4.3	16.3	24.5	22.6
	北陸	44	31.8	0.0	11.4	0.0	9.1	27.3	20.5
	東山	44	25.0	0.0	4.5	4.5	11.4	34.1	20.5
	東海	104	26.0	1.0	12.5	1.9	9.6	24.0	25.0
	近畿二府一県	135	20.0	0.0	16.3	3.0	14.1	24.4	22.2
	その他近畿圏	41	14.6	2.4	2.4	9.8	12.2	36.6	22.0
	中国	73	17.8	1.4	9.6	1.4	11.0	34.2	24.7
	四国	34	23.5	0.0	17.6	5.9	17.6	8.8	26.5
九州・沖縄	九州・沖縄	170	22.4	2.4	6.5	4.7	13.5	27.1	23.5
	既婚	932	21.4	0.8	10.4	4.0	12.8	26.6	24.1
	未婚	9	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1
	離別・死別	98	40.8	0.0	8.2	4.1	13.3	28.6	5.1
子供の人数	0人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3人以上	1039	23.1	0.7	10.2	3.9	12.9	26.9	22.2
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	501	4.6	1.4	21.2	8.2	26.7	34.1	3.8
	無	538	40.3	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3	39.4
世帯年収	400万未満	181	35.4	0.6	7.7	5.0	12.2	24.9	14.4
	400～600万未満	215	17.2	0.0	8.8	3.7	12.1	26.5	31.6
	600～800万未満	247	20.2	0.4	8.1	3.6	12.1	28.3	27.1
	800～1200万未満	278	20.9	1.4	12.6	3.2	12.6	29.9	19.4
	1200万以上	118	26.3	0.8	15.3	5.1	17.8	21.2	13.6
本人の最終学歴	大学院卒	49	22.4	0.0	10.2	2.0	14.3	22.4	28.6
	大学学部卒	385	19.0	1.0	11.9	2.9	11.7	26.8	26.8
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	279	27.2	0.7	9.0	4.7	12.9	24.7	20.8
	高校卒	298	24.5	0.3	10.1	5.0	14.1	29.9	16.1
	中学校卒	28	25.0	0.0	0.0	3.6	14.3	28.6	28.6
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	210	15.7	1.9	13.3	2.4	11.4	24.3	31.0
	いずれかが大卒以上	314	22.3	0.6	10.8	3.8	12.7	25.8	23.9
	それ以外	408	23.5	0.2	8.6	4.9	13.5	28.4	20.8
貸与型奨学金を利用の有無	有	148	20.9	0.7	10.8	6.1	14.9	15.5	31.1
	無	328	25.0	0.6	14.9	4.0	14.6	25.6	15.2

Q3-9.それぞれのお子さんの在学状況を教えてください。

卒業済みの最終学歴

SA

		n	大学院卒	大学学部卒	短大卒・専門学校卒	高校卒	中学校卒
全体		240	3.8	39.6	22.1	32.5	2.1
性別	男性	107	1.9	43.9	20.6	31.8	1.9
	女性	133	5.3	36.1	23.3	33.1	2.3
性年代	男性 25-39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 40代	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	男性 50-64歳	104	1.9	45.2	20.2	30.8	1.9
	女性 25-39歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 40代	4	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
	女性 50-64歳	128	4.7	37.5	24.2	32.0	1.6
地域	北海道	9	11.1	33.3	11.1	44.4	0.0
	東北計	23	4.3	26.1	39.1	30.4	0.0
	北関東	18	11.1	44.4	16.7	22.2	5.6
	首都圏	46	0.0	52.2	23.9	19.6	4.3
	北陸	14	0.0	28.6	21.4	50.0	0.0
	東山	11	0.0	63.6	9.1	27.3	0.0
	東海	27	0.0	37.0	14.8	48.1	0.0
	近畿二府一県	27	3.7	55.6	22.2	18.5	0.0
	その他近畿圏	6	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	中国	13	7.7	30.8	23.1	38.5	0.0
	四国	8	0.0	25.0	25.0	37.5	12.5
	九州・沖縄	38	7.9	26.3	21.1	42.1	2.6
未既婚	既婚	199	3.5	42.7	21.6	30.7	1.5
	未婚	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	離別・死別	40	5.0	22.5	25.0	42.5	5.0
子供の人数	0人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3人以上	240	3.8	39.6	22.1	32.5	2.1
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	23	4.3	30.4	21.7	39.1	4.3
	無	217	3.7	40.6	22.1	31.8	1.8
世帯年収	400万未満	64	4.7	40.6	23.4	25.0	6.3
	400～600万未満	37	5.4	29.7	27.0	37.8	0.0
	600～800万未満	50	2.0	30.0	26.0	40.0	2.0
	800～1200万未満	58	5.2	44.8	17.2	32.8	0.0
	1200万以上	31	0.0	54.8	16.1	29.0	0.0
本人の最終学歴	大学院卒	11	9.1	63.6	18.2	9.1	0.0
	大学学部卒	73	2.7	63.0	16.4	17.8	0.0
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	76	5.3	34.2	26.3	31.6	2.6
	高校卒	73	2.7	21.9	24.7	47.9	2.7
	中学校卒	7	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	33	6.1	75.8	12.1	6.1	0.0
	いずれかが大卒以上	70	2.9	51.4	20.0	25.7	0.0
	それ以外	96	3.1	25.0	26.0	42.7	3.1
貸与型奨学金を利用の有無	有	31	0.0	54.8	16.1	29.0	0.0
	無	82	7.3	40.2	20.7	29.3	2.4

Q3-10.あなたご自身の昨年の年収（※税込み）はどのくらいでしたか。  
また、あなたの世帯全体の年収（※税込み）についてもお答えください。

1.あなたご自身の個人年収

SA

		n	20万円未満	20万円～29万円未満	30万円～39万円未満	40万円～49万円未満	50万円～59万円未満	60万円～69万円未満	70万円～79万円未満	80万円～89万円未満	90万円～99万円未満	100万円以上
全体		10000	33.4	12.2	12.7	11.5	9.2	6.3	4.6	3.0		
性別	男性	5072	12.8	8.6	13.3	15.8	13.8	10.2	7.7	5.2		
	女性	4928	54.5	16.0	12.0	7.1	4.4	2.4	1.4	0.8		
性年代	男性 25-39歳	1658	10.9	7.8	16.3	20.9	18.8	10.4	6.2	2.8		
	男性 40代	1508	12.3	6.6	12.5	14.7	14.5	11.2	9.2	6.0		
	男性 50-64歳	1906	14.8	10.8	11.4	12.2	8.8	9.3	7.9	6.8		
	女性 25-39歳	1583	45.5	16.9	17.1	10.5	5.4	2.5	0.7	0.5		
	女性 40代	1451	56.2	15.7	10.9	6.1	4.5	2.5	1.8	0.7		
	女性 50-64歳	1894	60.7	15.4	8.6	5.0	3.6	2.1	1.8	1.1		
地域	北海道	411	38.0	13.1	15.1	10.2	8.5	4.6	3.9	3.2		
	東北計	674	35.8	15.6	14.8	10.4	8.6	5.6	3.0	2.8		
	北関東	529	36.5	11.0	12.9	11.0	10.2	6.0	4.5	2.5		
	首都圏	3056	28.9	10.5	11.6	11.8	9.7	7.1	5.4	4.0		
	北陸	394	35.0	15.0	14.7	14.2	7.6	4.8	3.0	2.3		
	東山	369	34.7	12.7	14.9	12.5	8.9	7.6	4.3	1.4		
	東海	1022	33.5	11.6	10.3	11.8	9.8	6.7	5.3	4.3		
	近畿二府一県	1329	34.2	11.5	12.4	11.7	9.9	5.9	4.6	2.3		
	その他近畿圏	285	34.4	15.4	11.9	7.0	10.9	8.1	3.5	2.8		
	中国	547	35.6	13.2	13.7	12.6	8.2	6.4	4.2	2.7		
	四国	283	35.0	16.6	13.4	11.3	8.1	6.4	4.6	1.4		
九州・沖縄	1101	37.1	13.1	14.1	11.0	7.4	5.4	4.5	1.8			
未既婚	既婚	6387	35.5	8.5	9.7	10.9	9.4	7.4	5.6	3.7		
	未婚	2749	28.8	18.2	18.3	13.8	9.3	4.4	2.8	1.6		
	離別・死別	864	31.8	20.7	16.8	8.7	7.1	4.9	3.4	2.5		
子供の人数	0人	4248	30.3	15.5	16.5	13.8	9.1	5.3	3.3	2.3		
	1人	1835	34.6	9.6	10.6	11.2	10.5	6.9	5.3	2.9		
	2人	2878	36.9	9.5	9.7	9.7	8.3	6.7	5.9	3.7		
	3人以上	1039	33.9	11.3	9.0	7.7	9.7	8.4	5.4	4.6		
高校～大学院に在学中の子どもの有無	有	1944	34.4	10.4	9.7	8.2	7.3	7.6	5.6	5.0		
	無	3808	36.2	9.5	9.9	10.7	10.2	6.8	5.6	2.9		
世帯年収	400万未満	2787	55.2	24.6	20.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	400～600万未満	2401	31.4	9.7	12.6	28.6	17.7	0.0	0.0	0.0		
	600～800万未満	1973	26.6	7.9	10.7	9.5	12.5	20.6	12.2	0.0		
	800～1200万未満	2015	19.7	6.3	7.5	11.5	10.0	8.4	8.1	12.6		
	1200万以上	824	14.8	2.5	4.9	5.5	5.2	7.0	7.0	6.1		
本人の最終学歴	大学院卒	613	13.4	5.1	6.7	9.3	13.5	10.3	9.3	7.7		
	大学学部卒	4157	22.1	9.6	12.4	14.1	11.9	8.3	6.7	4.4		
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	46.0	15.0	13.0	9.9	6.8	4.0	2.3	1.1		
	高校卒	2546	42.8	15.4	14.5	9.6	6.3	4.6	2.7	1.8		
	中学校卒	217	50.2	15.2	10.6	8.8	6.0	3.2	1.8	0.5		
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	25.8	6.0	8.2	12.4	11.4	8.5	7.7	5.4		
	いずれかが大卒以上	2145	35.2	7.9	8.6	10.0	8.7	8.1	6.1	4.0		
	それ以外	2363	43.5	11.1	11.9	10.5	8.5	5.8	3.5	2.1		
貸与型奨学金を利用の有無	有	1454	21.7	11.1	14.6	14.5	13.2	8.2	5.3	3.4		
	無	2255	34.1	11.6	11.2	11.2	8.3	7.1	5.2	3.9		



Q3-10.あなたご自身の昨年の年収（※税込み）はどのくらいでしたか。

また、あなたの世帯全体の年収（※税込み）についてもお答えください。

2.世帯全体の年収

SA

		n	2 0 0 万 円 未 満	未 2 満 0 万 円	未 3 満 0 万 円	未 4 満 0 万 円	未 5 満 0 万 円	未 6 満 0 万 円	未 7 満 0 万 円	未 8 満 0 万 円
全体		10000	8.2	8.4	11.3	12.0	12.0	10.4	9.4	6.8
性別	男性	5072	7.3	6.4	9.7	11.6	12.0	10.8	10.4	7.5
	女性	4928	9.1	10.4	13.0	12.3	12.1	9.9	8.4	6.2
性年代	男性 25-39歳	1658	5.3	4.6	10.6	15.0	15.2	11.1	10.5	7.3
	男性 40代	1508	7.2	5.1	8.8	10.5	12.3	11.5	11.5	8.4
	男性 50-64歳	1906	9.1	8.9	9.6	9.5	8.9	9.9	9.3	6.9
	女性 25-39歳	1583	7.6	8.5	13.9	14.2	13.9	10.9	8.5	7.2
	女性 40代	1451	9.2	10.8	13.0	11.9	12.5	10.7	8.8	5.8
	女性 50-64歳	1894	10.2	11.8	12.4	11.1	10.2	8.6	8.0	5.6
地域	北海道	411	10.5	10.7	15.1	14.4	11.7	9.5	9.0	5.8
	東北計	674	8.2	9.9	12.9	14.2	13.1	11.0	8.8	5.6
	北関東	529	9.6	9.1	12.7	10.8	13.8	9.5	9.5	6.8
	首都圏	3056	6.9	6.8	9.7	10.9	10.5	10.3	8.7	7.4
	北陸	394	10.7	8.1	12.4	11.7	13.7	9.1	11.4	6.1
	東山	369	7.9	6.8	11.4	12.2	12.7	11.4	9.8	8.7
	東海	1022	6.2	6.8	9.7	12.3	13.1	10.5	9.4	9.1
	近畿二府一県	1329	8.5	9.1	11.4	12.0	12.6	9.6	10.4	5.8
	その他近畿圏	285	6.3	9.1	8.8	10.9	13.0	14.4	9.8	7.4
	中国	547	10.1	9.7	12.8	12.8	11.3	10.4	9.0	6.8
	四国	283	10.6	11.7	12.7	11.7	11.7	12.0	9.5	5.7
九州・沖縄		1101	9.6	10.0	13.4	13.0	12.6	10.2	9.6	5.4
未既婚	既婚	6387	3.0	4.3	8.2	11.0	12.6	12.5	11.5	8.6
	未婚	2749	16.2	14.7	17.0	14.6	11.4	6.5	5.6	4.0
	離別・死別	864	20.8	18.4	16.9	11.2	9.7	6.5	5.9	2.5
子供の人数	0人	4248	12.9	11.7	14.6	14.1	11.7	7.8	7.1	5.4
	1人	1835	5.6	6.3	10.0	11.0	13.7	12.0	11.2	7.0
	2人	2878	4.3	5.4	8.9	10.7	11.5	12.2	11.1	8.6
	3人以上	1039	3.8	6.6	7.0	8.7	12.0	12.9	10.9	7.3
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	4.3	6.1	8.2	8.7	10.4	11.3	10.9	7.8
	無	3808	4.8	5.9	9.2	11.3	13.2	12.8	11.2	7.9
世帯年収	400万未満	2787	29.3	30.1	40.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	400～600万未満	2401	0.0	0.0	0.0	49.9	50.1	0.0	0.0	0.0
	600～800万未満	1973	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.5	47.5	0.0
	800～1200万未満	2015	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.9
	1200万以上	824	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本人の最終学歴	大学院卒	613	5.4	3.6	4.9	7.5	7.7	8.6	10.9	8.5
	大学学部卒	4157	6.3	5.6	8.6	10.4	11.9	10.8	10.6	8.0
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	7.8	9.9	13.3	13.8	13.5	10.8	8.3	6.1
	高校卒	2546	11.0	12.2	15.4	13.7	12.1	9.8	8.4	5.4
	中学校卒	217	22.1	13.4	11.1	14.3	9.7	7.8	6.0	4.1
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	2.4	2.0	4.3	7.2	9.5	10.2	11.9	10.1
	いずれかが大卒以上	2145	2.9	4.6	6.0	9.7	12.4	13.7	12.3	9.6
	それ以外	2363	3.6	5.9	13.2	15.1	15.3	13.3	10.4	6.7
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	4.8	6.5	10.5	12.0	13.5	11.1	10.5	6.3
	無	2255	6.4	7.4	8.8	10.1	11.9	11.7	9.8	7.9

Q3-10.あなたご自身の昨年の年収（※税込み）はどのくらいでしたか。  
また、あなたの世帯全体の年収（※税込み）についてもお答えください。(続き)

2.世帯全体の年収

SA

		n	万 円 未 満	1 1 0 0 0 0 0 0 0 0						
全体		10000	6.8	3.7	2.8	2.0	1.2	1.3	3.8	
性別	男性	5072	7.4	4.4	3.1	2.1	1.5	1.6	4.2	
	女性	4928	6.1	3.0	2.5	1.9	0.9	0.9	3.4	
性年代	男性 25-39歳	1658	6.9	4.1	2.5	2.1	0.8	1.0	2.9	
	男性 40代	1508	7.6	5.4	3.0	1.9	1.7	1.7	3.4	
	男性 50-64歳	1906	7.7	4.0	3.8	2.3	1.9	2.1	6.0	
	女性 25-39歳	1583	5.3	3.2	2.0	0.9	0.9	0.7	2.4	
	女性 40代	1451	6.1	2.6	2.6	1.8	0.8	0.7	3.0	
	女性 50-64歳	1894	6.8	3.2	2.8	2.7	0.9	1.2	4.6	
地域	北海道	411	5.8	1.0	1.9	0.2	0.5	0.5	3.4	
	東北計	674	5.3	3.3	2.1	2.4	0.4	0.9	1.9	
	北関東	529	5.7	2.5	2.6	1.7	0.8	2.1	3.0	
	首都圏	3056	8.0	5.1	3.7	2.9	1.4	1.4	6.2	
	北陸	394	7.1	2.0	1.8	1.3	1.3	0.8	2.5	
	東山	369	6.5	4.1	1.4	2.7	1.6	0.3	2.7	
	東海	1022	8.1	3.7	3.0	1.8	0.9	1.8	3.6	
	近畿二府一県	1329	6.4	3.3	2.6	2.0	1.7	1.3	3.2	
	その他近畿圏	285	5.6	3.9	3.9	2.5	1.8	1.1	1.8	
	中国	547	5.3	2.2	3.8	1.3	1.3	1.3	2.0	
	四国	283	4.6	4.6	2.1	0.4	0.4	0.0	2.5	
九州・沖縄	1101	5.8	3.4	1.6	0.7	0.7	1.4	2.5		
未既婚	既婚	6387	9.0	4.9	3.6	2.7	1.5	1.7	4.9	
	未婚	2749	3.2	1.8	1.3	0.7	0.7	0.6	1.9	
	離別・死別	864	1.6	1.3	1.4	0.8	0.3	0.5	2.1	
子供の人数	0人	4248	4.4	2.8	1.8	1.2	0.8	0.9	2.9	
	1人	1835	7.2	3.6	2.8	2.3	1.2	1.5	4.6	
	2人	2878	9.3	4.4	3.5	2.8	1.6	1.4	4.2	
	3人以上	1039	8.7	5.8	5.0	2.4	1.7	2.1	5.1	
高校～大学院に在 学中の子どもの有無	有	1944	10.1	5.0	3.9	3.3	2.1	2.3	5.5	
	無	3808	7.7	4.1	3.4	2.2	1.2	1.2	4.0	
世帯年収	400万未満	2787	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	400～600万未満	2401	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	600～800万未満	1973	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	800～1200万未満	2015	33.5	18.6	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1200万以上	824	0.0	0.0	0.0	24.0	14.2	15.4	46.4	
本人の最終学歴	大学院卒	613	11.4	6.0	5.4	4.7	2.3	2.9	10.1	
	大学学部卒	4157	8.0	5.1	3.7	2.6	1.7	1.7	5.2	
	短大卒・高等専門学校卒・専門学校卒	2467	5.5	3.2	1.9	1.6	0.8	1.0	2.4	
	高校卒	2546	5.0	1.8	1.8	0.8	0.5	0.5	1.4	
	中学校卒	217	4.1	0.9	0.9	0.5	0.5	0.5	4.1	
夫婦の最終学歴	夫婦とも大卒以上	1879	11.3	7.2	5.3	4.5	2.4	2.3	9.1	
	いずれかが大卒以上	2145	9.5	5.0	3.9	2.6	1.5	1.9	4.5	
	それ以外	2363	6.7	3.0	2.1	1.4	0.7	0.9	1.9	
貸与型奨学金を利 用の有無	有	1454	8.0	4.6	4.0	1.9	1.2	1.2	3.9	
	無	2255	8.2	4.5	3.0	3.1	1.6	1.4	4.2	

